

常総市国民健康保険  
第2期データヘルス計画  
第3期特定健康診査等実施計画

平成30年3月  
常総市

<b>第1章 保険者の特性把握と分析結果</b>	
1. 保険者の特性把握	4
(1) 基本情報	4
(2) 医療費等の状況	6
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	7
① 特定健康診査	7
② 特定保健指導	9
(4) 介護保険の状況	11
(5) 主たる死因の状況	15
(6) 死亡数及び標準化死亡比	18
2. 医療情報分析結果	19
(1) 基礎統計	19
(2) 高額レセプトの件数及び医療費	21
① 高額レセプトの件数及び割合	21
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向	23
(3) 疾病別医療費	27
① 大分類による疾病別医療費統計	27
② 中分類による疾病別医療費統計	31
<b>第2章 第2期データヘルス計画</b>	
1. 計画策定について	43
(1) 背景	43
(2) 基本方針	44
(3) データヘルス計画の位置づけ	45
(4) 計画期間	45
2. 過去の取り組みの振り返り	47
3. 保健事業実施に係る分析結果	53
(1) 健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析	53
(2) 特定保健指導に係る分析	54
(3) 健診異常値放置者に係る分析	55
(4) 生活習慣病治療中断者に係る分析	57
(5) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析	59
(6) 受診行動適正化に係る分析	63
(7) ジェネリック医薬品普及率に係る分析	66
(8) 薬剤併用禁忌に係る分析	69
(9) 服薬情報に係る分析	71
(10) COPD患者の実態	73
(11) ロコモティブシンドロームの実態	75
4. 分析結果に基づく健康課題の把握	78
(1) 分析結果	78
(2) 分析結果に基づく課題とその対策	85
5. 保健事業実施計画	87
(1) 各事業の目的と概要一覧	87
(2) 各事業の実施内容と評価方法	91

	①特定健康診査未受診者対策事業	91
	②医療機関特定健診の充実	92
	③ドック検診	93
	④特定保健指導事業	94
	⑤若年者健診事業（生活習慣病一次予防に重点を置いた取組み）	95
	⑥健康づくり事業（ポピュレーションアプローチ）	96
	⑦生活習慣病予防事業	97
	⑧糖尿病性腎症重症化予防事業	98
	⑨受診行動適正化事業（重複・頻回受診、重複服薬）	99
	⑩ジェネリック医薬品差額通知事業	100
	⑪薬剤併用禁忌防止事業	101
	⑫COPD啓発事業	102
	⑬ロコモティブシンドローム予防事業	103
	6. その他	104
	(1) データヘルス計画の見直し	104
	①評価	104
	②評価時期	104
	(2) 計画の公表・周知	104
	(3) 事業運営上の留意事項	104
	(4) 個人情報の保護	104
	(5) 地域包括ケアに係る取組み及びその他留意事項	105
<b>第3章</b>	<b>第3期特定健康診査等実施計画</b>	
	1. 計画策定にあたって	107
	(1) 計画策定の趣旨	107
	(2) 特定健康診査等実施計画の位置づけ	107
	(3) 計画期間	108
	2. 特定健康診査の実施状況	109
	(1) 特定健康診査の受診率	109
	(2) 特定健康診査に係る主な取組み	112
	(3) 特定健康診査結果の分析	113
	①有所見者割合	113
	②質問別回答状況	115
	③特定健康診査の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況	117
	(4) 特定健康診査実施状況に基づく課題と対策	118
	3. 特定保健指導の実施状況	119
	(1) 特定保健指導の実施率	119
	(2) 特定保健指導に係る主な取組み	124
	(3) 特定保健指導の効果分析	125
	(4) 特定保健指導対象者の分析	127
	①保健指導レベル該当	127
	②特定保健指導リスク因子別該当状況	129
	③特定保健指導対象者と非対象者の医療費の比較	130

	(5) 特定保健指導実施状況に基づく課題と対策	132
	4. 生活習慣病に係る医療費	133
	5. 特定健康診査等実施計画	136
	(1) 目標	136
	(2) 対象者数推計	136
	① 特定健康診査対象者数及び受診者数見込み	136
	② 特定保健指導対象者数及び実施者数見込み	137
	(3) 実施方法	138
	① 特定健康診査の実施方法	138
	② 特定保健指導の実施方法	139
	6. その他	141
	(1) 個人情報の保護	141
	① 個人情報保護関係規定の遵守	141
	② データの管理	141
	(2) 特定健康診査等実施計画の公表及び周知	141
	(3) 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し	142
	① 評価	142
	② 計画の見直し	142
	(4) 事業運営上の留意事項	142
	① 各種検(健)診等の連携	142
	② 健康づくり事業との連携	142
<b>参考資料</b>		
<b>地区分析</b>		
	1. 大分類による疾病別医療費地区別統計	145
	2. 中分類による疾病別医療費地区別統計	162
<b>年度別 特定健康診査結果分析</b>		
	1. 有所見者割合	180
	2. 質問別回答状況	189
<b>巻末資料</b>		
	1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	200
	2. 用語解説集	201
	3. 疾病分類	202

# 第1章 保険者の特性把握と分析結果

# 1. 保険者の特性把握

## (1) 基本情報

本市の平成28年度における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は28.2%であり、県との比較では1.24倍、同規模との比較では1.17倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は18,947人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は31.1%である。国民健康保険被保険者平均年齢は49.6歳である。

### 人口構成概要(平成28年度)

	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
常総市	60,901	28.2%	18,947	31.1%	49.6	6.8%	12.3%
県	2,914,135	22.8%	799,191	27.4%	51.1	8.2%	9.8%
同規模	68,973	24.1%	16,980	24.7%	52.8	8.4%	10.1%
国	124,852,975	23.2%	32,587,866	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

※「県」は茨城県を指す。以下すべての表において同様である。

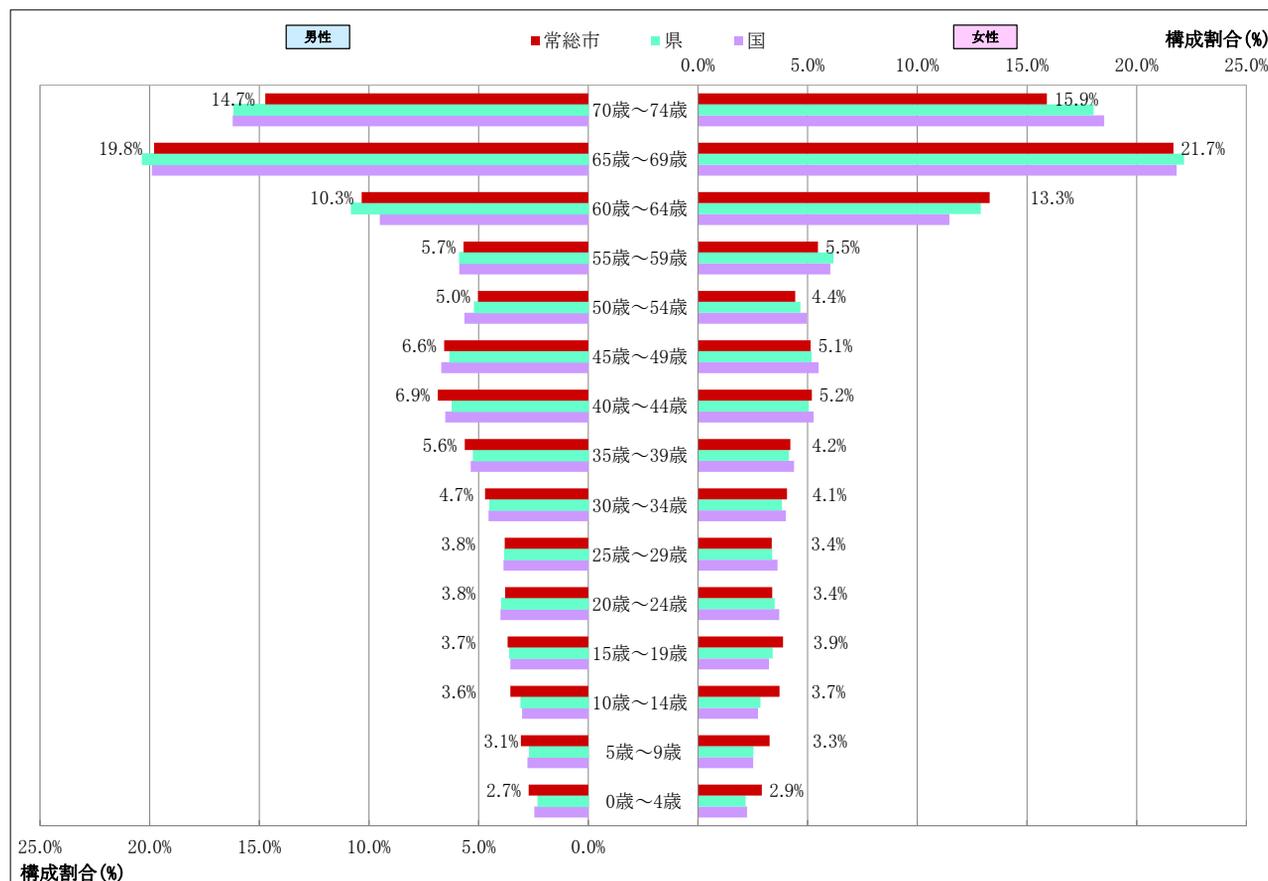
出典: 国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

いばらき統計情報ネットワーク(茨城県)「茨城県と常総市の人口及び高齢化率、常総市の出生率と死亡率」

総務省統計局・人口推計「全国の人口及び高齢化率」

e-stat政府統計の総合窓口「全国と茨城県の出生率及び死亡率」

### 男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典: 国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

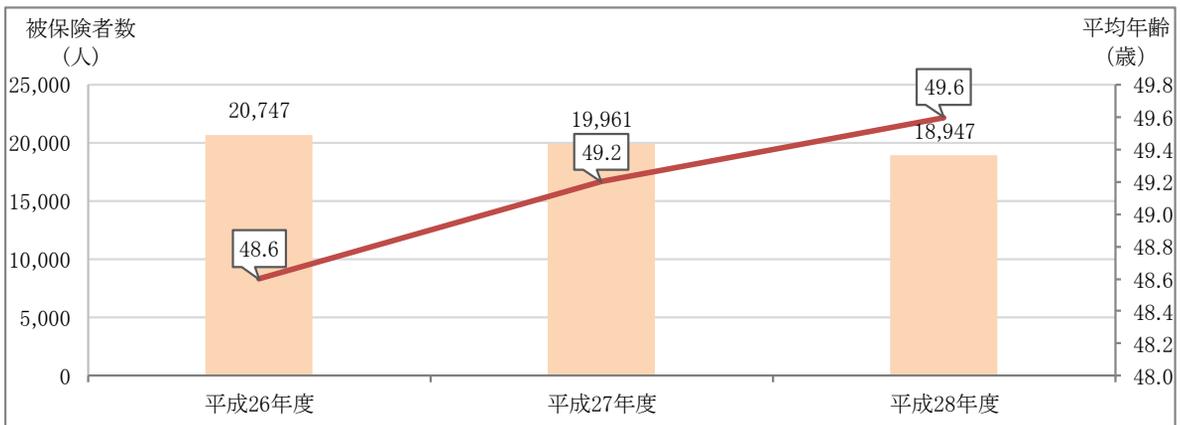
本市の平成26年度から平成28年度における、人口構成概要を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、国民健康保険被保険者数18,947人は平成26年度20,747人より1,800人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢49.6歳は平成26年度48.6歳より1.0歳上昇している。

### 年度別 人口構成概要

区分		人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
常総市	平成26年度	63,154	25.8%	20,747	33.2%	48.6	7.1%	11.8%
	平成27年度	62,808	26.8%	19,961	32.0%	49.2	6.5%	12.3%
	平成28年度	60,901	28.2%	18,947	31.1%	49.6	6.8%	12.3%
県	平成26年度	2,914,135	22.8%	878,261	30.1%	49.8	8.2%	9.8%
	平成27年度	2,914,135	22.8%	845,824	29.0%	50.4	8.2%	9.8%
	平成28年度	2,914,135	22.8%	799,191	27.4%	51.1	8.2%	9.8%
同規模	平成26年度	68,299	24.2%	18,546	27.1%	51.7	8.3%	10.1%
	平成27年度	68,241	24.2%	17,773	26.1%	52.2	8.4%	10.1%
	平成28年度	68,973	24.1%	16,980	24.7%	52.8	8.4%	10.1%
国	平成26年度	124,852,975	23.2%	32,318,324	28.8%	50.3	8.6%	9.6%
	平成27年度	124,852,975	23.2%	33,767,446	28.2%	50.4	8.6%	9.6%
	平成28年度	124,852,975	23.2%	32,587,866	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」  
 いばらき統計情報ネットワーク(茨城県)「茨城県と常総市の人口及び高齢化率、常総市の出生率と死亡率」  
 総務省統計局・人口推計「全国の人口及び高齢化率」  
 e-stat政府統計の総合窓口「全国と茨城県の出生率及び死亡率」

### 年度別 被保険者数



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

## (2) 医療費等の状況

本市の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。

千人当たりの病院数は、同規模・国を下回っていて、受診率は県・同規模・国を下回っている。医療費は、外来の割合が県・同規模・国より高い傾向である。

### 医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	常総市	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.2	0.2	0.3	0.3
診療所数	1.9	2.2	2.8	3.0
病床数	29.7	40.2	50.3	46.8
医師数	3.3	6.5	7.5	9.2
外来患者数	608.0	629.2	688.2	668.1
入院患者数	16.2	16.3	19.8	18.2
受診率	624.2	645.5	708.0	686.3
一件当たり医療費(円)	36,060	34,810	36,130	35,330
一般(円)	36,150	34,730	36,080	35,270
退職(円)	32,310	37,640	37,660	37,860
外来				
外来費用の割合	63.3%	62.2%	59.3%	60.1%
外来受診率	608.0	629.2	688.2	668.1
一件当たり医療費(円)	23,440	22,210	22,060	21,820
一人当たり医療費(円)	14,250	13,980	15,180	14,580
一日当たり医療費(円)	15,540	14,940	14,130	13,910
一件当たり受診回数	1.5	1.5	1.6	1.6
入院				
入院費用の割合	36.7%	37.8%	40.7%	39.9%
入院率	16.2	16.3	19.8	18.2
一件当たり医療費(円)	510,310	521,880	524,900	531,780
一人当たり医療費(円)	8,250	8,490	10,400	9,670
一日当たり医療費(円)	33,860	34,550	32,470	34,030
一件当たり在院日数	15.1	15.1	16.2	15.6

### (3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

#### ① 特定健康診査

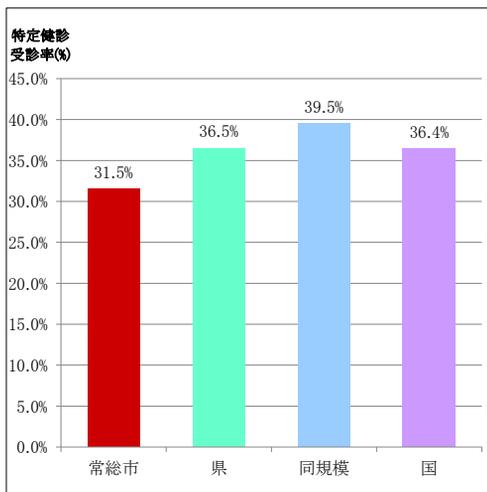
本市の平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。受診率は、県・同規模・国より下回っている。

特定健康診査受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
常総市	31.5%
県	36.5%
同規模	39.5%
国	36.4%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

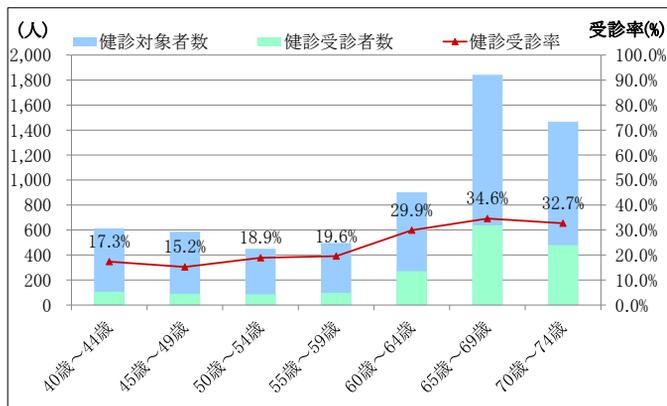
特定健康診査受診率(平成28年度)



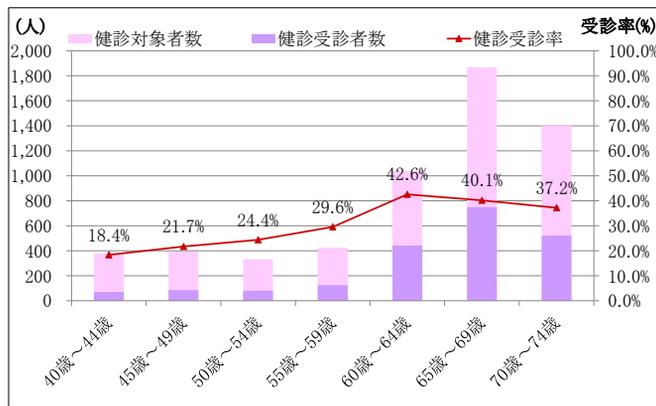
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別・年齢階層別特定健康診査受診率をみると、男女ともに年代が高いほど受診率が高い傾向がある。

(男性)年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



(女性)年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

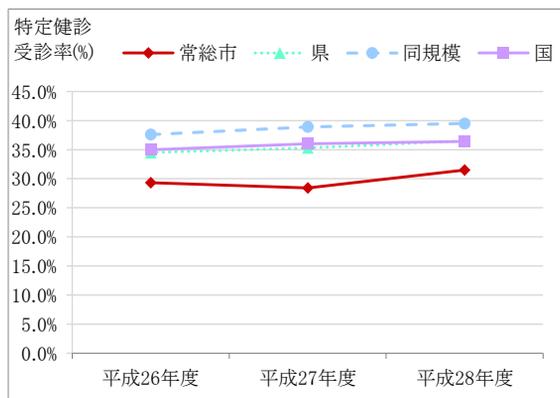
本市の平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成28年度の特定健康診査受診率31.5%は平成26年度29.3%より2.2ポイント上昇している。

### 年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<b>常総市</b>	<b>29.3%</b>	<b>28.4%</b>	<b>31.5%</b>
県	34.5%	35.3%	36.5%
同規模	37.6%	38.9%	39.5%
国	35.0%	36.0%	36.4%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

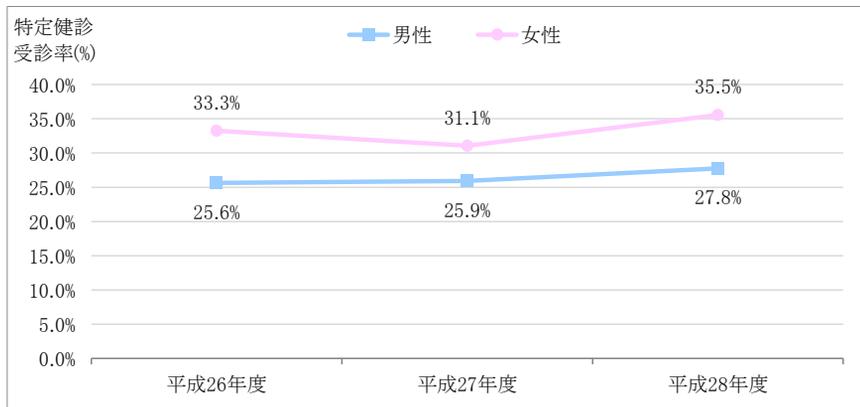
### 年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率27.8%は平成26年度25.6%より2.2ポイント上昇し、女性の平成28年度受診率35.5%も平成26年度33.3%より2.2ポイント上昇している。

### 年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

## ②特定保健指導

本市の平成28年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。支援対象者は県・同規模・国より多く、特定保健指導の実施率は県・同規模より低い状況である。

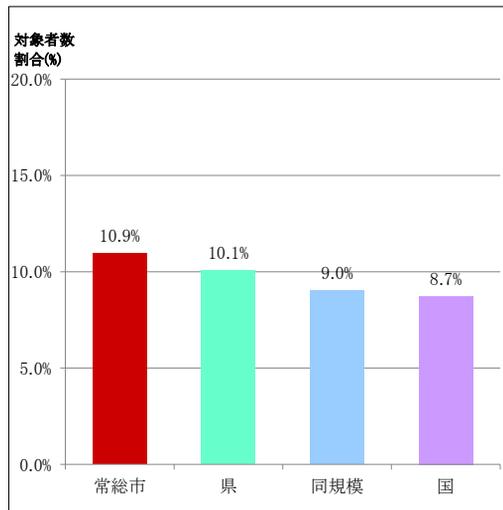
### 特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援対象者数割合	積極的支援対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導実施率
常総市	10.9%	4.0%	14.9%	21.2%
県	10.1%	4.0%	14.0%	28.8%
同規模	9.0%	2.9%	11.9%	30.2%
国	8.7%	3.2%	12.0%	21.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

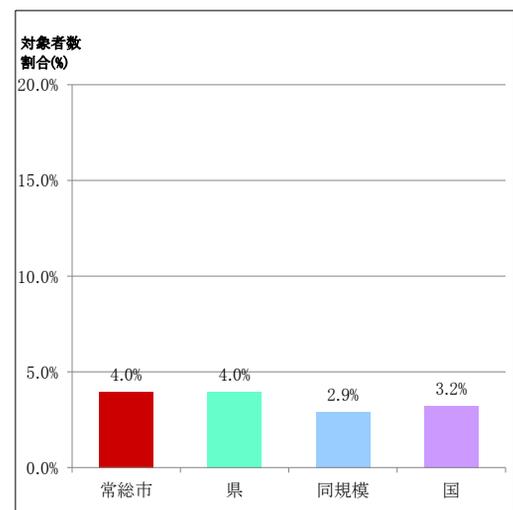
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」※常総市の特定保健指導実施率のみ法定報告値

### 動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



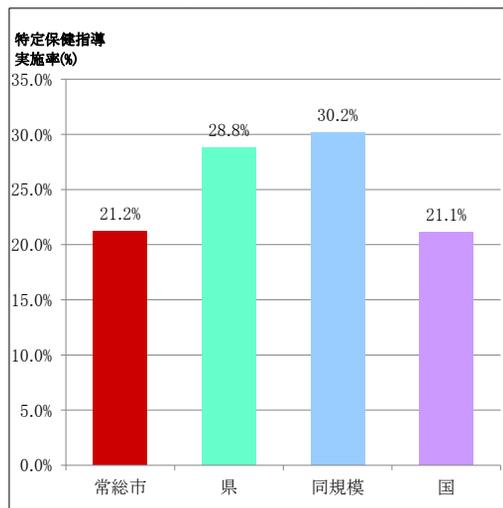
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

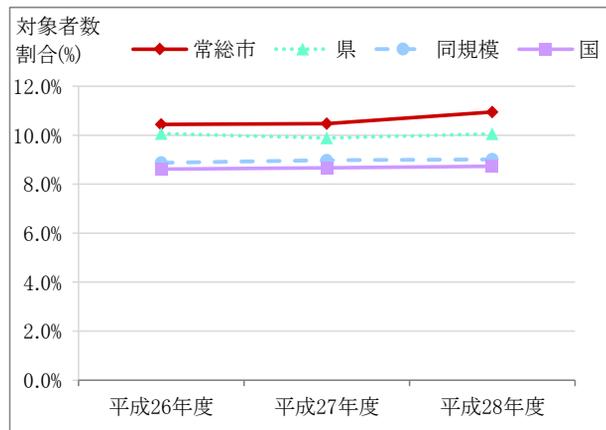
本市の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。  
平成28年度の特定保健指導実施率21.2%は平成26年度22.5%より1.3ポイント低下している。

### 年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
常総市	10.4%	10.5%	10.9%	4.7%	4.1%	4.0%	15.2%	14.6%	14.9%	22.5%	23.2%	21.2%
県	10.1%	9.9%	10.1%	4.3%	4.1%	4.0%	14.4%	14.0%	14.0%	26.7%	26.3%	28.8%
同規模	8.9%	9.0%	9.0%	3.2%	3.0%	2.9%	12.1%	12.0%	11.9%	26.7%	28.3%	30.2%
国	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	12.0%	19.9%	20.2%	21.1%

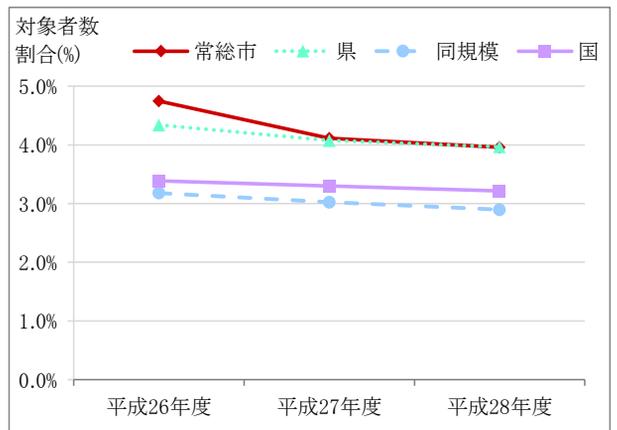
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。  
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」※常総市の平成28年度の特定保健指導実施率のみ法定報告値

### 年度別 動機付け支援対象者数割合



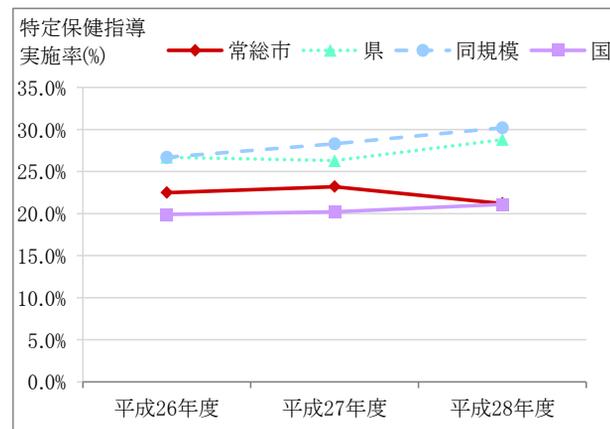
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 積極的支援対象者数割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 特定保健指導実施率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

#### (4) 介護保険の状況

本市の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。

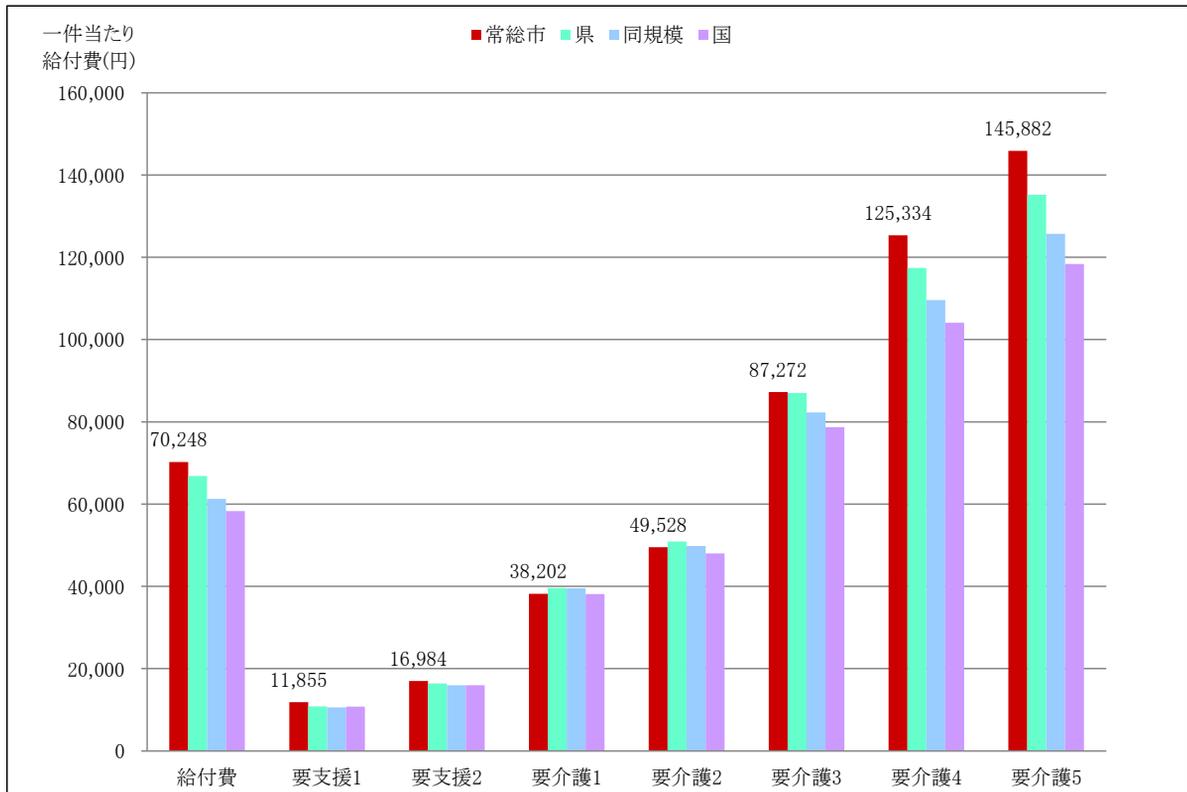
本市の介護保険認定率は、同規模・国より低い、給付費は、全体では県・同規模・国より高い状況である。

##### 認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	常総市	県	同規模	国
認定率	<b>18.2%</b>	18.1%	20.2%	21.2%
認定者数(人)	<b>2,840</b>	125,310	913,855	6,037,083
第1号(65歳以上)	<b>2,761</b>	121,496	891,869	5,885,270
第2号(40～64歳)	<b>79</b>	3,814	21,986	151,813
一件当たり給付費(円)				
給付費	<b>70,248</b>	66,869	61,245	58,284
要支援1	<b>11,855</b>	10,844	10,581	10,735
要支援2	<b>16,984</b>	16,404	15,951	15,996
要介護1	<b>38,202</b>	39,596	39,503	38,163
要介護2	<b>49,528</b>	50,902	49,853	48,013
要介護3	<b>87,272</b>	86,980	82,314	78,693
要介護4	<b>125,334</b>	117,389	109,614	104,104
要介護5	<b>145,882</b>	135,198	125,728	118,361

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

##### 一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

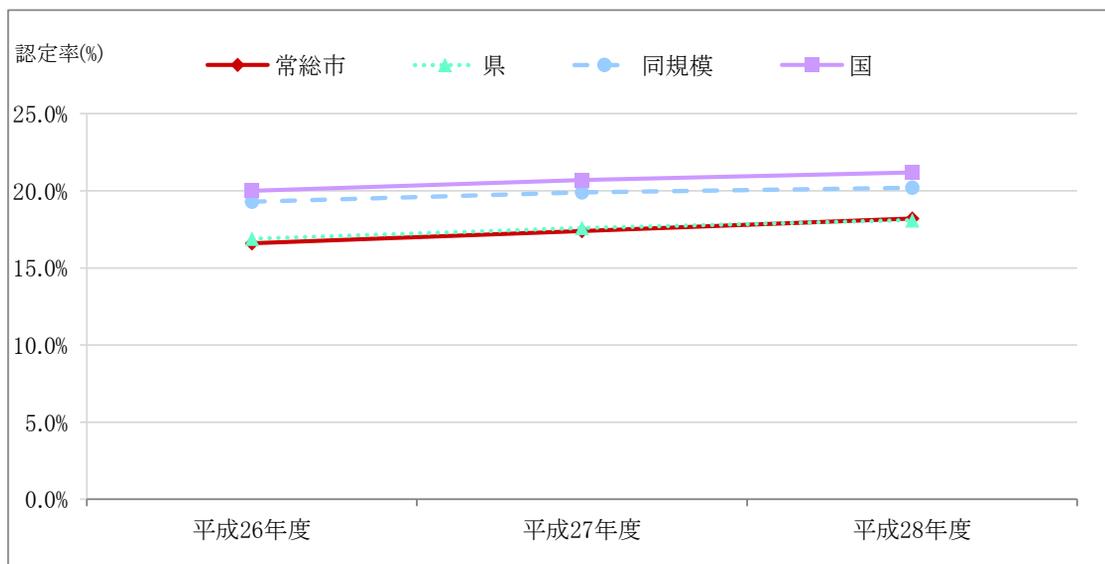
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度認定率18.2%は平成26年度16.6%より1.6ポイント上昇しており、平成28年度の認定者数2,840人は平成26年度2,620人より220人増加している。

### 年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
				第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)
常総市	平成26年度	16.6%	2,620	2,550	70
	平成27年度	17.4%	2,720	2,656	64
	平成28年度	18.2%	2,840	2,761	79
県	平成26年度	16.9%	118,329	114,417	3,912
	平成27年度	17.6%	122,073	118,207	3,866
	平成28年度	18.1%	125,310	121,496	3,814
同規模	平成26年度	19.3%	883,689	860,333	23,356
	平成27年度	19.9%	908,391	885,519	22,872
	平成28年度	20.2%	913,855	891,869	21,986
国	平成26年度	20.0%	5,324,880	5,178,997	145,883
	平成27年度	20.7%	5,751,982	5,602,383	149,599
	平成28年度	21.2%	6,037,083	5,885,270	151,813

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると8,225人となり、認定者は平均2.9疾病を有していることがわかる。

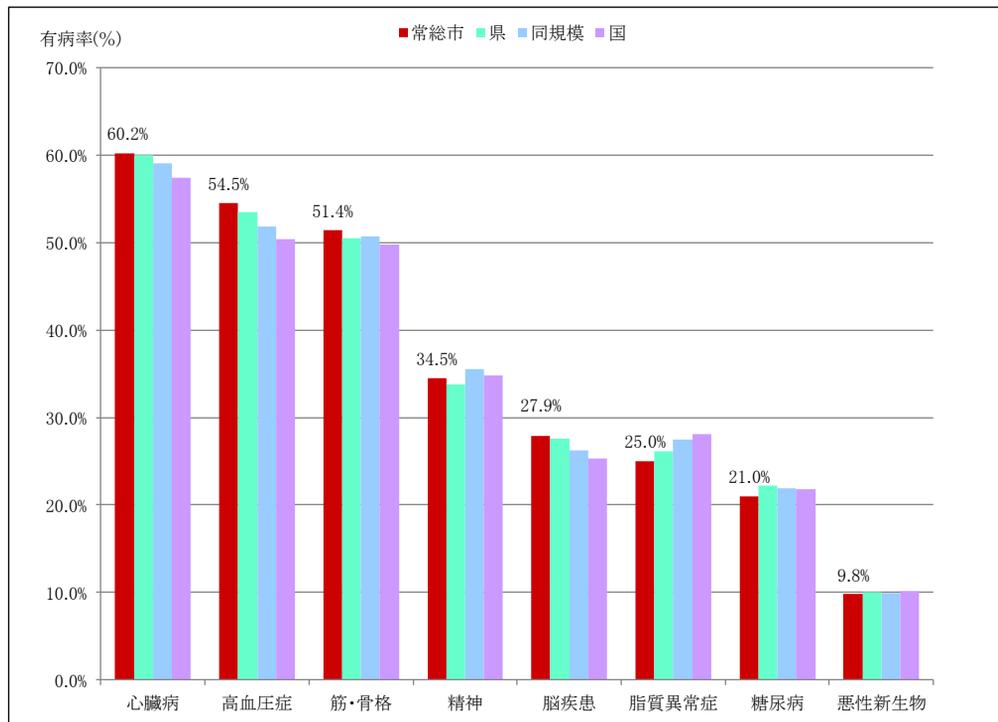
### 認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	常総市	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)	2,840		125,310		913,855		6,037,083	
心臓病	実人数(人)	1,745	76,051	546,239	3,529,682			
	有病率	60.6%	60.2%	59.2%	58.0%			
高血圧症	実人数(人)	1,577	67,924	479,210	3,101,200			
	有病率	54.9%	53.7%	51.8%	50.9%			
筋・骨格	実人数(人)	1,454	64,311	469,492	3,067,196			
	有病率	51.7%	50.7%	50.8%	50.3%			
精神	実人数(人)	1,018	43,508	331,335	2,154,214			
	有病率	34.8%	34.0%	35.6%	35.2%			
脳疾患	実人数(人)	794	34,670	239,587	1,538,683			
	有病率	28.0%	27.6%	26.2%	25.5%			
脂質異常症	実人数(人)	750	33,615	256,268	1,741,866			
	有病率	25.3%	26.3%	27.6%	28.4%			
糖尿病	実人数(人)	615	28,379	203,882	1,350,152			
	有病率	21.2%	22.3%	22.0%	22.1%			
悪性新生物	実人数(人)	272	12,783	93,015	631,950			
	有病率	9.9%	10.0%	10.0%	10.3%			
合計	実人数(人)	8,225	361,241	2,619,028	17,114,943			
	有病数	2.9	2.9	2.9	2.8			

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 認定者の疾病別有病率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度の認定者が有している平均疾病数2.9疾病は平成26年度からほぼ横ばいである。

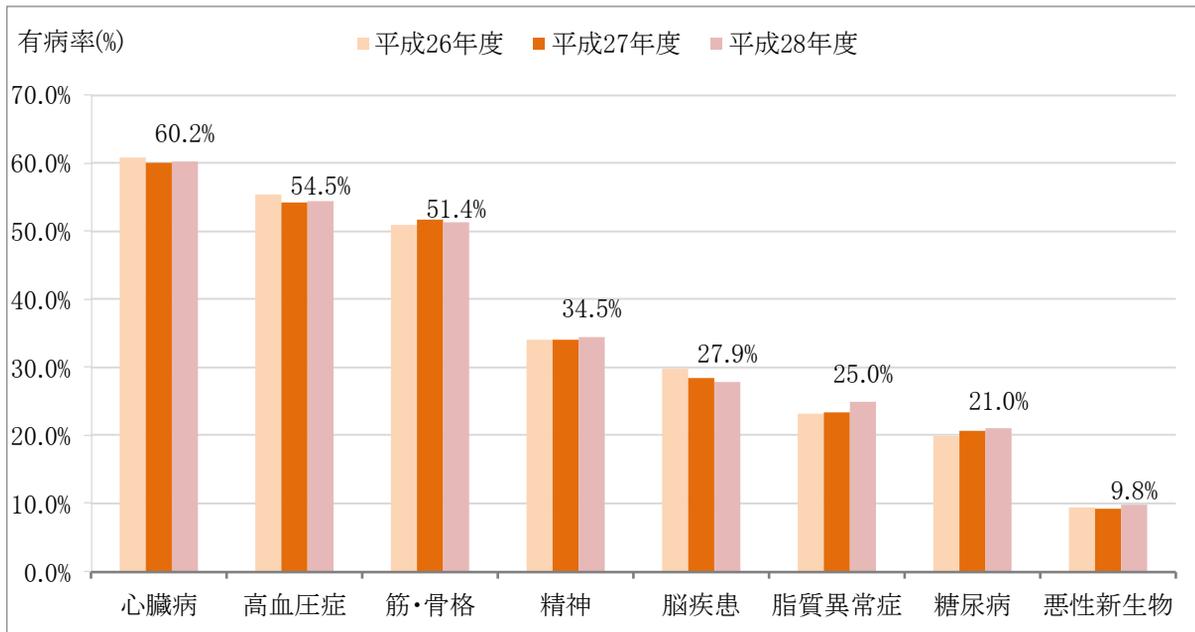
### 年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	常総市						県			同規模			国		
	平成26年度	順位	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
認定者数(人)	2,620		2,720		2,816		118,329	122,073	124,849	883,689	908,391	911,270	5,324,880	5,751,982	5,978,439
心臓病	実人数(人)	1,573	1,636	1,687	1,687	1	71,637	74,328	73,156	491,660	534,422	528,376	2,914,608	3,261,576	3,389,693
	有病率(%)	60.8%	60.1%	60.2%	60.2%	1	60.2%	60.4%	60.0%	54.3%	58.2%	59.1%	54.8%	56.7%	57.4%
高血圧症	実人数(人)	1,427	1,479	1,525	1,525	2	63,832	66,288	65,173	429,786	468,849	462,763	2,551,660	2,865,466	2,972,403
	有病率(%)	55.4%	54.2%	54.5%	54.5%	2	53.5%	53.9%	53.5%	47.3%	50.9%	51.8%	47.9%	49.7%	50.4%
筋・骨格	実人数(人)	1,351	1,445	1,407	1,407	3	59,387	62,167	61,945	420,178	457,630	453,830	2,505,146	2,813,795	2,944,705
	有病率(%)	51.0%	51.7%	51.4%	51.4%	3	49.9%	50.4%	50.5%	46.3%	49.8%	50.7%	47.1%	48.9%	49.8%
精神	実人数(人)	893	942	985	985	4	39,795	41,764	41,558	288,192	318,349	320,549	1,720,172	1,963,213	2,069,044
	有病率(%)	34.0%	34.0%	34.5%	34.5%	4	33.4%	33.8%	33.8%	31.6%	34.4%	35.5%	32.2%	33.8%	34.8%
脳疾患	実人数(人)	764	775	761	761	5	33,934	34,505	33,126	223,901	239,223	231,111	1,324,669	1,455,985	1,473,732
	有病率(%)	29.7%	28.4%	27.9%	27.9%	5	28.8%	28.3%	27.6%	25.0%	26.2%	26.2%	25.2%	25.4%	25.3%
脂質異常症	実人数(人)	588	650	707	707	6	30,322	31,857	32,096	224,805	249,089	245,924	1,386,541	1,586,963	1,659,865
	有病率(%)	23.2%	23.3%	25.0%	25.0%	6	25.0%	25.8%	26.1%	24.5%	26.8%	27.5%	25.7%	27.3%	28.1%
糖尿病	実人数(人)	523	578	582	582	7	26,068	27,404	27,217	180,064	198,628	195,749	1,089,285	1,241,024	1,288,235
	有病率(%)	19.8%	20.6%	21.0%	21.0%	7	21.9%	22.1%	22.2%	19.7%	21.5%	21.9%	20.3%	21.4%	21.8%
悪性新生物	実人数(人)	241	269	263	263	8	11,498	12,103	12,256	80,701	89,488	88,443	493,808	569,967	595,826
	有病率(%)	9.5%	9.3%	9.8%	9.8%	8	9.5%	9.8%	10.0%	8.8%	9.7%	9.9%	9.2%	9.8%	10.1%
合計	実人数(人)	7,360	7,774	7,917	7,917		336,473	350,416	346,527	2,339,287	2,555,678	2,526,745	13,985,889	15,757,989	16,393,503
	有病数	2.8	2.9	2.8	2.8		2.8	2.9	2.8	2.6	2.8	2.8	2.6	2.7	2.7

出典: 国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

### 年度別 認定者の疾病別有病率



出典: 国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

## (5) 主たる死因の状況

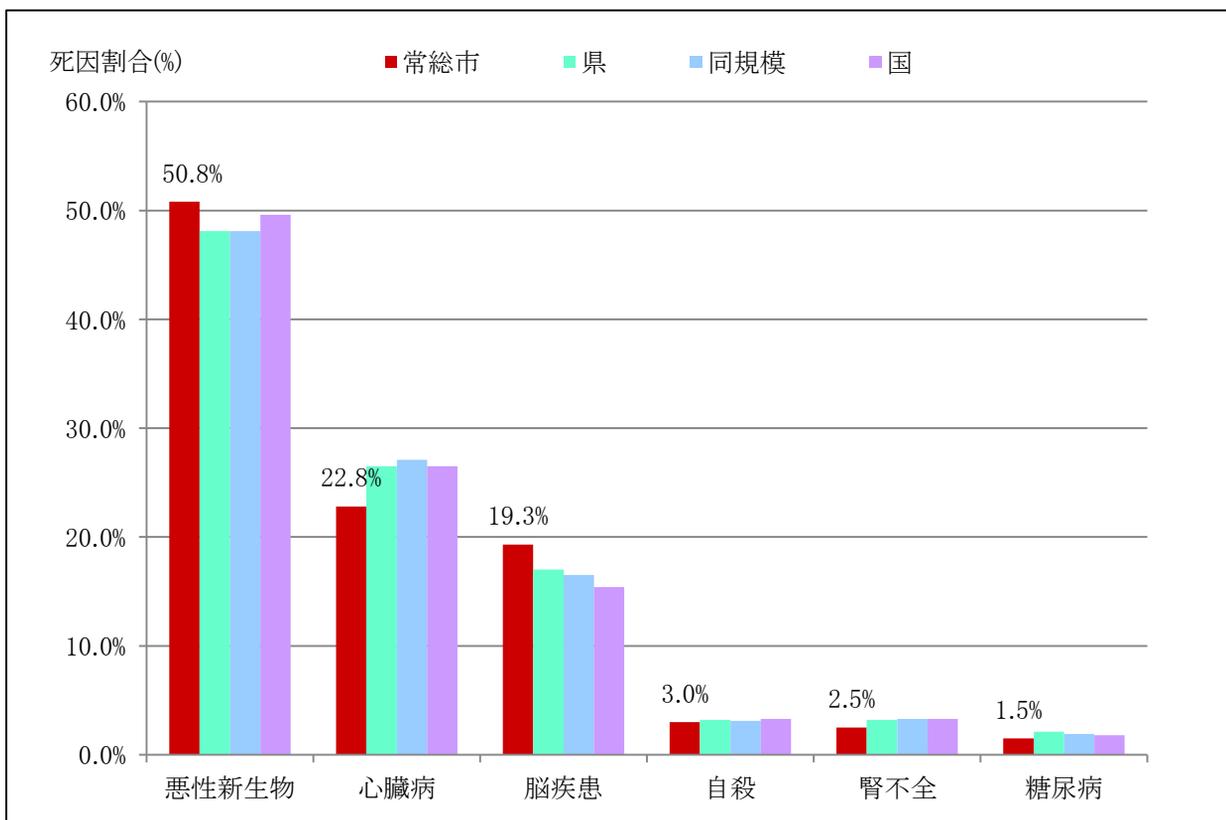
本市の平成28年度における主たる死因の状況を以下に示す。  
悪性新生物と脳疾患が県・同規模・国より高い状況である。

### 主たる死因の状況(平成28年度)

疾病項目	常総市		県	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	200	50.8%	48.1%	48.1%	49.6%
心臓病	90	22.8%	26.5%	27.1%	26.5%
脳疾患	76	19.3%	17.0%	16.5%	15.4%
自殺	12	3.0%	3.2%	3.1%	3.3%
腎不全	10	2.5%	3.2%	3.3%	3.3%
糖尿病	6	1.5%	2.1%	1.9%	1.8%
合計	394				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 主たる死因の割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

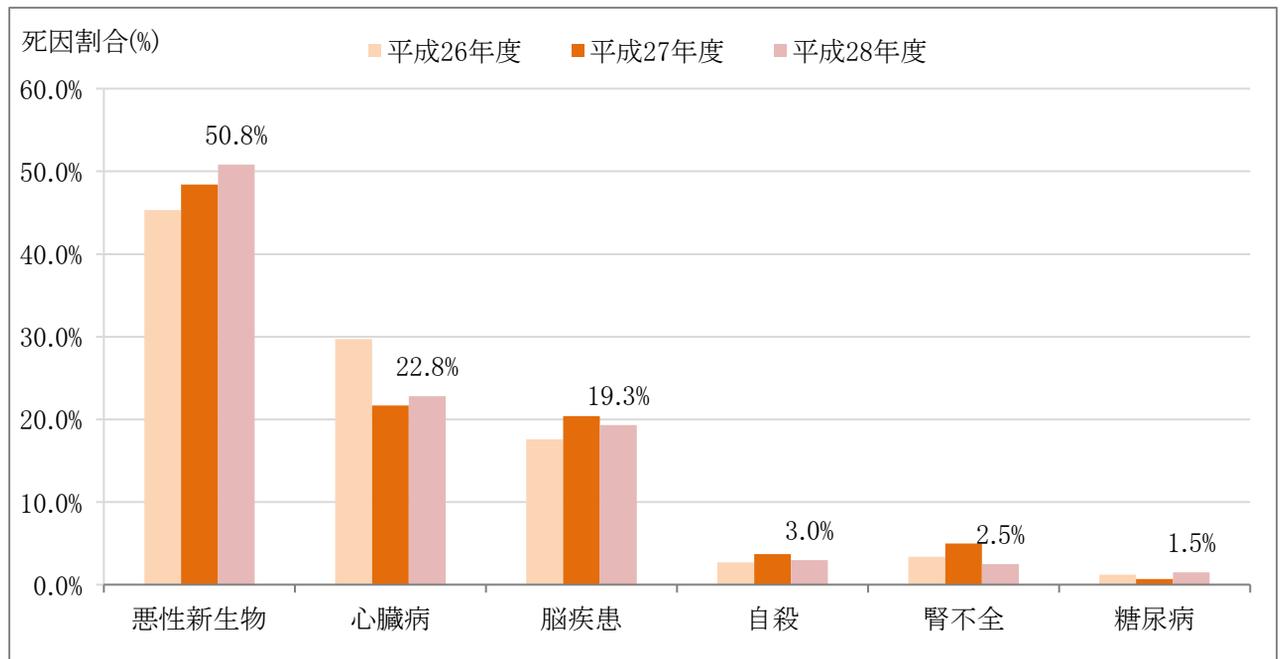
本市の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数200人は平成26年度185人より15人増加しており、心臓病を死因とする人数90人は平成26年度121人より31人減少している。また、脳疾患を死因とする人数76人は平成26年度72人より4人増加している。

### 年度別 主たる死因の状況

疾病項目	常総市						県			同規模			国		
	人数(人)			割合(%)			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度									
悪性新生物	185	194	200	45.3%	48.4%	50.8%	45.8%	46.8%	48.1%	46.7%	47.5%	48.1%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	121	87	90	29.7%	21.7%	22.8%	27.4%	26.4%	26.5%	27.2%	27.1%	27.1%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	72	82	76	17.6%	20.4%	19.3%	17.8%	18.1%	17.0%	17.2%	16.7%	16.5%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	11	15	12	2.7%	3.7%	3.0%	3.4%	3.4%	3.2%	3.4%	3.4%	3.1%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	14	20	10	3.4%	5.0%	2.5%	3.3%	3.1%	3.2%	3.5%	3.4%	3.3%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	5	3	6	1.2%	0.7%	1.5%	2.3%	2.1%	2.1%	2.0%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	408	401	394												

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## (6) 死亡数及び標準化死亡比

2010年から2014年の本市の標準化死亡比を以下に示す。男性では急性心筋梗塞と脳梗塞、女性では脳血管疾患の死亡率が高い状況である。

### 男性の死亡数及び標準化死亡比（2010年～2014年）

	全死因	悪性新生物	胃の悪性新生物	結腸及び直腸の悪性新生物	肝及び肝内胆管の悪性新生物	気管、気管支及び肺の悪性新生物	糖尿病	(高血圧性を除く)心疾患	急性心筋梗塞	脳血管疾患	くも膜下出血	脳内出血	脳梗塞	腎不全
標準化死亡比※1	1.07	1.01	1.29	0.84	0.78	1.06	0.91	1.03	1.30	1.13	0.93	1.01	1.25	1.20
死亡数	1849	576	110	56	42	144	18	250	79	173	12	49	110	37
期待死亡数※2	1723.7	568.5	85.4	66.9	53.6	135.9	19.8	241.7	60.8	153.4	13.0	48.5	88.1	30.9
期待死亡数との差	125.3	7.5	24.6	-10.9	-11.6	8.1	-1.8	8.3	18.2	19.6	-1.0	0.5	21.9	6.1
全国に比べて有意に高い※3	○		○						○				○	
全国に比べて有意に低い※4														

### 女性の死亡数及び標準化死亡比（2010年～2014年）

	全死因	悪性新生物	胃の悪性新生物	結腸及び直腸の悪性新生物	肝及び肝内胆管の悪性新生物	気管、気管支及び肺の悪性新生物	乳房の悪性新生物	子宮の悪性新生物	糖尿病	(高血圧性を除く)心疾患	急性心筋梗塞	脳血管疾患	くも膜下出血	脳内出血	脳梗塞	腎不全
標準化死亡比※1	1.08	1.01	1.48	1.22	0.61	0.53	0.92	1.28	0.67	1.01	1.23	1.23	1.46	1.12	1.25	1.18
死亡数	1731	384	66	69	17	28	30	20	12	288	61	208	31	45	130	42
期待死亡数※2	1606.8	381.8	44.5	56.5	28.0	52.8	32.7	15.6	18.0	283.8	49.7	169.5	21.2	40.2	103.7	35.5
期待死亡数との差	124.2	2.2	21.5	12.5	-11.0	-24.8	-2.7	4.4	-6.0	4.2	11.3	38.5	9.8	4.8	26.3	6.5
全国に比べて有意に高い※3	○		○									○			○	
全国に比べて有意に低い※4					○	○										

出典:茨城県立健康プラザ「平成29年茨城県市町村別健康指標」

※1 標準化死亡比…標準とする集団（全国）に比べ、どのくらい高いかを示す比率。全国を1とし、その比が1より大きい場合は全国平均よりも死亡率が高く、1より小さい場合は全国平均よりも死亡率が低いことを意味する。

※2 期待死亡数…公衆衛生学上の専門用語で、全国と同じ死亡率なら何人死亡するはずか以下の計算式で求めたもの。

(期待死亡数) = (年齢階層別全国死亡率) × (年齢階層別市町村の人口) の総和

※3、4 有意に…統計学上、偶然ではない（何らかの原因が存在する）可能性が高いと推測されるという意味。

## 2. 医療情報分析結果

### (1) 基礎統計

当医療費統計は、常総市国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均19,432人、レセプト件数は平均20,168件、患者数は平均9,025人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均48,737円となった。

#### 基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	
A	被保険者数(人)	20,037	19,737	19,720	19,703	19,604	19,553	19,464	
B	レセプト件数(件)	入院外	12,080	11,736	12,088	11,818	11,765	11,530	11,966
		入院	314	312	312	311	319	303	331
		調剤	8,116	7,883	8,048	7,951	7,820	7,807	8,063
		合計	20,510	19,931	20,448	20,080	19,904	19,640	20,360
C	医療費(円) ※	460,053,480	418,834,880	435,334,940	444,313,220	446,573,140	439,984,010	461,579,340	
D	患者数(人) ※	9,249	8,969	9,146	8,984	8,973	8,798	9,104	
C/A	被保険者一人当たりの平均医療費(円)	22,960	21,221	22,076	22,551	22,780	22,502	23,715	
C/B	レセプト一件当たりの平均医療費(円)	22,431	21,014	21,290	22,127	22,436	22,402	22,671	
C/D	患者一人当たりの平均医療費(円)	49,741	46,698	47,598	49,456	49,769	50,010	50,701	
B/A	受診率(%)	102.4%	101.0%	103.7%	101.9%	101.5%	100.4%	104.6%	
D/A	有病率(%)	46.2%	45.4%	46.4%	45.6%	45.8%	45.0%	46.8%	

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	19,301	19,180	19,059	18,923	18,902	19,432		
B	レセプト件数(件)	入院外	11,739	12,004	11,542	11,551	12,047	11,822	141,866
		入院	310	317	313	302	332	315	3,776
		調剤	8,007	8,262	7,991	8,028	8,400	8,031	96,376
		合計	20,056	20,583	19,846	19,881	20,779	20,168	242,018
C	医療費(円) ※	428,333,170	452,277,490	415,031,010	405,870,640	469,902,300	439,840,635	5,278,087,620	
D	患者数(人) ※	8,959	9,196	8,933	8,871	9,115	9,025	108,297	
C/A	被保険者一人当たりの平均医療費(円)	22,192	23,581	21,776	21,449	24,860	22,635		
C/B	レセプト一件当たりの平均医療費(円)	21,357	21,973	20,913	20,415	22,614	21,809		
C/D	患者一人当たりの平均医療費(円)	47,810	49,182	46,460	45,753	51,553	48,737		
B/A	受診率(%)	103.9%	107.3%	104.1%	105.1%	109.9%	103.8%		
D/A	有病率(%)	46.4%	47.9%	46.9%	46.9%	48.2%	46.4%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

平成26年度から平成28年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析する。平成28年度を平成26年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数19,432人は、平成26年度19,306人より126人増加しており、医療費52億7,809万円は平成26年度53億9,861万円より1億2,052万円減少している。また、一カ月平均の患者数9,025人は、平成26年度9,557人より532人減少している。

## 年度別 基礎統計

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	19,306	20,431	19,432	
B	レセプト件数(件)	入院外	148,355	145,528	141,866
		入院	3,959	3,895	3,776
		調剤	99,217	98,401	96,376
		合計	251,531	247,824	242,018
C	医療費(円) ※	5,398,614,860	5,440,779,670	5,278,087,620	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	9,557	9,326	9,025	
C/A	被保険者一人当たりの平均医療費(円)	23,303	22,192	22,635	
C/B	レセプト一件当たりの平均医療費(円)	21,463	21,954	21,809	
D/A	有病率(%)	49.5%	45.6%	46.4%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

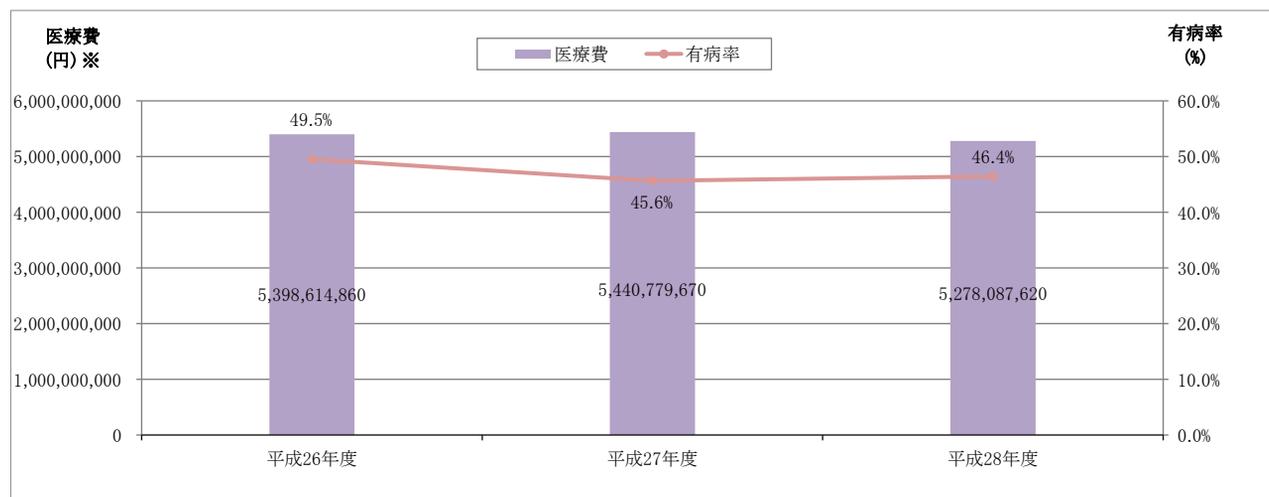
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局を受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局を受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

## 年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局を受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

## (2) 高額レセプトの件数及び医療費

### ① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは1,551件発生しており、レセプト件数全体の0.6%を占める。高額レセプトの医療費は15億9,043万円となり、医療費全体の30.1%を占める。

#### 高額レセプト件数及び医療費

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	20,510	19,931	20,448	20,080	19,904	19,640	20,360
B	高額レセプト件数(件)	133	120	125	139	132	125	145
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.6%	0.6%	0.7%	0.7%	0.6%	0.7%
C	医療費(円) ※	460,053,480	418,834,880	435,334,940	444,313,220	446,573,140	439,984,010	461,579,340
D	高額レセプトの医療費(円) ※	146,292,430	114,435,010	120,591,550	142,589,560	137,024,700	139,716,570	151,042,780
E	その他レセプトの医療費(円) ※	313,761,050	304,399,870	314,743,390	301,723,660	309,548,440	300,267,440	310,536,560
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	31.8%	27.3%	27.7%	32.1%	30.7%	31.8%	32.7%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	20,056	20,583	19,846	19,881	20,779	20,168	242,018
B	高額レセプト件数(件)	129	134	121	122	126	129	1,551
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.7%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	
C	医療費(円) ※	428,333,170	452,277,490	415,031,010	405,870,640	469,902,300	439,840,635	5,278,087,620
D	高額レセプトの医療費(円) ※	129,505,200	142,256,370	112,278,360	111,801,340	142,898,640	132,536,043	1,590,432,510
E	その他レセプトの医療費(円) ※	298,827,970	310,021,120	302,752,650	294,069,300	327,003,660	307,304,593	3,687,655,110
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	30.2%	31.5%	27.1%	27.5%	30.4%	30.1%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

平成26年度から平成28年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示す。平成28年度高額レセプト件数1,551件は平成26年度1,477件より74件増加しており、平成28年度高額レセプトの医療費15億9,043万円は平成26年度15億363万円より8,680万円増加している。

### 年度別 高額レセプトの件数及び医療費

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	レセプト件数(件)	251,531	247,824	242,018
B	高額レセプト件数(件)	1,477	1,529	1,551
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.6%	0.6%
C	医療費(円) ※	5,398,614,860	5,440,779,670	5,278,087,620
D	高額レセプトの医療費(円) ※	1,503,630,080	1,581,401,290	1,590,432,510
E	その他レセプトの医療費(円) ※	3,894,984,780	3,859,378,380	3,687,655,110
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	27.9%	29.1%	30.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

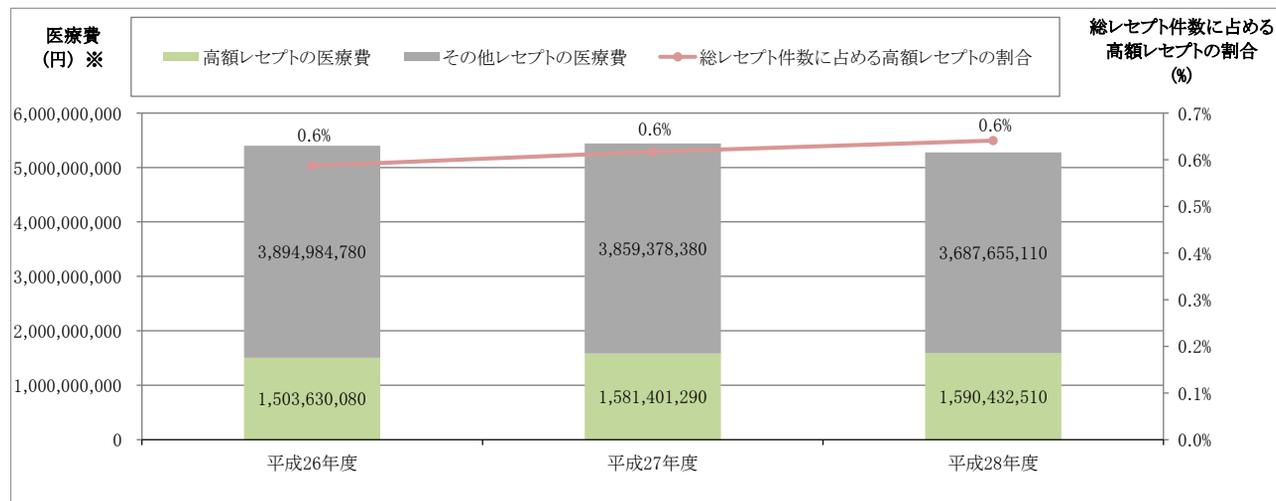
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

### 年度別 高額レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

## ②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を以下の通り示した。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の分析期間中の全医療費を入院、入院外で集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「貧血」「脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群」「くも膜下出血」等となった。

### 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	中分類	中分類名	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0301	貧血	発作性夜間ヘモグロビン尿症、自己免疫性溶血性貧血、汎血球減少症	4	2,610,270	45,496,650	48,106,920	12,026,730
2	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺、片麻痺	2	14,559,590	123,080	14,682,670	7,341,335
3	0904	くも膜下出血	くも膜下出血	3	16,961,360	896,480	17,857,840	5,952,613
4	0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	強迫性障害	1	5,889,140	0	5,889,140	5,889,140
5	1402	腎不全	慢性腎不全、末期腎不全、慢性腎臓病ステージG5D	19	34,167,310	76,433,540	110,600,850	5,821,097
6	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫、非ホジキンリンパ腫、血管内大細胞型B細胞性リンパ腫	9	26,991,750	12,370,580	39,362,330	4,373,592
7	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌、上葉肺癌、肺扁平上皮癌	30	82,368,930	46,867,130	129,236,060	4,307,869
8	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固、出血傾向、低ガンマグロブリン血症	7	10,328,360	19,458,290	29,786,650	4,255,236
9	1201	皮膚及び皮下組織の感染症	蜂巣炎、蜂窩織炎	3	11,041,030	1,144,960	12,185,990	4,061,997
10	0908	その他の脳血管疾患	慢性硬膜下血腫、内頸動脈狭窄症、内頸動脈閉塞症	8	29,565,520	1,990,130	31,555,650	3,944,456
11	0905	脳内出血	脳出血、脳出血後遺症、被殻出血	14	49,721,850	2,990,350	52,712,200	3,765,157
12	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎、A型肝炎	25	8,115,790	83,293,850	91,409,640	3,656,386
13	1601	妊娠及び胎児発育に関する障害	超低出生体重児	1	2,389,090	1,243,460	3,632,550	3,632,550
14	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	遷延性意識障害、嘔気、高血糖症	3	9,410,830	1,241,770	10,652,600	3,550,867
15	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌、上行結腸癌、大腸癌	21	46,415,580	27,534,170	73,949,750	3,521,417
16	0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌、子宮頸癌	5	12,455,120	4,438,470	16,893,590	3,378,718
17	0601	パーキンソン病	パーキンソン病、パーキンソン病Yahr3	4	4,919,870	8,286,400	13,206,270	3,301,568
18	0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症、統合失調症様状態	30	87,875,340	11,111,890	98,987,230	3,299,574
19	1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ、関節リウマチ・膝関節、関節リウマチ・股関節	11	5,998,780	30,180,450	36,179,230	3,289,021
20	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌、多発性骨髄腫、頤頭部癌	61	122,964,900	75,699,580	198,664,480	3,256,795

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者一人当たりの医療費上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	患者一人当たり の医療費(円) ※
平成26年度	1	2106 その他の理由による保健サービスの利用者	気管切開術後	1	13,682,870
	2	0107 真菌症	肺アスペルギルス症	1	9,232,260
	3	0904 くも膜下出血	くも膜下出血, 前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 脳底動脈瘤破裂によるくも膜下出血	6	8,216,552
	4	1307 その他の脊柱障害	脊柱側弯症, 腰椎不安定症	2	6,499,125
	5	0501 血管性及び詳細不明の認知症	老年期認知症	1	6,485,050
平成27年度	1	1701 心臓の先天奇形	三尖弁閉鎖症, 心室中隔欠損症	3	12,707,183
	2	0301 貧血	貧血, 発作性夜間ヘモグロビン尿症, 再生不良性貧血	5	7,940,056
	3	2106 その他の理由による保健サービスの利用者	気管切開術後, 胃瘻造設状態	2	6,970,610
	4	0209 白血病	急性前骨髄球性白血病, 慢性リンパ性白血病	2	5,598,605
	5	0208 悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, 悪性リンパ腫, 濾胞性リンパ腫・グレード3a	5	5,593,918
平成28年度	1	0301 貧血	発作性夜間ヘモグロビン尿症, 自己免疫性溶血性貧血, 汎血球減少症	4	12,026,730
	2	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺, 片麻痺	2	7,341,335
	3	0904 くも膜下出血	くも膜下出血	3	5,952,613
	4	0505 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	強迫性障害	1	5,889,140
	5	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 慢性腎臓病ステージG5D	19	5,821,097

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「その他の心疾患」「気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>」である。

### 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	中分類	中分類名	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 頸頭部癌	61	122,964,900	75,699,580	198,664,480	3,256,795
2	0903	その他の心疾患	非弁膜症性心房細動, うっ血性心不全, 心房細動	45	95,575,040	39,934,260	135,509,300	3,011,318
3	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 上葉肺癌, 肺扁平上皮癌	30	82,368,930	46,867,130	129,236,060	4,307,869
3	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調症様状態	30	87,875,340	11,111,890	98,987,230	3,299,574
5	1901	骨折	大腿骨頸部骨折, 腰椎椎体骨折, 踵骨骨折	29	75,938,150	8,111,050	84,049,200	2,898,248
6	0902	虚血性心疾患	狭心症, 不安定狭心症, 急性下壁心筋梗塞	28	72,691,670	13,821,170	86,512,840	3,089,744
7	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, A型肝炎	25	8,115,790	83,293,850	91,409,640	3,656,386
7	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫, 骨髄異形成症候群, 卵巣のう腫	25	47,811,360	8,484,550	56,295,910	2,251,836
9	1111	胆石症及び胆のう炎	総胆管結石, 胆のう結石症, 急性胆のう炎	23	31,493,050	4,974,740	36,467,790	1,585,556
10	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌, 胃体部癌, 残胃癌	22	47,585,790	15,470,860	63,056,650	2,866,211
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	網膜前膜, 網膜剥離, 裂孔原性網膜剥離	22	13,800,660	11,217,710	25,018,370	1,137,199
12	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 上行結腸癌, 大腸癌	21	46,415,580	27,534,170	73,949,750	3,521,417
13	0906	脳梗塞	脳梗塞, 脳梗塞・急性期, 心原性脳塞栓症	19	45,029,630	4,507,510	49,537,140	2,607,218
13	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 慢性腎臓病ステージG5D	19	34,167,310	76,433,540	110,600,850	5,821,097
15	1004	肺炎	肺炎, 細菌性肺炎, 急性肺炎	16	36,882,240	4,520,280	41,402,520	2,587,658
15	1113	その他の消化器系の疾患	クローン病, 急性虫垂炎, 絞扼性イレウス	16	16,314,050	14,186,650	30,500,700	1,906,294
15	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	頸椎症性脊髄症, 腰部脊柱管狭窄症, 腰椎化膿性椎間板炎	16	39,020,980	5,349,010	44,369,990	2,773,124
18	0402	糖尿病	増殖性糖尿病性網膜症, 2型糖尿病・多発糖尿病性合併症あり, 糖尿病黄斑浮腫	15	13,447,130	10,490,030	23,937,160	1,595,811
18	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	廃用症候群, 川崎病, 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	15	30,911,750	6,963,040	37,874,790	2,524,986
20	0905	脳内出血	脳出血, 脳出血後遺症, 被殻出血	14	49,721,850	2,990,350	52,712,200	3,765,157

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者数上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	患者一人当たり の医療費(円) ※
平成26年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 卵巣癌	52	3,029,815
	2	0903 その他の心疾患	非弁膜症性心房細動, うっ血性心不全, 僧帽弁閉鎖不全症	40	2,979,435
	3	0902 虚血性心疾患	狭心症, 急性心筋梗塞, 急性前壁心筋梗塞	37	2,615,507
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調症様状態	35	2,930,567
	5	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 上腕骨骨幹部骨折, 頰椎骨折	28	2,021,837
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 卵巣癌	52	2,642,174
	2	1901 骨折	大腿骨転子部骨折, 橈骨遠位端骨折, 腰椎椎体骨折	44	1,937,405
	3	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 完全房室ブロック, 非弁膜症性心房細動	40	3,466,913
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調症様状態	39	2,623,667
	5	0902 虚血性心疾患	狭心症, 労作性狭心症, 急性心筋梗塞	35	3,039,559
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 膝頭部癌	61	3,256,795
	2	0903 その他の心疾患	非弁膜症性心房細動, うっ血性心不全, 心房細動	45	3,011,318
	3	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 上葉肺癌, 肺扁平上皮癌	30	4,307,869
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調症様状態	30	3,299,574
	5	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 腰椎椎体骨折, 踵骨骨折	29	2,898,248

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

### (3) 疾病別医療費

#### ①大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費総計、レセプト件数、患者数を算出した。「循環器系の疾患」が医療費合計の16.2%、「新生物<腫瘍>」は医療費合計の13.8%と高い割合を占めている。

#### 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	200,092,309	3.8%	10	21,160	10	5,486	8	36,473	15
II. 新生物<腫瘍>	724,985,422	13.8%	2	19,214	13	4,819	10	150,443	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	109,794,477	2.1%	14	7,427	16	1,945	15	56,450	10
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	522,429,540	9.9%	3	79,872	2	8,134	3	64,228	8
V. 精神及び行動の障害	479,995,367	9.1%	4	24,013	8	2,295	14	209,148	1
VI. 神経系の疾患	212,832,142	4.0%	9	38,570	6	3,761	12	56,589	9
VII. 眼及び付属器の疾患	174,799,331	3.3%	11	20,506	11	5,500	7	31,782	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	25,155,547	0.5%	16	7,532	15	1,836	16	13,701	19
IX. 循環器系の疾患	852,175,897	16.2%	1	90,082	1	7,679	4	110,975	5
X. 呼吸器系の疾患	365,509,619	6.9%	7	56,634	5	10,000	1	36,551	14
X I. 消化器系の疾患 ※	401,982,101	7.6%	6	69,414	3	8,761	2	45,883	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	118,715,932	2.3%	13	26,312	7	5,508	6	21,553	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	466,082,843	8.9%	5	56,794	4	7,018	5	66,412	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	305,000,957	5.8%	8	20,366	12	4,238	11	71,968	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	21,253,591	0.4%	17	494	20	182	20	116,778	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	10,296,412	0.2%	19	136	21	71	21	145,020	3
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	13,406,328	0.3%	18	948	18	296	18	45,292	13
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	83,692,965	1.6%	15	22,592	9	5,341	9	15,670	18
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	166,333,424	3.2%	12	10,458	14	3,232	13	51,465	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8,762,814	0.2%	20	5,078	17	832	17	10,532	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	2,314,942	0.0%	21	763	19	208	19	11,130	20
合計	5,265,611,960			240,615		17,153		306,979	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

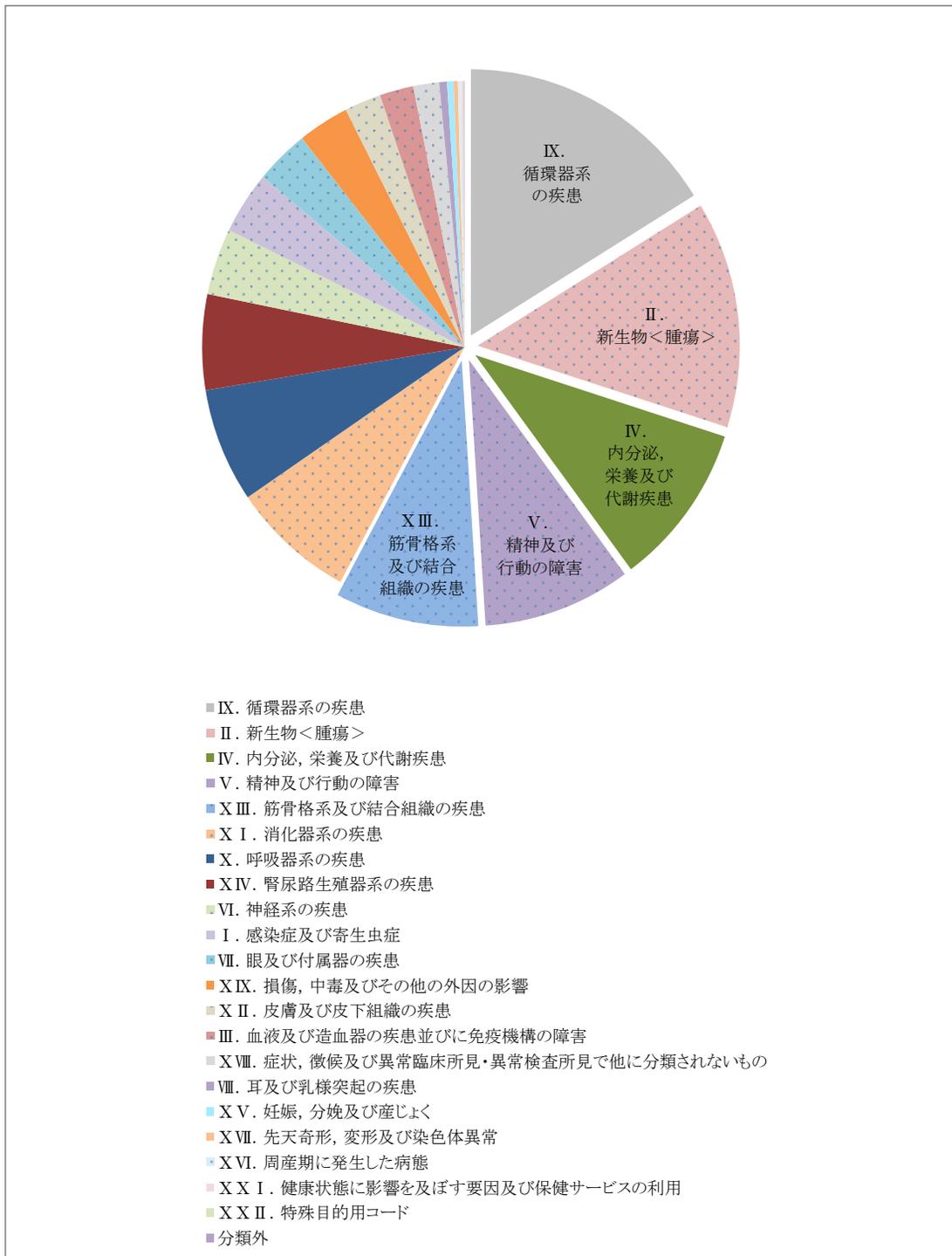
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「内分泌，栄養及び代謝疾患」「精神及び行動の障害」「筋骨格系及び結合組織の疾患」の医療費で過半数を占める。

## 疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費総計を算出し年度別に示す。

年度別 大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	135,963,465	2.5%	12	191,758,243	3.5%	10	200,092,309	3.8%	10
II. 新生物<腫瘍>	702,851,110	13.1%	2	611,819,524	11.3%	2	724,985,422	13.8%	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	58,547,142	1.1%	15	100,472,835	1.9%	14	109,794,477	2.1%	14
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	534,469,856	9.9%	3	526,685,161	9.7%	3	522,429,540	9.9%	3
V. 精神及び行動の障害	488,358,163	9.1%	4	520,906,512	9.6%	4	479,995,367	9.1%	4
VI. 神経系の疾患	233,333,037	4.3%	9	222,824,250	4.1%	9	212,832,142	4.0%	9
VII. 眼及び付属器の疾患	183,490,111	3.4%	10	178,226,769	3.3%	12	174,799,331	3.3%	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	32,097,950	0.6%	16	27,458,754	0.5%	17	25,155,547	0.5%	16
IX. 循環器系の疾患	950,330,668	17.6%	1	972,149,540	17.9%	1	852,175,897	16.2%	1
X. 呼吸器系の疾患	382,121,274	7.1%	7	383,213,698	7.1%	7	365,509,619	6.9%	7
X I. 消化器系の疾患 ※	416,822,527	7.7%	6	407,007,598	7.5%	6	401,982,101	7.6%	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	124,179,655	2.3%	13	120,101,342	2.2%	13	118,715,932	2.3%	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	465,343,547	8.6%	5	479,026,682	8.8%	5	466,082,843	8.9%	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	345,180,295	6.4%	8	319,228,495	5.9%	8	305,000,957	5.8%	8
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	22,742,431	0.4%	18	23,658,221	0.4%	18	21,253,591	0.4%	17
X VI. 周産期に発生した病態 ※	8,997,031	0.2%	20	22,829,898	0.4%	19	10,296,412	0.2%	19
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	25,840,590	0.5%	17	33,423,151	0.6%	16	13,406,328	0.3%	18
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	81,443,912	1.5%	14	87,086,300	1.6%	15	83,692,965	1.6%	15
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	173,677,602	3.2%	11	180,528,090	3.3%	11	166,333,424	3.2%	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	14,330,671	0.3%	19	13,459,225	0.2%	20	8,762,814	0.2%	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	5,191,163	0.1%	21	1,679,922	0.0%	21	2,314,942	0.0%	21
合計	5,385,312,200			5,423,544,210			5,265,611,960		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

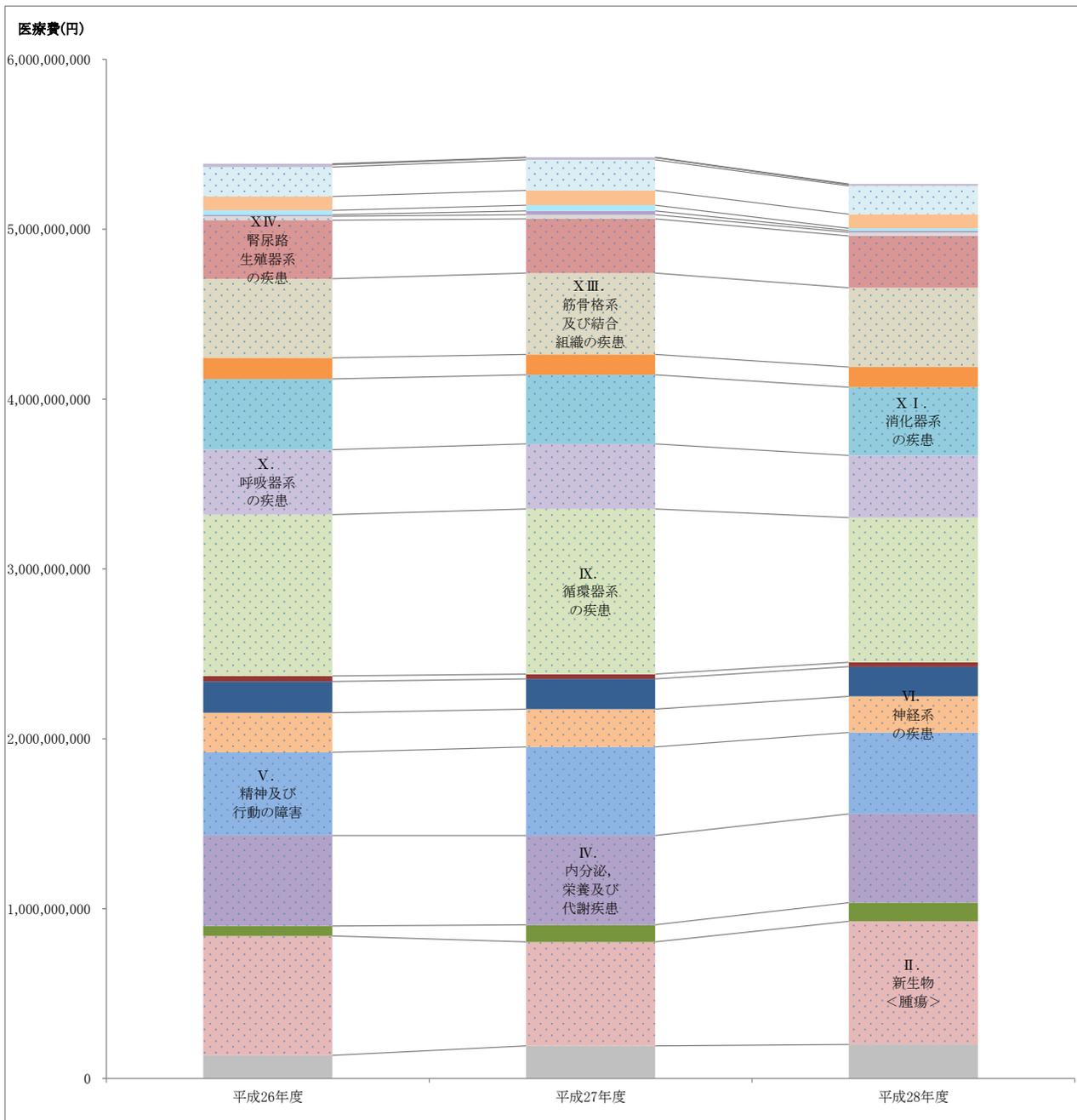
※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

# 年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

## ②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

### 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	314,818,126	6.0%	573
2	0901	高血圧性疾患	300,658,895	5.7%	5,801
3	0402	糖尿病	286,710,220	5.4%	5,530
4	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	233,883,347	4.4%	1,745
5	0903	その他の心疾患	210,127,881	4.0%	2,902
6	1113	その他の消化器系の疾患	203,023,041	3.9%	5,178
7	1402	腎不全	200,074,230	3.8%	400
8	0403	脂質異常症	151,436,511	2.9%	4,181
9	0606	その他の神経系の疾患	119,478,706	2.3%	3,418
10	0902	虚血性心疾患	119,265,395	2.3%	1,601

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	300,658,895	5,801	33.8%
2	0402	糖尿病	286,710,220	5,530	32.2%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	83,692,965	5,341	31.1%
4	1113	その他の消化器系の疾患	203,023,041	5,178	30.2%
5	1003	その他の急性上気道感染症	36,470,598	4,925	28.7%
6	1006	アレルギー性鼻炎	59,854,261	4,820	28.1%
7	1105	胃炎及び十二指腸炎	52,809,064	4,613	26.9%
8	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	31,791,383	4,363	25.4%
9	0703	屈折及び調節の障害	15,459,124	4,236	24.7%
10	0403	脂質異常症	151,436,511	4,181	24.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	患者数 (人)	患者一人当たりの 医療費(円)
1	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	314,818,126	573	549,421
2	1402	腎不全	200,074,230	400	500,186
3	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	30,323,184	98	309,420
4	1502	妊娠高血圧症候群	3,445,983	13	265,076
5	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	16,799,410	72	233,325
6	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	4,044,967	18	224,720
7	0209	白血病	6,219,985	28	222,142
8	0904	くも膜下出血	10,973,534	50	219,471
9	0905	脳内出血	47,366,684	235	201,560
10	0208	悪性リンパ腫	31,458,444	163	192,997

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

### 年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	346,467,831	6.4%	5,993
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	330,707,439	6.1%	594
	3	0402 糖尿病	284,363,093	5.3%	5,907
	4	1402 腎不全	227,945,740	4.2%	351
	5	1113 その他の消化器系の疾患	211,749,285	3.9%	5,220
	6	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	202,886,495	3.8%	1,743
	7	0903 その他の心疾患	200,448,002	3.7%	2,805
	8	0403 脂質異常症	163,984,756	3.0%	4,256
	9	0606 その他の神経系の疾患	147,166,311	2.7%	3,607
	10	0902 虚血性心疾患	128,323,553	2.4%	1,657
平成27年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	334,624,544	6.2%	606
	2	0901 高血圧性疾患	330,679,417	6.1%	5,987
	3	0402 糖尿病	281,903,290	5.2%	5,615
	4	0903 その他の心疾患	226,917,286	4.2%	2,837
	5	1402 腎不全	218,744,646	4.0%	326
	6	1113 その他の消化器系の疾患	210,898,803	3.9%	5,227
	7	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	185,252,088	3.4%	1,725
	8	0403 脂質異常症	160,699,227	3.0%	4,203
	9	0902 虚血性心疾患	134,360,452	2.5%	1,670
	10	0606 その他の神経系の疾患	125,816,043	2.3%	3,642
平成28年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	314,818,126	6.0%	573
	2	0901 高血圧性疾患	300,658,895	5.7%	5,801
	3	0402 糖尿病	286,710,220	5.4%	5,530
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	233,883,347	4.4%	1,745
	5	0903 その他の心疾患	210,127,881	4.0%	2,902
	6	1113 その他の消化器系の疾患	203,023,041	3.9%	5,178
	7	1402 腎不全	200,074,230	3.8%	400
	8	0403 脂質異常症	151,436,511	2.9%	4,181
	9	0606 その他の神経系の疾患	119,478,706	2.3%	3,418
	10	0902 虚血性心疾患	119,265,395	2.3%	1,601

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

患者数上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	346,467,831	5,993	32.7%
	2	0402 糖尿病	284,363,093	5,907	32.3%
	3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	81,443,912	5,394	29.5%
	4	1113 その他の消化器系の疾患	211,749,285	5,220	28.5%
	5	1003 その他の急性上気道感染症	39,901,637	5,179	28.3%
	6	1006 アレルギー性鼻炎	66,617,717	5,054	27.6%
	7	1105 胃炎及び十二指腸炎	55,954,253	4,845	26.5%
	8	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	35,963,800	4,383	23.9%
	9	0703 屈折及び調節の障害	16,639,940	4,289	23.4%
	10	0403 脂質異常症	163,984,756	4,256	23.3%
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	330,679,417	5,987	33.4%
	2	0402 糖尿病	281,903,290	5,615	31.3%
	3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	87,086,300	5,382	30.0%
	4	1113 その他の消化器系の疾患	210,898,803	5,227	29.2%
	5	1003 その他の急性上気道感染症	39,373,871	5,095	28.4%
	6	1006 アレルギー性鼻炎	63,886,999	5,034	28.1%
	7	1105 胃炎及び十二指腸炎	52,220,359	4,690	26.2%
	8	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	33,538,918	4,461	24.9%
	9	0703 屈折及び調節の障害	15,687,444	4,305	24.0%
	10	0403 脂質異常症	160,699,227	4,203	23.4%
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	300,658,895	5,801	33.8%
	2	0402 糖尿病	286,710,220	5,530	32.2%
	3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	83,692,965	5,341	31.1%
	4	1113 その他の消化器系の疾患	203,023,041	5,178	30.2%
	5	1003 その他の急性上気道感染症	36,470,598	4,925	28.7%
	6	1006 アレルギー性鼻炎	59,854,261	4,820	28.1%
	7	1105 胃炎及び十二指腸炎	52,809,064	4,613	26.9%
	8	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	31,791,383	4,363	25.4%
	9	0703 屈折及び調節の障害	15,459,124	4,236	24.7%
	10	0403 脂質異常症	151,436,511	4,181	24.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費 (円) ※	患者数 (人)	患者一人当たりの 医療費(円)
平成26年度	1	0209 白血病	26,727,515	28	954,554
	2	1402 腎不全	227,945,740	351	649,418
	3	0904 くも膜下出血	34,872,070	59	591,052
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	330,707,439	594	556,747
	5	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	38,936,015	102	381,726
	6	0208 悪性リンパ腫	49,534,157	131	378,123
	7	0507 その他の精神及び行動の障害	26,427,819	169	156,378
	8	1701 心臓の先天奇形	4,021,125	29	138,659
	9	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	85,830,723	657	130,640
	10	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	2,584,715	20	129,236
平成27年度	1	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	16,429,242	21	782,345
	2	1402 腎不全	218,744,646	326	670,996
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	334,624,544	606	552,186
	4	1701 心臓の先天奇形	18,031,868	34	530,349
	5	0209 白血病	12,128,525	26	466,482
	6	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	28,272,039	92	307,305
	7	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	23,321,927	79	295,214
	8	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	56,876,374	289	196,804
	9	0208 悪性リンパ腫	22,178,685	122	181,793
	10	0905 脳内出血	48,630,488	274	177,484
平成28年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	314,818,126	573	549,421
	2	1402 腎不全	200,074,230	400	500,186
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	30,323,184	98	309,420
	4	1502 妊娠高血圧症候群	3,445,983	13	265,076
	5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	16,799,410	72	233,325
	6	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	4,044,967	18	224,720
	7	0209 白血病	6,219,985	28	222,142
	8	0904 くも膜下出血	10,973,534	50	219,471
	9	0905 脳内出血	47,366,684	235	201,560
	10	0208 悪性リンパ腫	31,458,444	163	192,997

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計 (円) ※			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	5,265,611,960			240,615			17,153		

疾病項目	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
<b>I. 感染症及び寄生虫症</b>	200,092,309	3.8%		21,160	8.8%		5,486	32.0%		36,473	
0101 腸管感染症	12,162,838	0.2%	77	4,848	2.0%	43	1,868	10.9%	30	6,511	114
0102 結核	3,788,203	0.1%	99	570	0.2%	97	199	1.2%	91	19,036	78
0103 主として性的伝播様式をとる 感染症	1,961,270	0.0%	108	630	0.3%	94	281	1.6%	81	6,980	111
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴う ウイルス性疾患	13,750,455	0.3%	75	3,232	1.3%	55	964	5.6%	48	14,264	90
0105 ウイルス性肝炎	97,712,572	1.9%	13	2,644	1.1%	64	604	3.5%	63	161,776	13
0106 その他のウイルス性疾患	21,011,451	0.4%	60	664	0.3%	93	289	1.7%	80	72,704	29
0107 真菌症	26,448,013	0.5%	52	5,611	2.3%	39	1,412	8.2%	37	18,731	80
0108 感染症及び寄生虫症の 続発・後遺症	150,786	0.0%	119	62	0.0%	115	12	0.1%	119	12,566	95
0109 その他の感染症及び寄生虫症	23,106,721	0.4%	56	5,423	2.3%	40	1,891	11.0%	29	12,219	98
<b>II. 新生物&lt;腫瘍&gt;</b>	724,985,422	13.8%		19,214	8.0%		4,819	28.1%		150,443	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	70,397,061	1.3%	22	3,011	1.3%	60	998	5.8%	47	70,538	34
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	79,658,179	1.5%	19	3,095	1.3%	59	1,067	6.2%	43	74,656	27
0203 直腸S状結腸移行部及び 直腸の悪性新生物<腫瘍>	30,323,184	0.6%	51	738	0.3%	91	98	0.6%	101	309,420	3
0204 肝及び肝内胆管の 悪性新生物<腫瘍>	21,275,074	0.4%	59	890	0.4%	85	275	1.6%	85	77,364	26
0205 気管、気管支及び肺の 悪性新生物<腫瘍>	111,868,275	2.1%	11	2,011	0.8%	69	670	3.9%	58	166,968	12
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	47,547,861	0.9%	35	1,413	0.6%	78	294	1.7%	79	161,727	14
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	19,187,084	0.4%	61	847	0.4%	87	348	2.0%	77	55,135	38
0208 悪性リンパ腫	31,458,444	0.6%	49	602	0.3%	95	163	1.0%	94	192,997	10
0209 白血病	6,219,985	0.1%	90	147	0.1%	111	28	0.2%	114	222,142	7
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	233,883,347	4.4%	4	6,569	2.7%	38	1,745	10.2%	31	134,031	17
0211 良性新生物<腫瘍>及び その他の新生物<腫瘍>	73,166,928	1.4%	21	4,836	2.0%	44	1,977	11.5%	28	37,009	56
<b>III. 血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害</b>	109,794,477	2.1%		7,427	3.1%		1,945	11.3%		56,450	
0301 貧血	62,883,475	1.2%	30	4,556	1.9%	47	1,167	6.8%	40	53,885	39
0302 その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	46,911,002	0.9%	39	3,442	1.4%	52	1,080	6.3%	42	43,436	47
<b>IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患</b>	522,429,540	9.9%		79,872	33.2%		8,134	47.4%		64,228	
0401 甲状腺障害	18,282,840	0.3%	62	4,509	1.9%	48	1,104	6.4%	41	16,561	83
0402 糖尿病	286,710,220	5.4%	3	40,420	16.8%	4	5,530	32.2%	2	51,846	41
0403 脂質異常症	151,436,511	2.9%	8	49,259	20.5%	2	4,181	24.4%	10	36,220	58
0404 その他の内分泌、栄養及び 代謝疾患	65,999,969	1.3%	27	15,615	6.5%	14	2,340	13.6%	25	28,205	61
<b>V. 精神及び行動の障害</b>	479,995,367	9.1%		24,013	10.0%		2,295	13.4%		209,148	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	5,032,458	0.1%	93	203	0.1%	108	35	0.2%	112	143,785	16
0502 精神作用物質使用による 精神及び行動の障害	8,123,293	0.2%	86	460	0.2%	100	75	0.4%	105	108,311	19
0503 統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	314,818,126	6.0%	1	8,532	3.5%	31	573	3.3%	64	549,421	1

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計 (円) ※	レセプト件数 ※	患者数 ※
	5,265,611,960	240,615	17,153

疾病項目		医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	84,246,814	1.6%	16	9,671	4.0%	27	787	4.6%	56	107,048	22
0505	神経症性障害、ストレス関連障害 及び身体表現性障害	37,274,834	0.7%	43	12,816	5.3%	21	1,417	8.3%	36	26,305	65
0506	知的障害<精神遅滞>	4,614,318	0.1%	95	199	0.1%	109	43	0.3%	111	107,310	21
0507	その他の精神及び行動の障害	25,885,524	0.5%	53	1,220	0.5%	80	178	1.0%	92	145,424	15
VI. 神経系の疾患		212,832,142	4.0%		38,570	16.0%		3,761	21.9%		56,589	
0601	パーキンソン病	23,011,500	0.4%	57	2,764	1.1%	62	178	1.0%	92	129,278	18
0602	アルツハイマー病	17,520,661	0.3%	63	938	0.4%	84	99	0.6%	100	176,976	11
0603	てんかん	33,965,912	0.6%	47	4,690	1.9%	45	410	2.4%	71	82,844	25
0604	脳性麻痺及びその他の 麻痺性症候群	16,799,410	0.3%	64	452	0.2%	101	72	0.4%	106	233,325	5
0605	自律神経系の障害	2,055,953	0.0%	106	715	0.3%	92	89	0.5%	103	23,101	71
0606	その他の神経系の疾患	119,478,706	2.3%	9	34,111	14.2%	5	3,418	19.9%	14	34,956	59
VII. 眼及び付属器の疾患		174,799,331	3.3%		20,506	8.5%		5,500	32.1%		31,782	
0701	結膜炎	14,057,014	0.3%	72	8,889	3.7%	28	2,573	15.0%	19	5,463	115
0702	白内障	43,637,220	0.8%	41	6,978	2.9%	34	1,673	9.8%	32	26,083	67
0703	屈折及び調節の障害	15,459,124	0.3%	70	14,643	6.1%	18	4,236	24.7%	9	3,649	120
0704	その他の眼及び付属器の疾患	101,645,973	1.9%	12	15,068	6.3%	15	3,771	22.0%	12	26,955	62
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		25,155,547	0.5%		7,532	3.1%		1,836	10.7%		13,701	
0801	外耳炎	3,539,857	0.1%	100	3,096	1.3%	58	890	5.2%	49	3,977	118
0802	その他の外耳疾患	1,800,596	0.0%	110	1,188	0.5%	82	474	2.8%	70	3,799	119
0803	中耳炎	7,137,990	0.1%	87	1,844	0.8%	72	406	2.4%	72	17,581	81
0804	その他の中耳及び 乳様突起の疾患	974,271	0.0%	115	594	0.2%	96	146	0.9%	96	6,673	113
0805	メニエール病	5,341,340	0.1%	92	1,481	0.6%	77	279	1.6%	82	19,145	77
0806	その他の内耳疾患	1,491,026	0.0%	113	310	0.1%	105	112	0.7%	99	13,313	92
0807	その他の耳疾患	4,870,467	0.1%	94	1,922	0.8%	70	567	3.3%	66	8,590	107
IX. 循環器系の疾患		852,175,897	16.2%		90,082	37.4%		7,679	44.8%		110,975	
0901	高血圧性疾患	300,658,895	5.7%	2	77,221	32.1%	1	5,801	33.8%	1	51,829	42
0902	虚血性心疾患	119,265,395	2.3%	10	12,377	5.1%	24	1,601	9.3%	34	74,494	28
0903	その他の心疾患	210,127,881	4.0%	5	17,230	7.2%	12	2,902	16.9%	17	72,408	31
0904	くも膜下出血	10,973,534	0.2%	81	221	0.1%	107	50	0.3%	110	219,471	8
0905	脳内出血	47,366,684	0.9%	37	743	0.3%	90	235	1.4%	86	201,560	9
0906	脳梗塞	68,869,023	1.3%	23	7,953	3.3%	33	999	5.8%	46	68,938	35
0907	脳動脈硬化(症)	109,757	0.0%	120	9	0.0%	122	5	0.0%	123	21,951	75
0908	その他の脳血管疾患	35,701,316	0.7%	45	2,520	1.0%	65	639	3.7%	61	55,871	37
0909	動脈硬化(症)	10,984,298	0.2%	80	2,277	0.9%	67	484	2.8%	69	22,695	72
0911	低血圧(症)	903,592	0.0%	116	340	0.1%	104	59	0.3%	107	15,315	87
0912	その他の循環器系の疾患	47,215,522	0.9%	38	4,961	2.1%	42	886	5.2%	50	53,291	40
X. 呼吸器系の疾患		365,509,619	6.9%		56,634	23.5%		10,000	58.3%		36,551	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	1,662,415	0.0%	112	1,534	0.6%	76	568	3.3%	65	2,927	123
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	15,926,803	0.3%	67	8,631	3.6%	29	3,173	18.5%	15	5,019	117
1003	その他の急性上気道感染症	36,470,598	0.7%	44	17,532	7.3%	11	4,925	28.7%	5	7,405	109

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計 (円) ※	レセプト件数 ※	患者数 ※
	5,265,611,960	240,615	17,153

疾病項目		医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
1004	肺炎	46,457,636	0.9%	40	2,426	1.0%	66	1,008	5.9%	45	46,089	45
1005	急性気管支炎及び 急性細気管支炎	31,791,383	0.6%	48	14,817	6.2%	16	4,363	25.4%	8	7,287	110
1006	アレルギー性鼻炎	59,854,261	1.1%	31	24,179	10.0%	7	4,820	28.1%	6	12,418	96
1007	慢性副鼻腔炎	12,623,038	0.2%	76	4,287	1.8%	50	832	4.9%	52	15,172	88
1008	急性又は慢性と明示されない 気管支炎	4,431,525	0.1%	96	1,862	0.8%	71	830	4.8%	54	5,339	116
1009	慢性閉塞性肺疾患	24,703,560	0.5%	54	4,562	1.9%	46	645	3.8%	60	38,300	53
1010	喘息	66,825,639	1.3%	25	13,977	5.8%	20	2,513	14.7%	20	26,592	64
1011	その他の呼吸器系の疾患	64,762,761	1.2%	28	9,776	4.1%	26	3,448	20.1%	13	18,783	79
X I . 消化器系の疾患		401,982,101	7.6%		69,414	28.8%		8,761	51.1%		45,883	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	27,632	0.0%	123	14	0.0%	121	8	0.0%	121	3,454	121
1103	その他の歯及び歯の支持組織の 障害	166,215	0.0%	118	40	0.0%	117	21	0.1%	115	7,915	108
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	52,965,137	1.0%	33	18,758	7.8%	9	2,372	13.8%	24	22,329	74
1105	胃炎及び十二指腸炎	52,809,064	1.0%	34	25,431	10.6%	6	4,613	26.9%	7	11,448	99
1106	痔核	5,968,540	0.1%	91	1,390	0.6%	79	380	2.2%	75	15,707	84
1107	アルコール性肝疾患	3,327,484	0.1%	103	544	0.2%	99	89	0.5%	103	37,387	55
1108	慢性肝炎 (アルコール性のものを除く)	3,492,692	0.1%	101	1,569	0.7%	74	206	1.2%	89	16,955	82
1109	肝硬変 (アルコール性のものを除く)	9,690,648	0.2%	82	1,187	0.5%	83	203	1.2%	90	47,737	44
1110	その他の肝疾患	21,643,924	0.4%	58	6,969	2.9%	35	2,283	13.3%	26	9,480	106
1111	胆石症及び胆のう炎	40,324,053	0.8%	42	3,098	1.3%	57	664	3.9%	59	60,729	36
1112	膵疾患	8,543,671	0.2%	84	785	0.3%	88	227	1.3%	87	37,637	54
1113	その他の消化器系の疾患	203,023,041	3.9%	6	41,940	17.4%	3	5,178	30.2%	4	39,209	52
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		118,715,932	2.3%		26,312	10.9%		5,508	32.1%		21,553	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	15,780,537	0.3%	69	3,211	1.3%	56	1,189	6.9%	39	13,272	93
1202	皮膚炎及び湿疹	47,513,782	0.9%	36	18,186	7.6%	10	3,839	22.4%	11	12,377	97
1203	その他の皮膚及び 皮下組織の疾患	55,421,613	1.1%	32	11,803	4.9%	25	2,794	16.3%	18	19,836	76
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		466,082,843	8.9%		56,794	23.6%		7,018	40.9%		66,412	
1301	炎症性多発性関節障害	88,138,789	1.7%	14	8,056	3.3%	32	1,215	7.1%	38	72,542	30
1302	関節症	64,363,807	1.2%	29	12,658	5.3%	23	1,630	9.5%	33	39,487	51
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	83,708,065	1.6%	17	14,759	6.1%	17	1,987	11.6%	27	42,128	49
1304	椎間板障害	14,023,487	0.3%	73	2,978	1.2%	61	544	3.2%	67	25,778	69
1305	頸腕症候群	7,027,789	0.1%	88	4,315	1.8%	49	698	4.1%	57	10,068	104
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	34,860,281	0.7%	46	16,619	6.9%	13	2,456	14.3%	23	14,194	91
1307	その他の脊柱障害	14,239,125	0.3%	71	1,678	0.7%	73	392	2.3%	74	36,324	57
1308	肩の傷害<損傷>	15,781,403	0.3%	68	6,787	2.8%	37	1,015	5.9%	44	15,548	86
1309	骨の密度及び構造の障害	77,548,580	1.5%	20	12,714	5.3%	22	1,538	9.0%	35	50,422	43
1310	その他の筋骨格系及び 結合組織の疾患	66,391,517	1.3%	26	14,359	6.0%	19	2,942	17.2%	16	22,567	73

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計 (円) ※	レセプト件数 ※	患者数 ※
	5,265,611,960	240,615	17,153

疾病項目	医療費総計 (円) ※			レセプト件数 ※			患者数 ※			患者一人 当たりの 医療費 (円)	
	構成比 (%)	順位		構成比 (%)	順位		構成比 (%)	順位		順位	
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	305,000,957	5.8%		20,366	8.5%		4,238	24.7%		71,968	
1401 糸球体疾患及び 腎尿細管間質性疾患	16,569,935	0.3%	65	2,695	1.1%	63	635	3.7%	62	26,094	66
1402 腎不全	200,074,230	3.8%	7	3,434	1.4%	53	400	2.3%	73	500,186	2
1403 尿路結石症	13,951,462	0.3%	74	1,219	0.5%	81	323	1.9%	78	43,193	48
1404 その他の腎尿路系の疾患	31,244,388	0.6%	50	8,555	3.6%	30	2,463	14.4%	22	12,686	94
1405 前立腺肥大(症)	23,608,507	0.4%	55	4,123	1.7%	51	543	3.2%	68	43,478	46
1406 その他の男性生殖器系の疾患	3,240,467	0.1%	104	342	0.1%	103	126	0.7%	97	25,718	70
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	4,311,507	0.1%	97	1,559	0.6%	75	379	2.2%	76	11,376	100
1408 乳房及びその他の女性生殖器の 疾患	12,000,461	0.2%	78	2,195	0.9%	68	831	4.8%	53	14,441	89
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	21,253,591	0.4%		494	0.2%		182	1.1%		116,778	
1501 流産	1,740,513	0.0%	111	97	0.0%	114	52	0.3%	109	33,471	60
1502 妊娠高血圧症候群	3,445,983	0.1%	102	30	0.0%	119	13	0.1%	118	265,076	4
1503 単胎自然分娩	59,046	0.0%	121	7	0.0%	123	6	0.0%	122	9,841	105
1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	16,008,049	0.3%	66	401	0.2%	102	150	0.9%	95	106,720	23
XVI. 周産期に発生した病態	10,296,412	0.2%		136	0.1%		71	0.4%		145,020	
1601 妊娠及び胎児発育に 関連する障害	4,044,967	0.1%	98	38	0.0%	118	18	0.1%	116	224,720	6
1602 その他の周産期に発生した病態	6,251,445	0.1%	89	105	0.0%	113	58	0.3%	108	107,784	20
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	13,406,328	0.3%		948	0.4%		296	1.7%		45,292	
1701 心臓の先天奇形	2,047,148	0.0%	107	128	0.1%	112	29	0.2%	113	70,591	33
1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	11,359,180	0.2%	79	858	0.4%	86	279	1.6%	82	40,714	50
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床 所見・異常検査所見で他に分類 されないもの	83,692,965	1.6%		22,592	9.4%		5,341	31.1%		15,670	
1800 症状, 徴候及び異常臨床 所見・異常検査所見で他に分類 されないもの	83,692,965	1.6%	18	22,592	9.4%	8	5,341	31.1%	3	15,670	85
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	166,333,424	3.2%		10,458	4.3%		3,232	18.8%		51,465	
1901 骨折	87,618,903	1.7%	15	3,326	1.4%	54	840	4.9%	51	104,308	24
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	8,865,199	0.2%	83	253	0.1%	106	123	0.7%	98	72,075	32
1903 熱傷及び腐食	1,018,811	0.0%	114	199	0.1%	109	91	0.5%	102	11,196	101
1904 中毒	1,876,268	0.0%	109	548	0.2%	98	277	1.6%	84	6,774	112
1905 その他の損傷及びその他の外因 の影響	66,954,243	1.3%	24	6,941	2.9%	36	2,494	14.5%	21	26,846	63
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因 及び保健サービスの利用	8,762,814	0.2%		5,078	2.1%		832	4.9%		10,532	
2101 検査及び診査のための保健 サービスの利用者	415,269	0.0%	117	47	0.0%	116	16	0.1%	117	25,954	68
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理 並びに家族計画	32,618	0.0%	122	15	0.0%	120	11	0.1%	120	2,965	122
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計 (円) ※	レセプト件数 ※	患者数 ※
	5,265,611,960	240,615	17,153

疾病項目		医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを 除く)及び保健ケアのための保健 サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの 利用者	8,314,927	0.2%	85	5,016	2.1%	41	807	4.7%	55	10,304	103
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		2,314,942	0.0%		763	0.3%		208	1.2%		11,130	
9999	分類外	2,314,942	0.0%	105	763	0.3%	89	208	1.2%	88	11,130	102

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。



## 第2章 第2期データヘルス計画

# 1. 計画策定について

## (1) 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちにに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

レセプトを用いた現状分析は、株式会社データホライゾンの医療費分解技術、傷病管理システム、レセプト分析システムおよび分析方法を用いて行うものとする。

※医療費分解技術(特許第4312757号)

レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

※傷病管理システム(特許第5203481号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。

※レセプト分析システムおよび分析方法  
(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

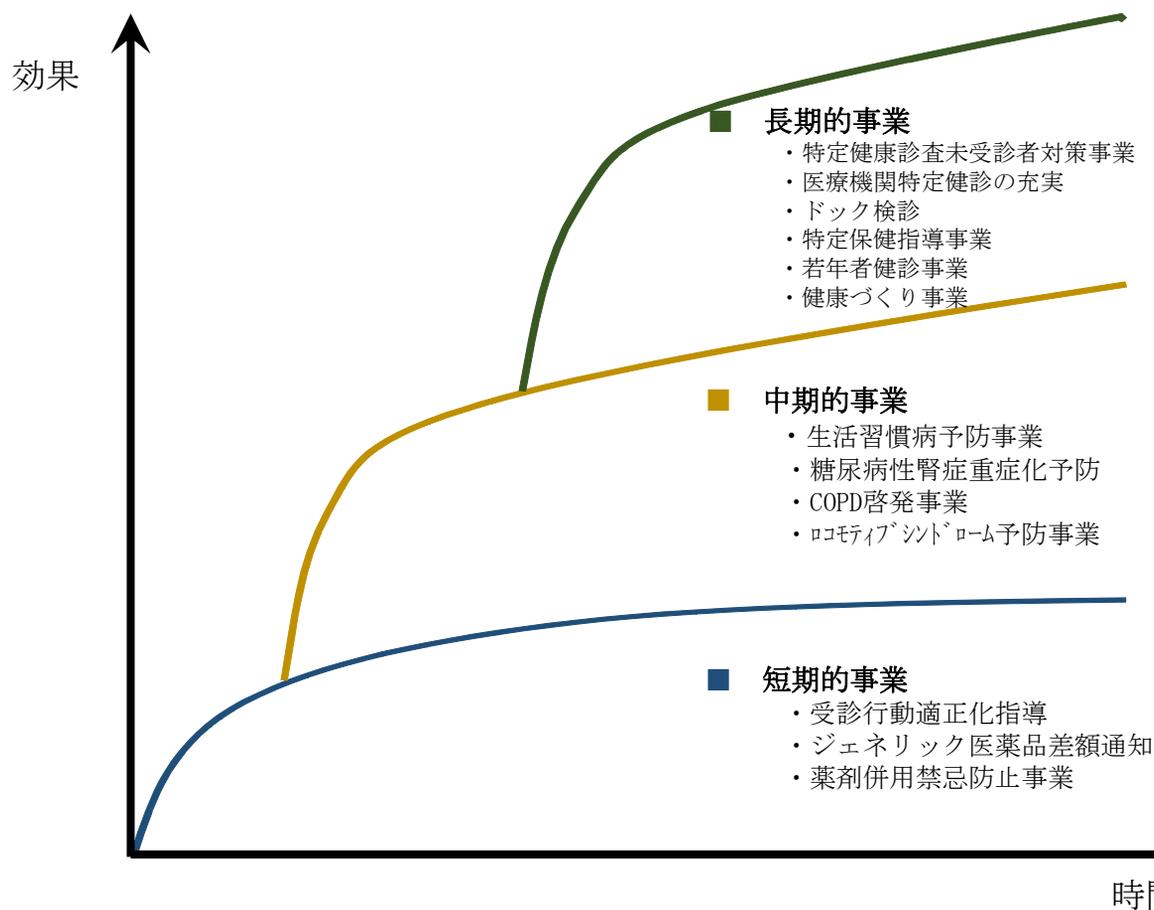
## (2) 基本方針

データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。下記の保健事業を常総市国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



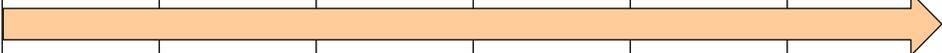
### (3) データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「都道府県健康増進計画」及び「市町村健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要がある。

### (4) 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、平成30年度から平成35年度までの6年間とする。

#### ■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

#### ■ データ分析期間

- ・ 国保データベース (KDB) システムデータ  
平成26年度～平成28年度(3年分)
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト  
単年分析  
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)  
年度分析  
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)  
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)  
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
- ・ 健康診査データ  
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)



## 2. 過去の取り組みの振り返り

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を以下に示す。

なお、評価は、5:目標達成、4:改善している、3:横ばい、2:悪化している、1:評価できない、の5段階で評価する。

実施年度	事業名	事業目的	事業概要
平成27年度から平成29年度	特定健康診査未受診者対策(特定健診受診率向上)	特定健診の受診率の向上	特定健診を受診していない人に、健康保持・増進のために健診受診の必要があることおよび生活習慣病予防の観点から健診を受診するように個別通知を行う。
平成27年度から平成29年度	特定保健指導事業	被保険者の生活習慣病予防	特定健診の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。方法は厚生労働省による「標準的な健診・保健指導プログラム」に沿うこととする。保険者が特定健診受診後、順次、特定保健指導対象者を特定し実施する。
平成27年度から平成29年度	ドック検診(人間ドック・脳ドック)	特定健診の受診率向上	30歳以上の国民健康保険被保険者のドック検診利用者に対して検診費用の助成を実施し、特定健診の受診率向上を図っていく。更にドック検診受診者の特定保健指導を事業委託及び市直営で実施する。
平成27年度から平成29年度	健康づくり事業(ポピュレーションアプローチ)	生活習慣病等の知識普及啓発	生活習慣病予防対策や高血圧予防対策として、講演会や関連各課及び団体と協力し、各種事業への参加を促す。それとともに、地域の現状を広報やチラシ等で周知啓発し、市民自らが生活習慣改善に取り組めるよう支援する。

5:目標達成  
 4:改善している  
 3:横ばい  
 2:悪化している  
 1:評価できない

実施内容	目標値(平成29年度末)	達成状況	評価
<p>【平成27年度】 過去の受診状況を踏まえ、健診未受診者を選定し、各階層毎の内容別に応じた受診勧奨を実施した。</p> <p>【平成28年度】 継続。これまでの実施方法に加え、電話かけによる受診勧奨を実施。また医療機関と連携をとり、治療中の人への健診受診勧奨を積極的に実施した。</p> <p>【平成29年度】 継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度特定健診受診率35%以降順次増加をめざす。</li> </ul>	<p>特定健診受診率</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度実績値⇒28.5%</li> <li>平成28年度実績値⇒31.5%</li> </ul> <p>(平成29年11月現在。法定報告値)</p>	4
<p>【平成27年度】 特定健診の結果から、動機付支援及び積極的支援に階層化された者に対して、生活習慣改善のための行動目標を設定し、実践できるよう支援した。</p> <p>【平成28年度】 継続</p> <p>【平成29年度】 継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的支援終了率 平成25年度4.8%を平成27年度7%をめざす。</li> </ul>	<p>積極的支援終了率</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度実績値⇒3.4%</li> <li>平成28年度実績値⇒3.3%</li> </ul> <p>(平成29年11月現在。法定報告値)</p>	3
<p>【平成27年度】 30歳以上の国民健康保険被保険者のドック検診利用者に検診費用の助成を実施し、特定健診の受診率向上を図った。更にドック検診受診者の特定保健指導を事業委託及び市直営で実施した。</p> <p>【平成28年度】 継続</p> <p>【平成29年度】 継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドック検診受診者数を増加させる。</li> <li>医療機関健診の充実を図るため、特定健診とがん検診を同時実施できる簡易ドック検診の実施機関数を増加させる。</li> </ul>	<p>ドック検診の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年 16医療機関で実施 866人受診。</li> <li>平成28年 16医療機関で実施 978人受診。</li> <li>平成29年 17医療機関で実施 609人受診</li> </ul> <p>(11月現在)</p> <p>医療機関との協議のもと、特定健診及びがん検診の医療機関数を増加した。がん検診においては、検診種類の拡大を図った。しかし、簡易ドックとして機能させる為には、更なる連携及び体制づくりが必要。</p>	4
<p>【平成27年度】 ①生活習慣病予防対策として、高血圧や糖尿病等の講演会や健康相談を実施した。 ②高血圧予防対策として、関連各課及び団体と協力し、栄養及び運動教室を数回実施した。 ③①、②の取組みにより地域の現状を周知啓発し、市民自らが生活習慣改善に取り組めるよう支援した。</p> <p>【平成28年度】 継続</p> <p>【平成29年度】 継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民自らが健康づくりを意識し、健康増進事業へ参加することを支援する。</li> </ul>	<p>平成27年 減塩教室や糖尿病予防講演会等、開催。(107人参加)</p> <p>平成28年 糖尿病予防教室・運動教室等、開催。(319人参加)</p> <p>平成29年 高血圧予防教室・運動教室等、開催予定。</p> <p>※平成27年、平成29年においては天候不良にて中止となった事業もあり。</p>	3

実施年度	事業名	事業目的	事業概要
平成27年度から平成29年度	生活習慣病予防対策事業	特定健診後の未治療者や治療中断者等への医療機関受診勧奨	特定健診後の未治療者及び治療中断者・高血圧者及び糖尿病有所見者への受診勧奨及び訪問指導を実施する。
平成27年度から平成29年度	ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。対象者に通知書を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。
平成27年度から平成29年度	受診行動適正化指導事業	重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少	レセプトデータから、医療機関への過度な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。
平成27年度から平成29年度	COPD啓発事業	COPDの認知度の普及	COPDの認知度向上を目指し、健診会場で禁煙指導及びチラシ配付や健康講座を実施する。

5:目標達成  
 4:改善している  
 3:横ばい  
 2:悪化している  
 1:評価できない

実施内容	目標値(平成29年度末)	達成状況	評価
<p>【平成27年度】            特定健診後の未治療者及び治療中断者・高血圧者及び糖尿病有所見者への受診勧奨及び指導を実施した。</p> <p>【平成28年度】            継続</p> <p>【平成29年度】            継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診結果の要医療判定者で受診放置している人数を減少させる。</li> <li>生活習慣病治療中断者数 20%減少をめざす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病治療中断者数 32.2%減少                内訳 平成26年度 90人                平成27年度 67人                平成28年度 61人</li> </ul>	5
<p>【平成27年度】            年2回、実施した。            対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果測定の結果確認後、継続を検討した。</p> <p>【平成28年度】            継続</p> <p>【平成29年度】            継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)60%</li> </ul>	ジェネリック医薬品普及率 <ul style="list-style-type: none"> <li>69.89% (平成29年 1月診療分)</li> <li>70.21% (平成29年 4月診療分)</li> <li>69.61% (平成29年 7月診療分)</li> <li>70.13% (平成29年10月診療分)</li> </ul>	5
<p>【平成27年度】            重複・頻回受診者に対する適切な保健指導を行った。</p> <p>【平成28年度】            27年度の効果検証結果により改善等検討した上で、継続した。また、指導後に医療機関への受診行動が適正化されているか確認した。</p> <p>【平成29年度】            継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導実施率20%</li> <li>指導完了後の医療費が、指導前と比較して50%減少</li> <li>重複・頻回受診者数、重複服薬者数 20%減少</li> </ul>	平成28年9月指導完了分 <ul style="list-style-type: none"> <li>指導実施率 96.3%(26人/27人)</li> <li>指導前後の医療費 28.4%減少</li> <li>重複・頻回受診者数、重複服薬者数 0.1%増加                内訳 平成26年度 746人                平成27年度 885人                平成28年度 747人</li> </ul>	3
<p>【平成27年度】            健診会場にて禁煙指導と、チラン配付及び、健康講座を実施した。</p> <p>【平成28年度】            継続</p> <p>【平成29年度】            継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診受診者における知っている人の割合25% (平成34年までに50%、「健康プランじょうそう」より)</li> </ul>	医療機関健診での知っている人の率 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度 5.7%</li> <li>平成28年度 13.9%</li> </ul>	3

実施年度	事業名	事業目的	事業概要
平成27年度から平成29年度	若年者健診事業 (生活習慣病の一次予防に重点を置いた取り組み)	健診受診の意識付け及び生活習慣病予防	39歳の国民健康被保険者を対象に、特定健康診査に準ずる健康診査を実施する。
平成27年度から平成29年度	糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病性腎症患者の病期進行阻止	特定健診の検査値とレセプトの治療状況から対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けられるように専門職より対象者個人に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。
平成27年度から平成29年度	薬剤併用禁忌防止事業	薬剤併用禁忌の発生件数減少	レセプトデータから、薬剤併用禁忌の発生状況を把握する。薬剤併用禁忌の対象者リストを作成し、医療機関等へ情報提供を行う。

5:目標達成  
 4:改善している  
 3:横ばい  
 2:悪化している  
 1:評価できない

実施内容	目標値(平成29年度末)	達成状況	評価
<p>【平成27年度】            39歳の国民健康被保険者を対象に、健診受診の意識づけを図り、健康意識の向上及び生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療を目的に実施した。</p> <p>【平成28年度】            対象者を37歳から39歳に拡大して継続実施した。</p> <p>【平成29年度】            継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診受診の周知により、受診者数を増加させる。</li> </ul>	<p>平成27年 プレメタボ健診 23人受診。ドック検診 16人受診。            平成28年 プレメタボ健診 56人受診。ドック検診 14人受診。            平成29年 プレメタボ健診 36人受診。ドック検診 11人受診(平成29年11月現在)</p>	4
<p>【平成27年度】            生活習慣起因の糖尿病重症者の現状を把握し、医療機関との連携をとり、次年度に向けた準備を行った。</p> <p>【平成28年度】            生活習慣起因の糖尿病患者に対し、医療機関と協力し保健指導を実施した。</p> <p>【平成29年度】            前年度の結果より改善等検討し、事業を継続した。かかりつけ医と連携し、個人プログラムを実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導実施完了者の糖尿病性腎症における病期進行者を増加させない。</li> <li>指導実施率 10%</li> <li>生活習慣改善率 50%</li> <li>検査値改善率 50%</li> </ul>	<p>平成28年 糖尿病性重症化予防教室開催 68人参加。            平成29年 糖尿病性腎症重症化予防事業として、かかりつけ医と連携して事業を展開。</p>	4
<p>【平成27年度】            薬剤師会等へお薬手帳携帯啓発活動に向けた連携依頼を行い、具体的な事業について展開した。</p> <p>【平成28年度】            継続</p> <p>【平成29年度】            継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>併用禁忌薬剤による健康被害 0%</li> </ul>	<p>平成27年 薬剤併用禁忌防止講演会開催 13人参加。            ・うち、薬剤併用禁忌者10人            ・10人中、9人が適正化            平成28年 薬剤併用禁忌防止講演会開催 26人参加。            平成29年 薬剤併用禁忌防止講演会及び個別相談会3月実施予定</p>	4

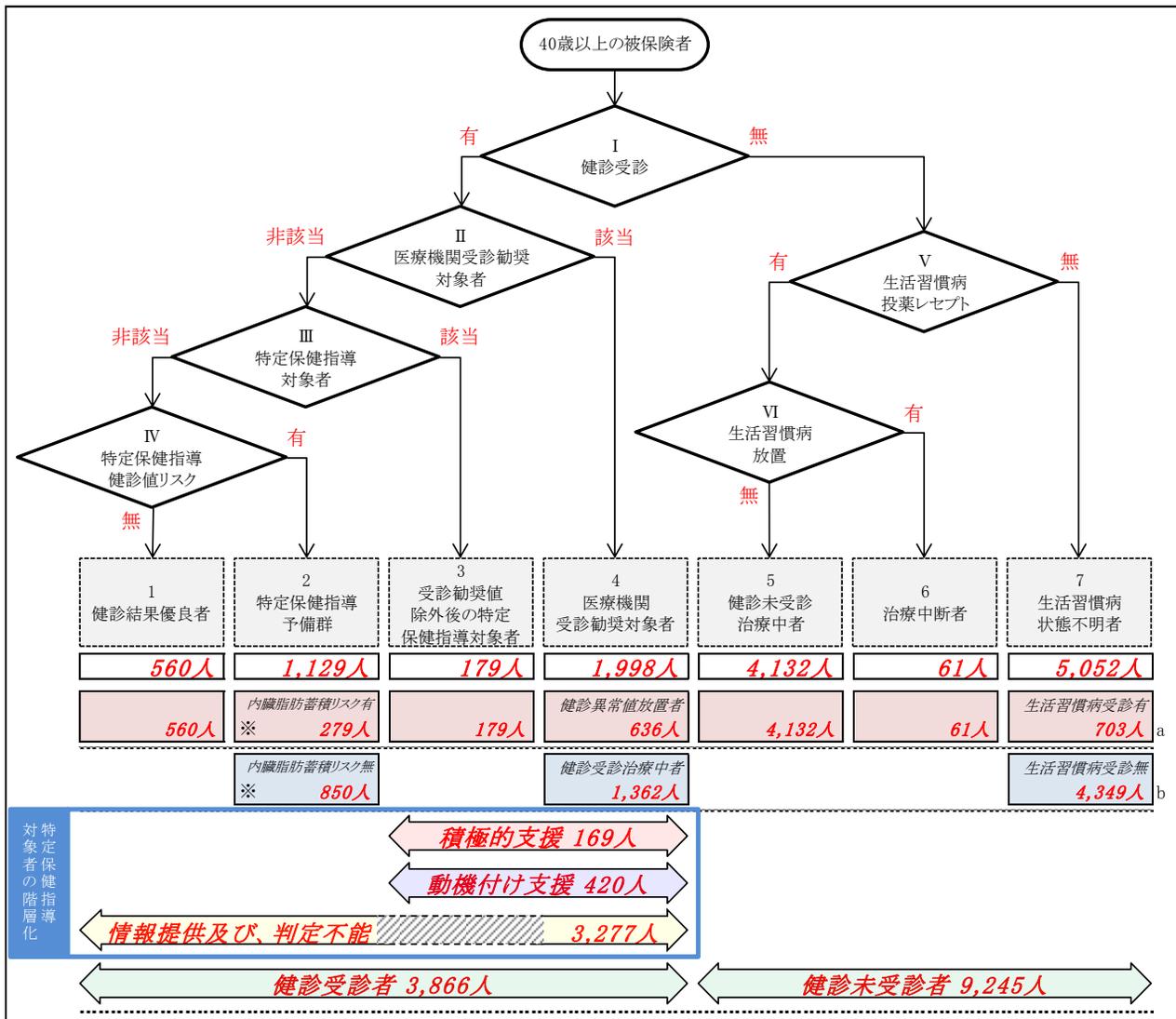
### 3. 保健事業実施に係る分析結果

#### (1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「1. 指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。

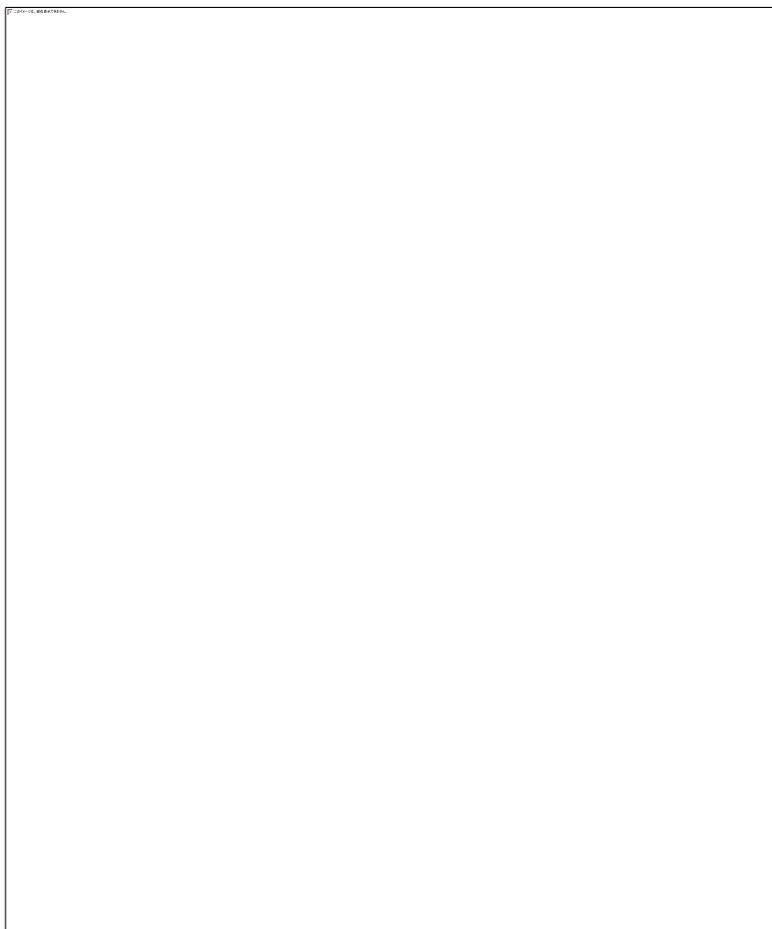
※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

## (2) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は589人である。このうち、積極的支援の対象者は169人、動機付け支援の対象者は420人である。

### 特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

### (3) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する636人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

#### 条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 …健診受診後、4カ月以上医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	636 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

#### 除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定	
	除外理由別人数
除外	がん、難病等
	174 人
↓	
除外患者を除いた候補者数	462 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者462人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

### 優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位		
←良 効率 悪→		
	喫煙	非喫煙
↑高	候補者A 医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ 2人	候補者C 4人
効果	候補者B 医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ 14人	候補者D 70人
低↓	候補者E 医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ 66人	候補者F 306人
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数		462人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

#### (4) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者86人が対象となる。

#### 条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	候補者人数 <b>61 人</b>
	上記以外のグループ	<b>25 人</b>
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		<b>86 人</b>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

#### 除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
除外	がん、難病等	除外理由別人数 <b>0 人</b>
	除外患者を除き、候補者となった患者数 <b>86 人</b>	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者86人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

### 優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位			
	毎月受診	2～3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
↑高 効果 ↓低	生活習慣病有病数 3つ 候補者A1 2人	候補者A2 3人	候補者A3 4人
	生活習慣病有病数 2つ 候補者B1 1人	候補者B2 10人	候補者B3 3人
	生活習慣病有病数 1つ 候補者C1 8人	候補者C2 34人	候補者C3 21人
効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数			86人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

## (5) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、62.0%が生活習慣を起因とするものであり、その58.0%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

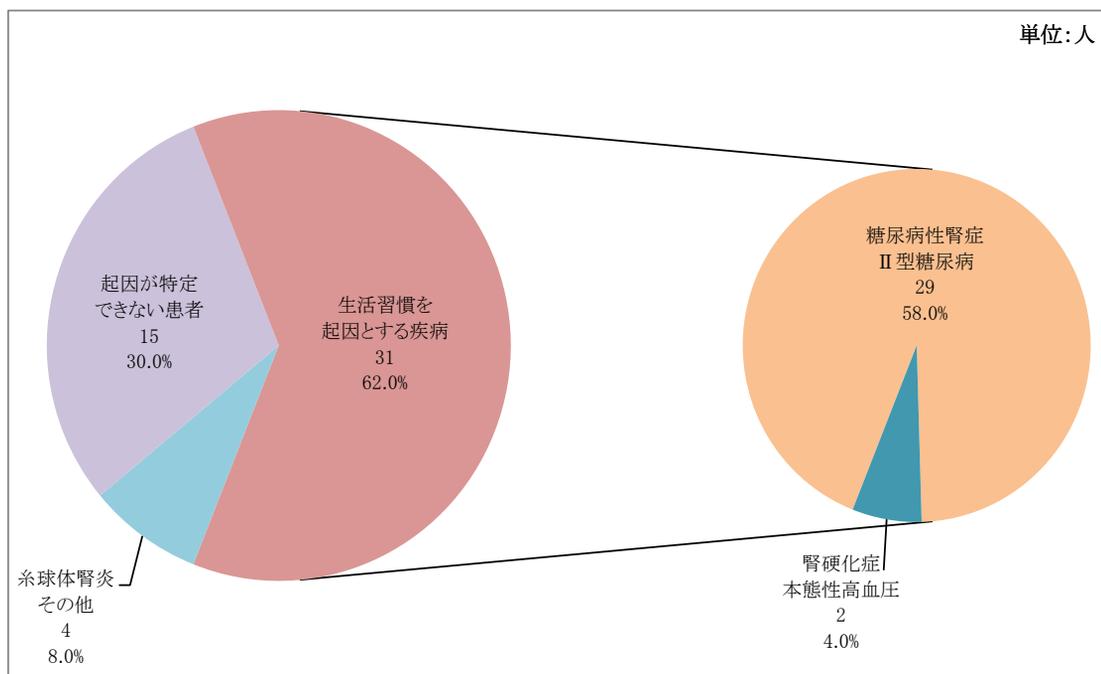
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	50
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	50

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

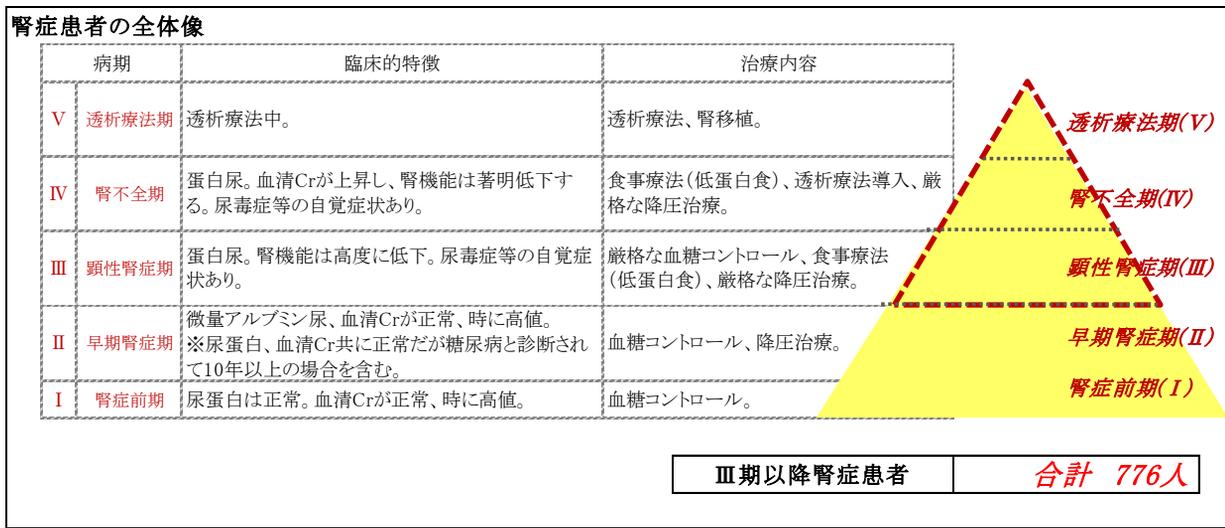
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者776人中270人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

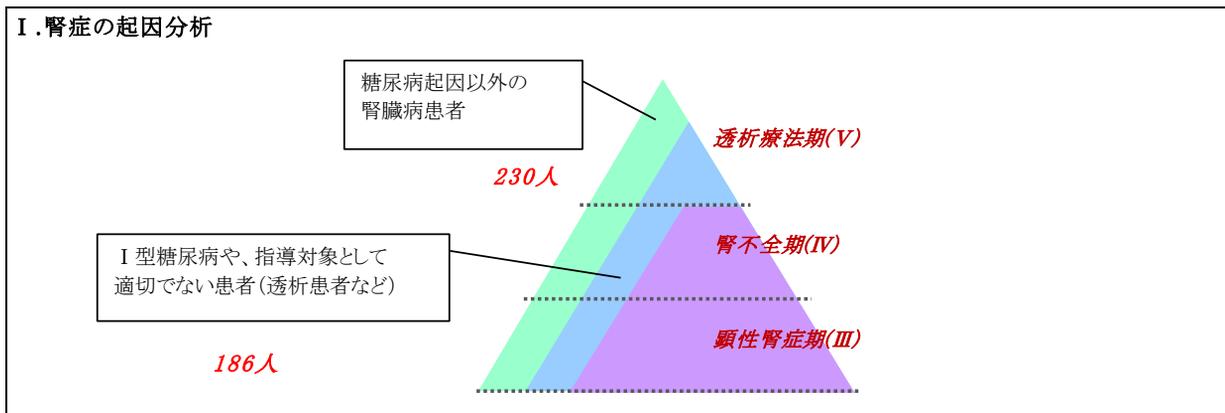
### 腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、230人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、186人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

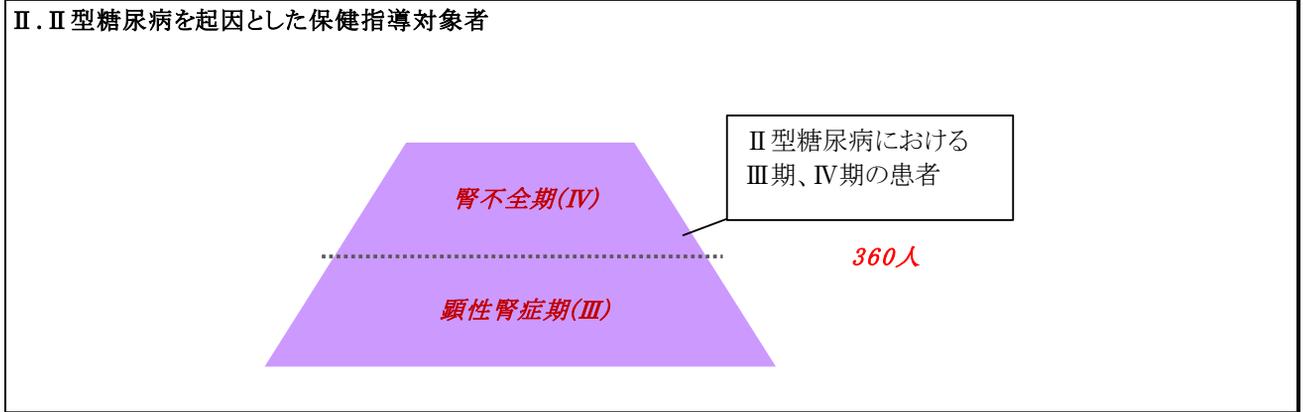
### 腎症の起因分析と指導対象者適合分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて360人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

## Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

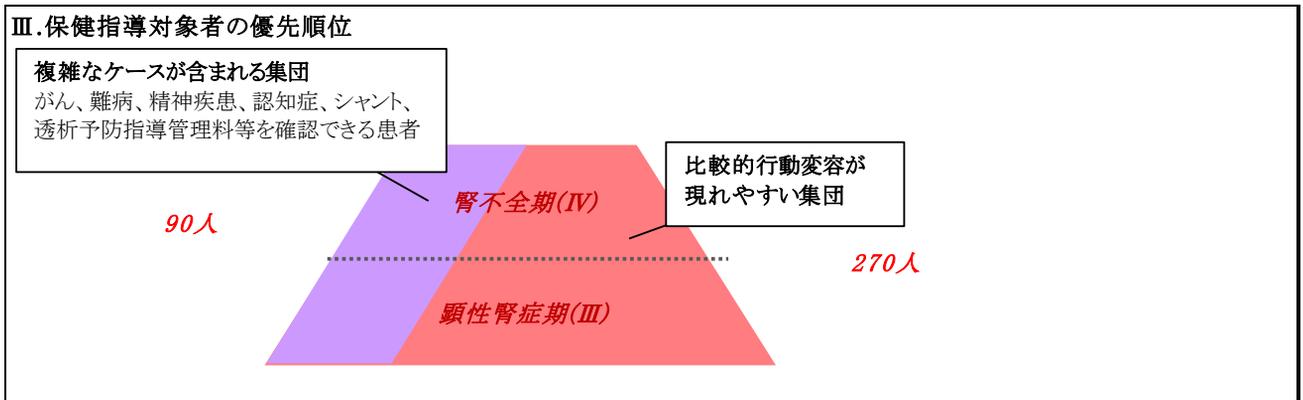


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。360人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、90人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、270人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

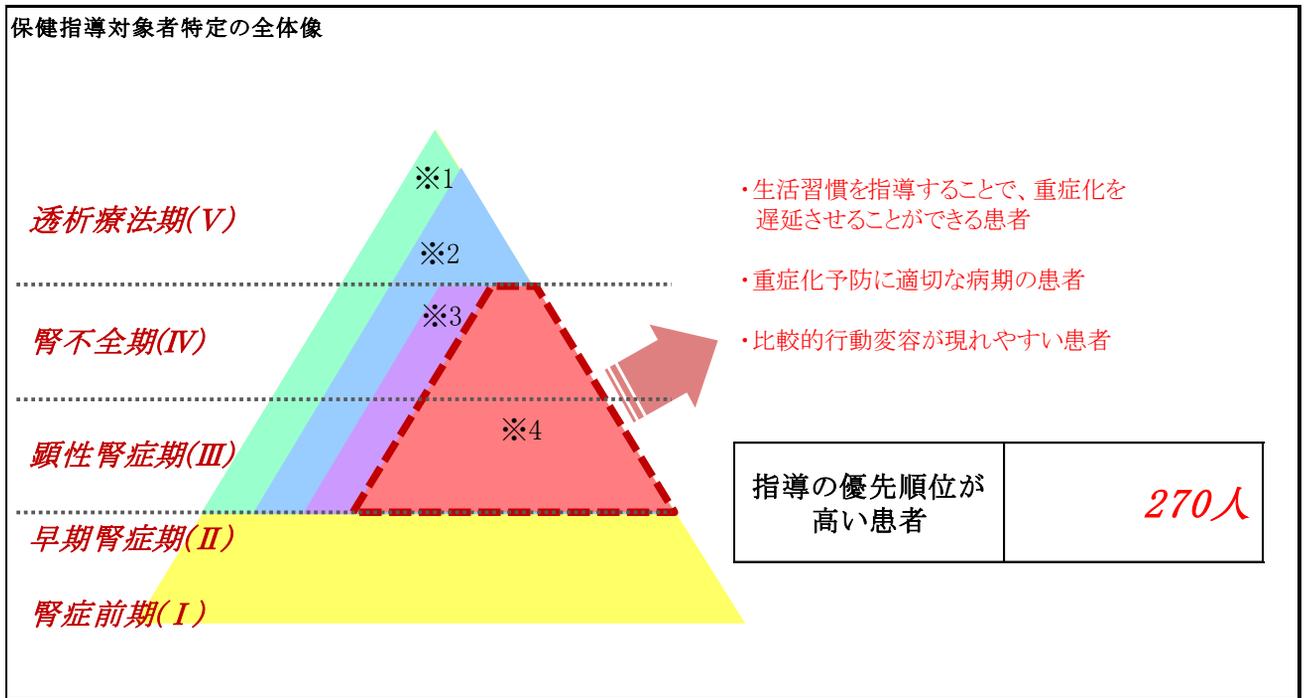
## 保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」「II型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、270人となった。この分析の全体像を以下に示す。

### 保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…I型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

## (6) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

### 重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人) ※	14	9	13	14	17	10	21	13	18	13	19	13
12カ月間の延べ人数											174	
12カ月間の実人数											136	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

株式会社データホライゾン特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

### 頻回受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人) ※	53	64	75	67	52	59	53	53	49	49	55	71
12カ月間の延べ人数											700	
12カ月間の実人数											274	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

### 重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人) ※	64	62	65	60	72	71	73	69	70	70	76	82
12カ月間の延べ人数											834	
12カ月間の実人数											381	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は136人、頻回受診者は274人、重複服薬者は381人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

### 条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に<b>3医療機関以上</b>受診している患者</li> <li>・頻回受診患者 …1カ月間で<b>同一医療機関に12回以上</b>受診している患者</li> <li>・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、<b>同系医薬品の日数合計が60日を超える</b>患者</li> </ul>	
条件設定により候補者となった患者数	<b>747 人</b>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

### 除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定			
		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	<b>0 人</b>	<b>521 人</b>
除外②	がん、難病等 ※	<b>521 人</b>	
除外患者を除き、候補者となった患者数			<b>226 人</b>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。  
※疑い病名を含む。

次に、残る対象者226人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは23人となった。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ.優先順位				
←良 効率 悪→				
	60歳以上	50～59歳	50歳未満	
↑高 効果 低↓	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 4人	候補者C 3人	候補者 と し な い  203人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 9人	候補者D 2人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該 当)	候補者E 3人	候補者F 2人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数			23人	

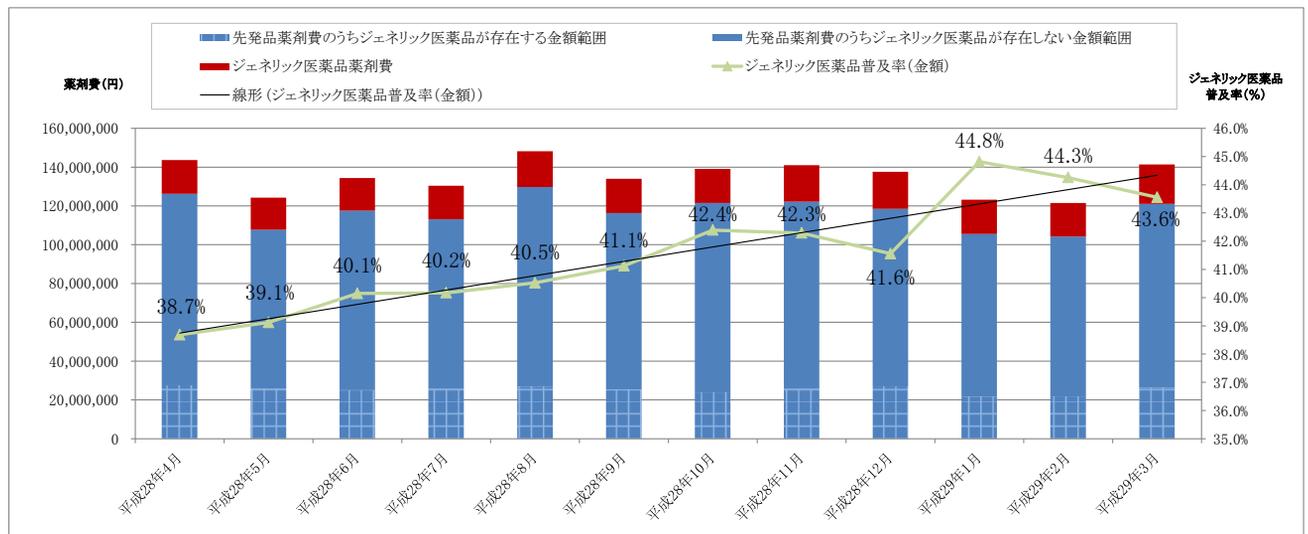
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

## (7) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は41.5%(金額ベース)、68.5%(数量ベース)である。

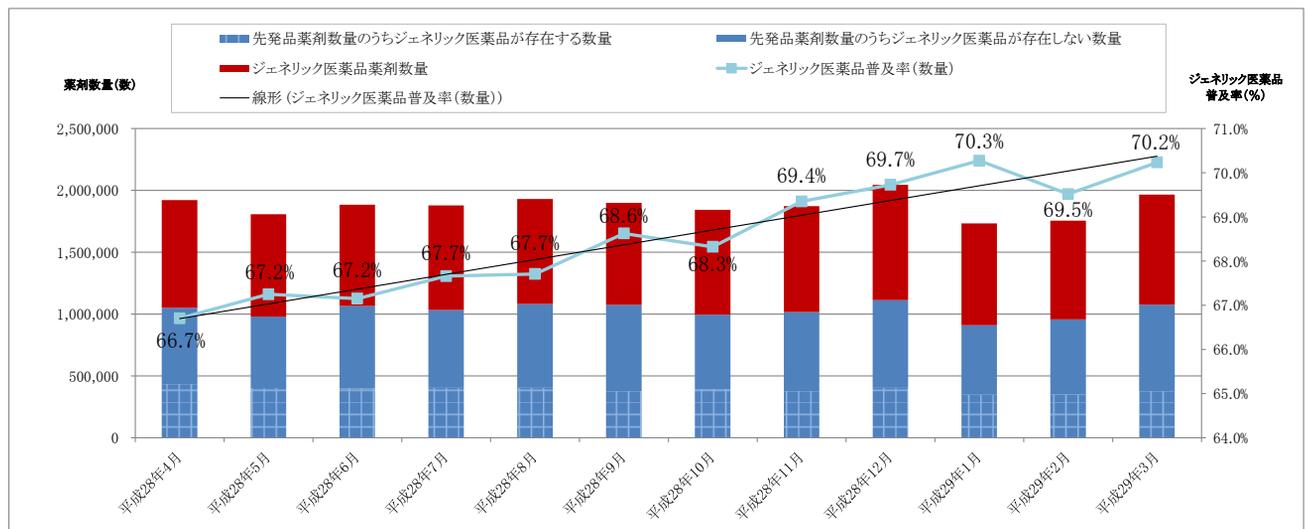
### ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。  
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

### ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)

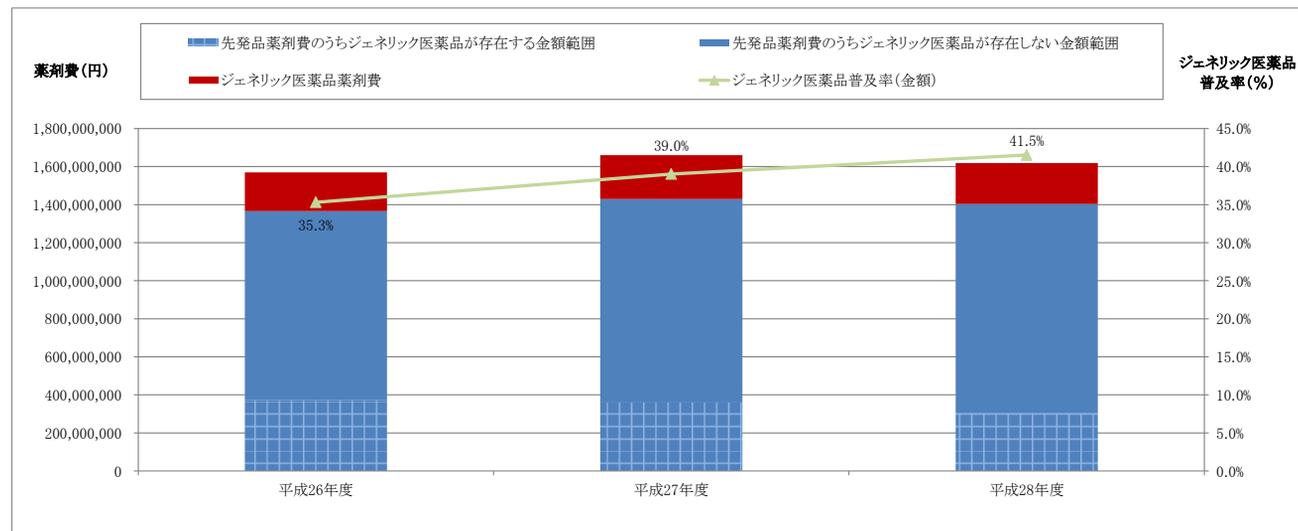


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。  
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

平成26年度から平成28年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示す。平成28年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)41.5%は、平成26年度35.3%より6.2ポイント上昇しており、平成28年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)68.5%は、平成26年度59.6%より8.9ポイント上昇している。

### 年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

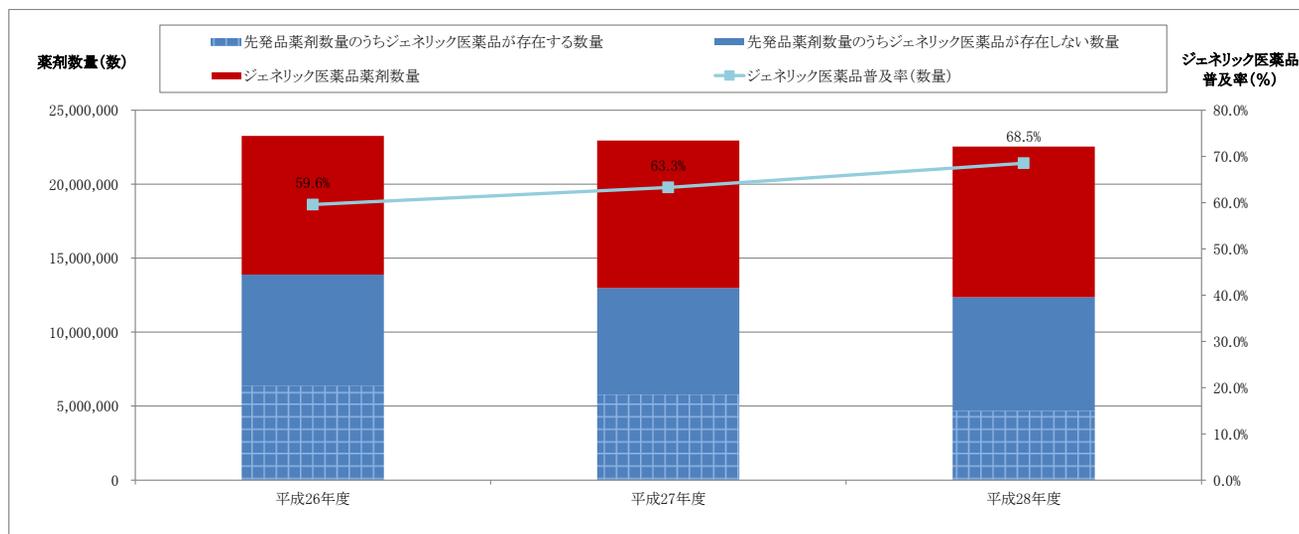


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

### 年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



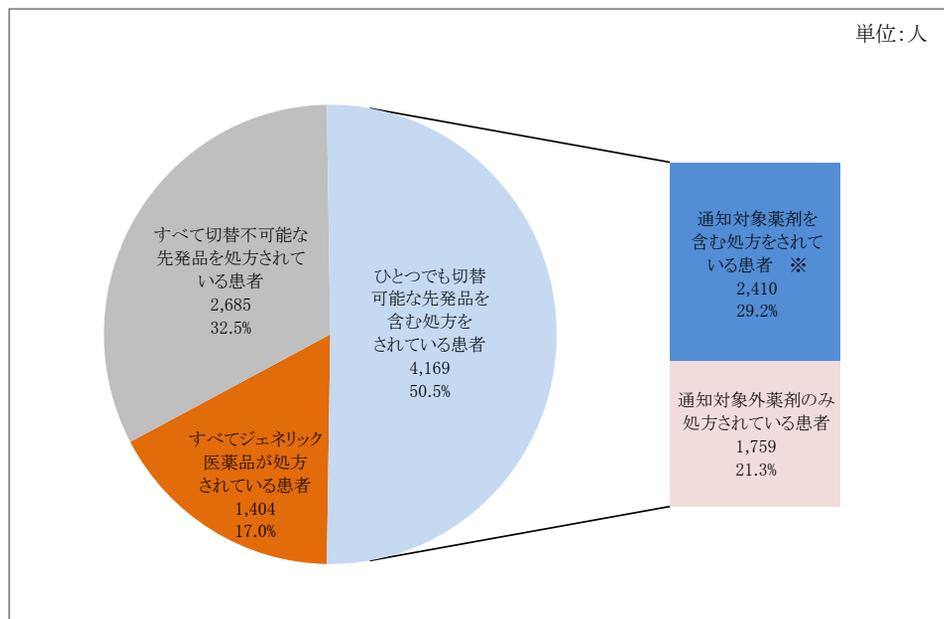
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成29年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は8,258人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は4,169人で患者数全体の50.5%を占める。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、2,410人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の29.2%となる。

## 薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

## (8) 薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性がある。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認するが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、すでに処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性がある。

現在、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の対象者延べ人数は823人、実人数は591人である。

### 薬剤併用禁忌対象者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
薬剤併用禁忌対象者数(人) ※	52	43	34	68	49	48	89	79	84	112	90	75
12カ月間の延べ人数											823	
12カ月間の実人数											591	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

主な併用禁忌の組み合わせを以下に示す。

実人数(人)	591
件数合計(件)	1,169

### 薬剤併用禁忌 医薬品リスト

No.	(A) 剤型名	(A) 医薬品 コード	(A) 医薬品名	(B) 剤型名	(B) 医薬品 コード	(B) 医薬品名	件数
1	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	60
2	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	59
3	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	57
4	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	55
5	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	621975402	リスベリドン内服液1mg/mL「MEEK」 0.1%	45
6	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	40
7	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	660421116	ホクナリンテープ1mg	34
8	内服	622028301	インヴェガ錠3mg	内服	620005588	リスベリドン細粒1%「アメル」	33
9	内服	620002510	カロナールシロップ2%	内服	620161301	幼児用PL配合顆粒	23
10	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620161401	ビーエイ配合錠	20
11	内服	621499701	クリアミン配合錠S.O. 5	内服	622410701	ソルミトリブタンOD錠2.5mg「タカタ」	19
12	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160801	トーワチーム配合顆粒	18
13	内服	610444107	パチール錠200mg	内服	622494101	オランザピンOD錠10mg「ファイザー」	17
14	内服	621981001	パチール錠50mg	内服	611170727	コントミン糖衣錠25mg	17
15	内服	621981001	パチール錠50mg	内服	620006783	ロナセン錠4mg	17
16	内服	621981001	パチール錠50mg	内服	621474401	ファモチジン錠10mg「テバ」	16
17	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	16
18	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	620005604	リスベリドン錠1mg「アメル」	14
19	内服	610444107	パチール錠200mg	内服	620006113	プロビタン錠50mg	14
20	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	660421117	ホクナリンテープ2mg	14
21	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	622081101	トラムセット配合錠	13
22	内服	620002022	カロナール細粒20%	内服	620161301	幼児用PL配合顆粒	13
23	内服	610444106	パチール錠100mg	内服	611170743	コントミン糖衣錠50mg	13
24	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	12
25	内服	621558101	SG配合顆粒	内服	622081101	トラムセット配合錠	12
26	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	620005613	リスベリドン錠1mg「ヨシトミ」	12
27	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160501	PL配合顆粒	12
28	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	12
29	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	11
30	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	11
31	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	621558101	SG配合顆粒	11
32	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	10
33	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160501	PL配合顆粒	10
34	内服	610444106	パチール錠100mg	内服	620158001	ベグタミン-A配合錠	10
35	内服	621981001	パチール錠50mg	内服	621807402	リスベリドン錠2mg「ファイザー」	10
36	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621829601	アドエア250ディスカス60吸入用 60ブリスター	10
37	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	9
38	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	622277901	フルティフォーム50エアゾール56吸入用	9
39	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	620009457	リスベリドン錠1mg「トーワ」	8
40	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	8
41	内服	610444107	パチール錠200mg	内服	620002519	ジプレキサザイデイス錠10mg	8
42	内服	610444107	パチール錠200mg	内服	620158101	ベグタミン-B配合錠	8
43	内服	610444107	パチール錠200mg	内服	610453152	レボトミン錠50mg	8
44	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	611170326	ヒルナミン錠(5mg)	7
45	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620002022	カロナール細粒20%	7
46	内服	620002477	クレストール錠2.5mg	内服	610443019	ネオナール25mgカプセル	7
47	内服	621981001	パチール錠50mg	内服	620005616	リスベリドン錠2mg「アメル」	7
48	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621950801	シムビコートタービュヘイラー60吸入	7
49	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	621558101	SG配合顆粒	6
50	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620002038	コカール錠200mg	6

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リストは51件以上省略

## (9)服薬情報に係る分析

薬剤の多剤服薬は、副作用が起りやすく様々なリスクがある。特に高齢者に起りやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れがある。転倒による骨折をきっかけに寝たきりになったり、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等が起りやすくなる。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。薬剤種類数別対象者数は以下の通りである。複数医療機関の受診があり6種類以上の薬剤を14日以上服薬している対象者は942人である。

### 薬剤種類数別対象者数

年齢階層	対象者数(人)									
	～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～	合計	
被保険者数(人)	5,437	1,135	1,075	889	1,029	2,159	3,899	2,958	18,581	
薬剤種類数	1種類	76	11	10	7	7	24	53	27	215
	2種類	75	17	7	8	14	39	98	76	334
	3種類	41	13	5	14	18	56	105	98	350
	4種類	26	9	12	12	16	31	106	118	330
	5種類	24	13	6	12	15	48	102	105	325
	6種類	13	4	11	5	16	31	74	96	250
	7種類	8	3	7	5	4	33	53	61	174
	8種類	10	4	7	7	8	16	28	56	136
	9種類	5	3	5	4	8	16	33	36	110
	10種類	8	1	3	3	3	11	24	36	89
	11種類	0	1	1	1	4	7	22	24	60
	12種類	1	1	3	2	2	4	13	15	41
	13種類	1	0	3	1	1	2	13	10	31
	14種類	2	0	1	1	2	4	5	4	19
	15種類	0	1	1	1	1	1	6	5	16
	16種類	0	0	0	0	0	0	2	3	5
	17種類	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	18種類	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	19種類	0	0	0	0	0	1	1	2	4
	20種類	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	21種類以上	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	合計	290	81	82	83	119	327	739	775	2,496



長期多剤服薬者数(人)※	942
--------------	-----

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

また、長期多剤服薬者942人が被保険者全体に占める割合は5.1%、長期服薬者全体に占める割合は37.7%である。

### 長期多剤服薬者の状況

		～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 ～69歳	70歳～	合計
A	被保険者数(人)	5,437	1,135	1,075	889	1,029	2,159	3,899	2,958	18,581
B	長期服薬者数(人)※	290	81	82	83	119	327	739	775	2,496
C	長期多剤服薬者数(人)※	48	18	42	30	49	129	275	351	942
C/A	被保険者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	0.9%	1.6%	3.9%	3.4%	4.8%	6.0%	7.1%	11.9%	5.1%
C/B	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	16.6%	22.2%	51.2%	36.1%	41.2%	39.4%	37.2%	45.3%	37.7%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期服薬者数…1種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

## (10) COPD患者の実態

COPD患者の実態と潜在患者について以下の通り示す。日本においてCOPDの治療を行っている患者は約26万1千人、それに対して潜在患者は530万人と推定されている。一方、常総市国民健康保険の被保険者を対象に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)で分析したところ、治療を行っている患者は224人であった。日本における治療中患者と潜在患者の比率を参考に、常総市国民健康保険被保険者に換算すると、潜在患者は4,480人程度と想定する。

### COPD患者の治療状況と潜在患者数

対象範囲	治療患者数	潜在患者数
日本	26万1千人 ※	推定530万人 ※
常総市国民健康保険被保険者	224人 内訳: 男性161人 (72%) 女性63人 (28%)	推定4,480人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

薬物療法が発生している患者のみ分析対象とする。

参考資料

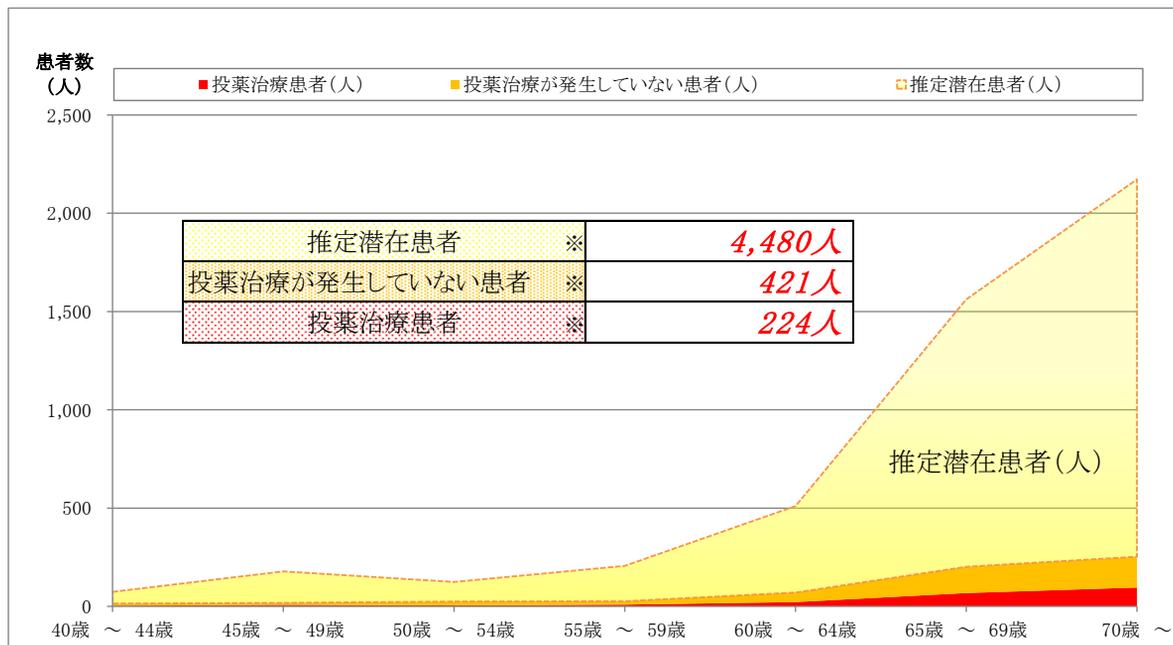
※治療患者数…平成26年患者調査(総患者数, 性・年齢階層×傷病小分類別)

[http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?\\_toGL08020103\\_listID=000001141596](http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?_toGL08020103_listID=000001141596) (アクセス日:平成28年6月1日)

※潜在患者数…Fukuchi Y, et al, COPD in Japan: the Nippon COPD Epidemiology study, *Respirology*.2004Nov;9(4):458-65

以下の通り、COPD患者の年齢階層別「投薬治療患者」「投薬治療が発生していない患者」「推定潜在患者」を示す。

### COPD患者の治療状況と潜在患者数



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※推定潜在患者…投薬治療患者の数に対し、日本の潜在患者数を参考に推定した患者数。

※投薬治療が発生していない患者…データ化範囲内において傷病名に慢性閉塞性肺疾患があるが投薬は確認できない患者数。

※投薬治療患者…データ化範囲内において傷病名に慢性閉塞性肺疾患があり、投薬も確認できる患者数。

また、COPD患者224人の医療費を分析したところ、以下の通りとなった。12カ月間での患者一人当たりの医療費平均は90万円程度、このうちCOPD関連の医療費が4万円程度、COPD関連以外の医療費が86万円程度である。COPD関連の医療費自体は高額ではないが、患者毎に見ると、生活習慣病である糖尿病・高血圧・脂質異常等を併存している患者が多い。

### COPD患者の医療費平均

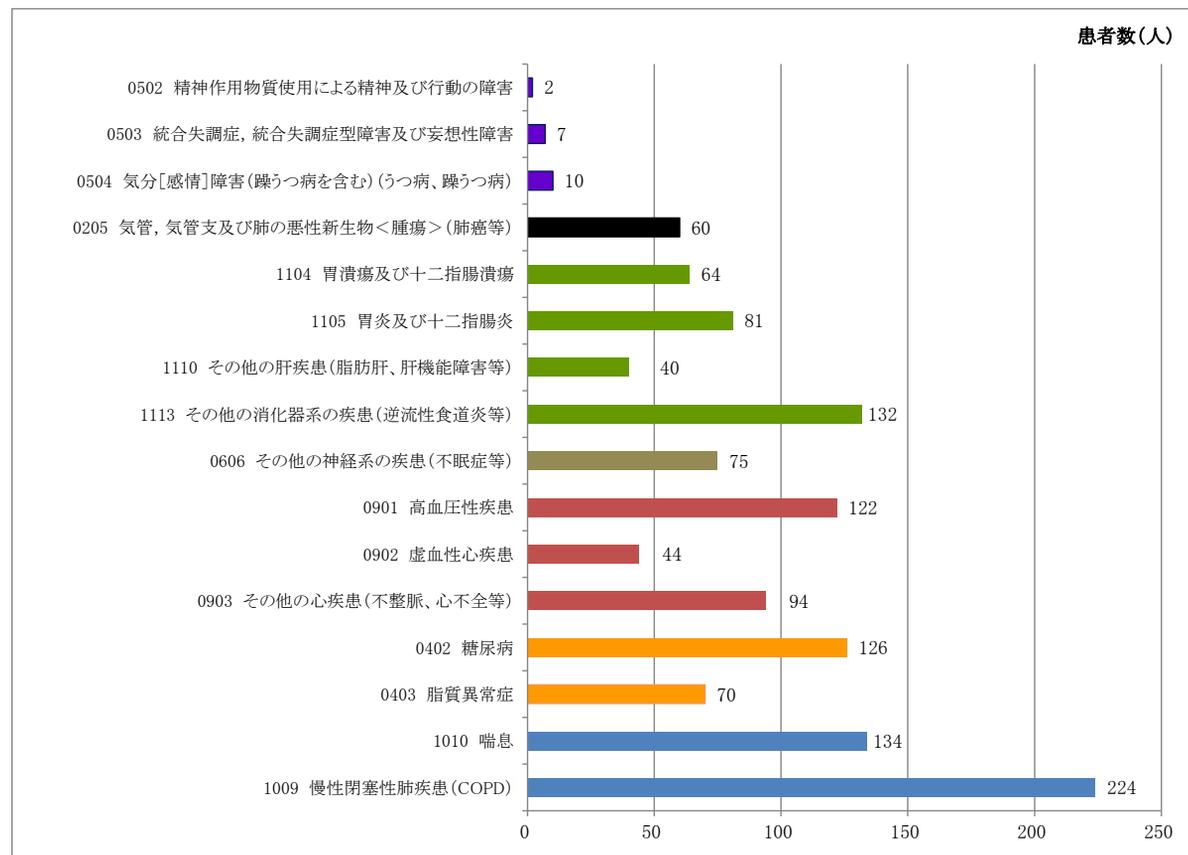
	一人当たり医療費(円)
医療費合計	901,229
COPD関連	38,300
COPD関連以外	862,929

#### データ化範囲(分析対象)

…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

COPD患者224人が併存している疾患を以下の通り示す。COPD患者は高血圧・心疾患等の循環器系疾患や、糖尿病及び脂質異常等の生活習慣病を併存している。また、肺がんは224人のうち26.8%の60人が併存している。肺がん等の悪性新生物、うつ病・躁うつ病、統合失調症については、患者一人当たりの医療費が高額な疾病である。

### COPD患者の併存疾患



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

薬物療法が発生している患者のみ分析対象とする。

COPDの併存疾患		COPDの合併疾患
●全身性炎症	●抑うつ	●肺がん
●栄養障害	●糖尿病	●喘息
●骨格筋機能障害	●睡眠障害	
●心・血管疾患(心筋梗塞・狭心症・脳血管障害)	●緑内障	
●骨粗鬆症	●貧血	

出典:日本呼吸器学会COPDガイドライン第3版作成委員会  
「COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン第3版」全身の併存疾患、合併疾患  
日本呼吸器学会 平成20年6月 ISBN:978-4-7792-0431-9

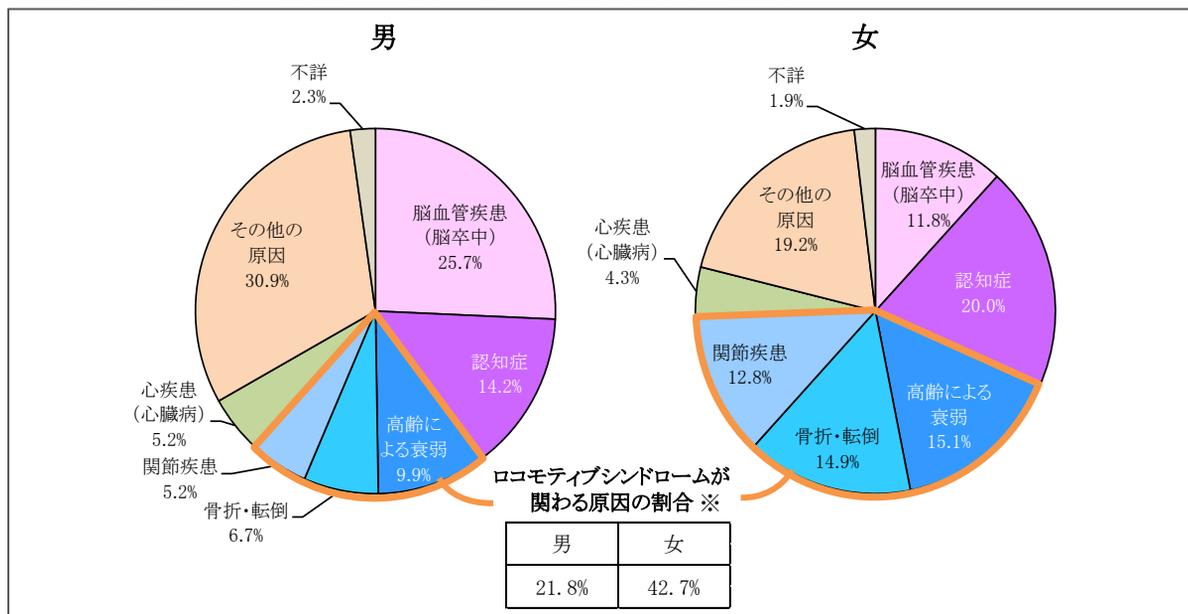
# (11) ロコモティブシンドロームの実態

ロコモティブシンドロームは日本整形外科学会が平成19年に提唱した概念で、筋肉・骨・関節・軟骨・椎間板といった運動器の障害により、歩行や日常生活に何らかの障害をきたしている状態、または、そうなるリスクが高い状態をいう。和名は「運動器症候群」である。自立度が低下し、要介護状態となる危険性が高い。

増え続ける要介護人口の歯止めとして、ロコモティブシンドローム対策の必要性は極めて高い。

## ●ロコモティブシンドロームの現状

[全国] 性別にみた介護が必要となった主な原因の構成



出典:「国民生活基礎調査」厚生労働省 平成28年

※「高齢による衰弱」は、ロコモティブシンドローム原因疾患であるサルコペニアが原因のひとつであり、運動器障害との関連があることからロコモティブシンドロームが関わる原因に加えている。

[全国] 要介護度別にみた介護が必要となった主な原因(上位3位)

要介護度	第1位		第2位		第3位	
	原因	人数	原因	人数	原因	人数
総数	認知症	18.0	脳血管疾患(脳卒中)	16.6	高齢による衰弱	13.3
要支援者	関節疾患	17.2	高齢による衰弱	16.2	骨折・転倒	15.2
要支援1	関節疾患	20.0	高齢による衰弱	18.4	脳血管疾患(脳卒中)	11.5
要支援2	骨折・転倒	18.4	関節疾患	14.7	脳血管疾患(脳卒中)	14.6
要介護者	認知症	24.8	脳血管疾患(脳卒中)	18.4	高齢による衰弱	12.1
要介護1	認知症	24.8	高齢による衰弱	13.6	脳血管疾患(脳卒中)	11.9
要介護2	認知症	22.8	脳血管疾患(脳卒中)	17.9	高齢による衰弱	13.3
要介護3	認知症	30.3	脳血管疾患(脳卒中)	19.8	高齢による衰弱	12.8
要介護4	認知症	25.4	脳血管疾患(脳卒中)	23.1	骨折・転倒	12.0
要介護5	脳血管疾患(脳卒中)	30.8	認知症	20.4	骨折・転倒	10.2

出典:「国民生活基礎調査」厚生労働省 平成28年

## ●ロコモティブシンドロームの原因疾患と患者の実態

常総市国民健康保険におけるロコモティブシンドローム原因疾患のレセプトが存在する患者数を示す。40歳以上の男女が対象者である。

### 条件設定による指導対象者の特定(ロコモティブシンドローム)

I.条件設定による指導対象者の特定	
原因疾患のレセプトは存在し、候補者となった患者数	<b>2,966人</b>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

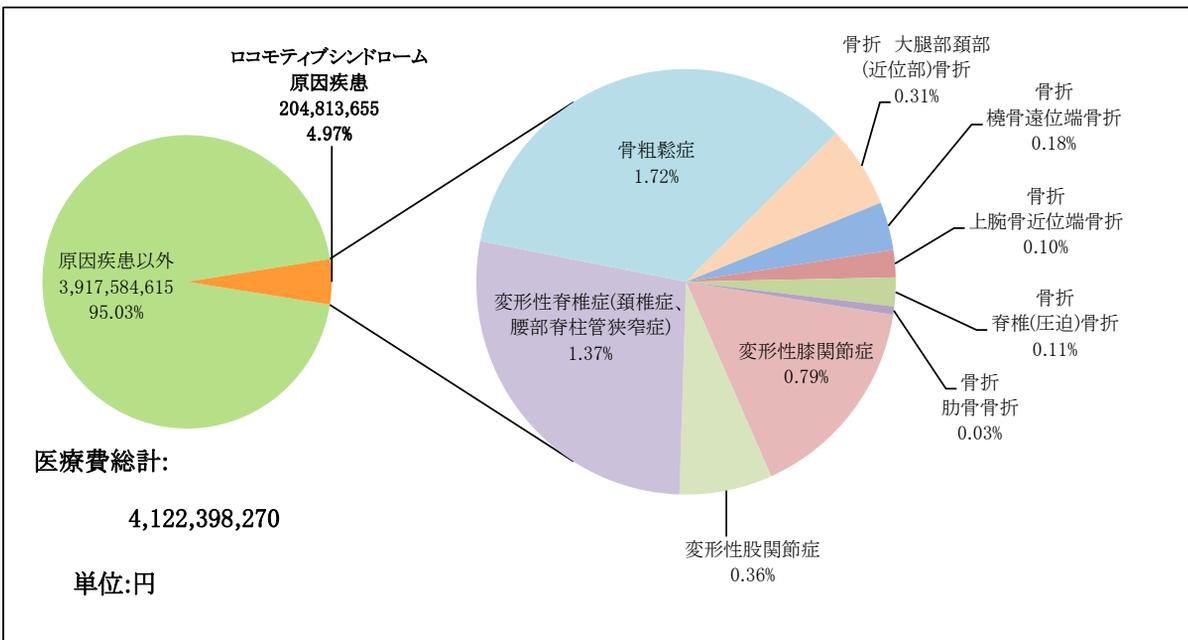
※ロコモティブシンドローム原因疾患は「ロコモティブシンドローム診療ガイド2010(日本整形外科学会 編)」に基づき、株式会社データホライズンにて以下関連疾病を選定。

※原因疾患…変形性膝関節症、変形性股関節症、変形性脊椎症(頸椎症、腰部脊柱管狭窄症)、骨粗鬆症、骨折(大腿部頸部(近位部)骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨近位端骨折、脊椎(圧迫)骨折、肋骨骨折、脆弱性骨折)、サルコペニア

※サルコペニア…筋肉量が低下し、筋力または身体能力が低下した状態。

ロコモティブシンドローム原因疾患別医療費をグラフにて示す。医療費総計の約4.97%をロコモティブシンドローム原因疾患が占め、中には要支援及び要介護の主な原因である「関節疾患」「骨折・転倒」に関連する疾病が多く含まれる。

### ロコモティブシンドローム原因疾患別医療費の状況



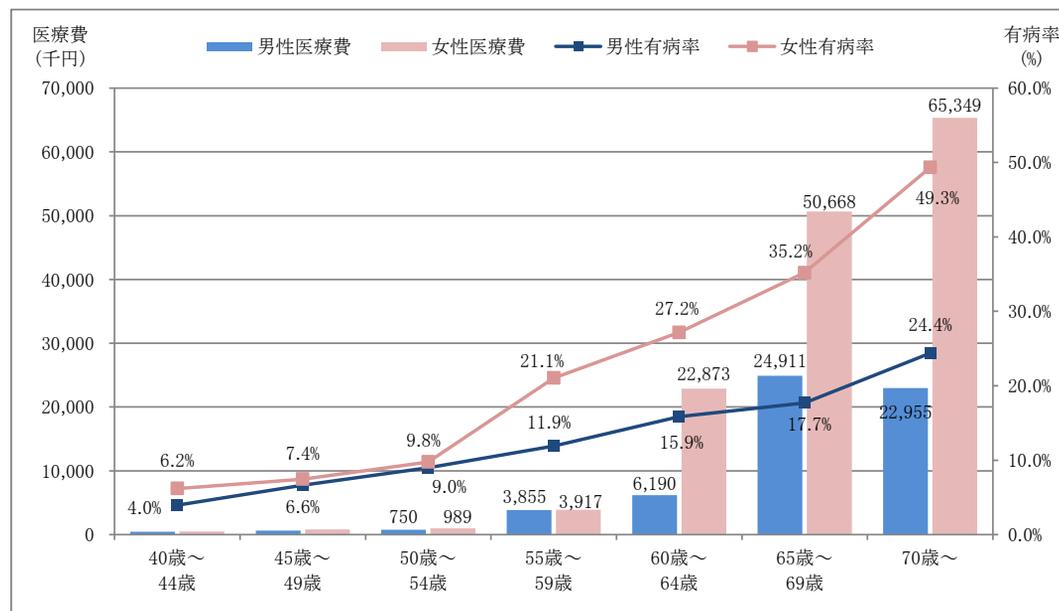
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

年齢階層別・男女別のロコモティブシンドローム原因疾患有病率と原因疾患医療費を以下に示す。加齢が進むにつれて患者数が増え医療費が急速に増大している。特に女性が多いため、女性への対策を図ることがロコモティブシンドローム原因疾患医療費削減に有効と考えられる。

年齢階層別・男女別 ロコモティブシンドローム原因疾患 有病率と医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

## 4. 分析結果に基づく健康課題の把握

### (1) 分析結果

平成28年4月から平成29年3月診療分(12カ月分)における分析結果と平成26年度から平成28年度における分析結果を以下にまとめた。

常総市国民健康保険の抱える課題は、生活習慣病及び新生物への対策が課題であると言える。

#### ① 疾病大分類

##### 【平成28年度】

医療費では循環器系の疾患が1位、内分泌、栄養及び代謝疾患が3位、患者数では内分泌、栄養及び代謝疾患が3位と生活習慣病が上位を占めていた。また新生物も医療費と患者一人当たり医療費で2位であった。患者一人当たり医療費の1位が精神及び行動の障害、3位が周産期に発生した病態であった。母子部門・福祉部門へ情報提供し、連携を取る。

医療費が高い疾病		構成比
1位	循環器系の疾患	16.2%
2位	新生物<腫瘍>	13.8%
3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	9.9%

患者数が多い疾病		患者数
1位	呼吸器系の疾患	10,000人
2位	消化器系の疾患	8,761人
3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	8,134人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	精神及び行動の障害	209,148円
2位	新生物<腫瘍>	150,443円
3位	周産期に発生した病態	145,020円

【平成26年度～平成28年度】

大分類で医療療費が高い疾病を3年度で見ると、順位に変動はなく、1位は循環器系の疾患、2位は新生物、3位は内分泌、栄養及び代謝疾患であった。

医療費が高い疾病			構成比
平成26年度	1位	循環器系の疾患	17.6%
	2位	新生物<腫瘍>	13.1%
	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	9.9%
平成27年度	1位	循環器系の疾患	17.9%
	2位	新生物<腫瘍>	11.3%
	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	9.7%
平成28年度	1位	循環器系の疾患	16.2%
	2位	新生物<腫瘍>	13.8%
	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	9.9%

②疾病中分類別

【平成28年度】

大分類を細分化し、中分類で分析を行った結果、高血圧性疾患が医療費で2位、患者数で1位、糖尿病が医療費で3位、患者数で2位であった。また、生活習慣病が起因となる疾病では、腎不全が患者一人当たり医療費で2位であった。

医療費が高い疾病		構成比
1位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	6.0%
2位	高血圧性疾患	5.7%
3位	糖尿病	5.4%

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	5,801人
2位	糖尿病	5,530人
3位	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,341人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	549,421円
2位	腎不全	500,186円
3位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	309,420円

### 【平成26年度～平成28年度】

中分類で医療費が高い疾病を3年度で見ると、平成26年度の1位は高血圧性疾患、2位は統合失調症、3位は糖尿病であった。平成27年度に1位と2位が入れ替わり、1位は統合失調症、2位は高血圧、3位は糖尿病で、平成28年度も同じ状況であった。

医療費が高い疾病			構成比
平成26年度	1位	高血圧性疾患	6.4%
	2位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	6.1%
	3位	糖尿病	5.3%
平成27年度	1位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	6.2%
	2位	高血圧性疾患	6.1%
	3位	糖尿病	5.2%
平成28年度	1位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	6.0%
	2位	高血圧性疾患	5.7%
	3位	糖尿病	5.4%

### ③高額(5万点以上)レセプトの件数と割合、疾病傾向

高額レセプトの発生件数の割合は、3年度とも0.6%であったが、医療費全体における割合では、平成26年度は27.9%、平成27年度は29.1%、平成28年度は30.1%で、医療費割合は増えている。

平成26年度	高額レセプト件数	1,477件
	高額レセプト件数割合	0.6%
	高額レセプト医療費割合	27.9%
平成27年度	高額レセプト件数	1,529件
	高額レセプト件数割合	0.6%
	高額レセプト医療費割合	29.1%
平成28年度	高額レセプト件数	1,551件
	高額レセプト件数割合	0.6%
	高額レセプト医療費割合	30.1%

高額レセプトの患者一人あたりの医療費の高い疾病では、くも膜下出血が平成26年度と平成28年度に3位であった。平成28年度の5位には腎不全が上がっており、19人と患者も多い。

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人あたりの医療費順(中分類)		患者数	患者一人あたりの 医療費	
平成 26 年度	1位	その他の理由による保健サービスの利用者	1人	13,682,870円
	2位	真菌症	1人	9,232,260円
	3位	くも膜下出血	6人	8,216,552円
	4位	その他の脊柱障害	2人	6,499,125円
	5位	血管性及び詳細不明の認知症	1人	6,485,050円
平成 27 年度	1位	心臓の先天奇形	3人	12,707,183円
	2位	貧血	5人	7,940,056円
	3位	その他の理由による保健サービスの利用者	2人	6,970,610円
	4位	白血病	2人	5,598,605円
	5位	悪性リンパ腫	5人	5,593,918円
平成 28 年度	1位	貧血	4人	12,026,730円
	2位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	2人	7,341,335円
	3位	くも膜下出血	3人	5,952,613円
	4位	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	1人	5,889,140円
	5位	腎不全	19人	5,821,097円

高額レセプトが発生している患者数の多い疾病では、3年連続でその他の悪性新生物が1位であった。虚血性心疾患が平成26年度と平成27年度に、その他の心疾患は3年度連続で上がっていた。また3年連続で骨折が上がっている。

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者数順(中分類)		患者数	患者一人あたりの 医療費	
平成 26 年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	52人	3,029,815円
	2位	その他の心疾患	40人	2,979,435円
	3位	虚血性心疾患	37人	2,615,507円
	4位	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	35人	2,930,567円
	5位	骨折	28人	2,021,837円
平成 27 年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	52人	2,642,174円
	2位	骨折	44人	1,937,405円
	3位	その他の心疾患	40人	3,466,913円
	4位	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	39人	2,623,667円
	5位	虚血性心疾患	35人	3,039,559円
平成 28 年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	61人	3,256,795円
	2位	その他の心疾患	45人	3,011,318円
	3位	気管,気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	30人	4,307,869円
	4位	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	30人	3,299,574円
	5位	骨折	29人	2,898,248円

#### ④特定健康診査及びレセプトデータによる分析

平成28年度の特定健康診査とレセプトデータによる分析の結果、健診異常値を放置している人は636人、生活習慣病の治療を中断している人は86人、生活習慣病の状態不明者は5,052人であった。

健診異常値放置者	636人
生活習慣病治療中断者	86人
生活習慣病状態不明者	5,052人

#### ⑤人工透析患者の実態

平成28年度のレセプトデータより、人工透析患者は50人いた。そのうち、29人がⅡ型糖尿病が起因であった。

人工透析患者	50人
(うちⅡ型糖尿病起因患者)	29人

#### ⑥医療機関受診状況

平成28年度のレセプトデータより、医療機関の受診状況に問題のある被保険者を分析した結果、多受診の重複受診者が136人、頻回受診者が274人、重複服薬者が381人にいた。また、服薬に問題のある薬剤併用禁忌対象者は591人、長期多剤服薬者は942人いた。

重複受診者	136人
頻回受診者	274人
重複服薬者	381人
薬剤併用禁忌対象者	591人
長期多剤服薬者	942人

### ⑦ジェネリック医薬品普及率（数量ベース/医科・調剤レセプト）

数量ベースのジェネリック医薬品の普及率は、平成26年度が59.6%、平成27年度が63.3%、平成28年度が68.5%であった。直近の平成29年3月の普及率は、70.2%である。

※2020年度末までに普及率80%目標/厚生労働省

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ジェネリック医薬品 普及率	59.6%	63.3%	68.5%

### ⑧COPD患者の実態

平成28年度のレセプトデータより、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の投薬治療がある患者は224人、投薬はまだないが病名があるものが421人いた。潜在患者は4,480人いると考えられる。

投薬治療患者	224人
投薬治療が発生していない患者	421人
推定潜在患者	4,480人

### ⑨ロコモティブシンドロームの実態

平成28年度のレセプトデータより、ロコモティブシンドロームの原因疾患を持つ40歳以上は、2,966人いた。

ロコモの原因疾患を持つ患者	2,966人
---------------	--------

## (2) 分析結果に基づく課題とその対策

### 分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率 生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額な状況である。特に高血圧と糖尿病は患者が多く、それらが重症化した心疾患や腎不全の患者も増えており、医療費が高額化している。また特定健康診査の受診率と保健指導の実施率は、28年度は31.5%・21.2%で、さらなる受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査未受診者対策</li> <li>・医療機関特定健診</li> <li>・ドック検診</li> <li>・特定保健指導事業</li> <li>・若年者健診事業</li> </ul>
<p>◆生活習慣病の予防と知識の普及啓発 生活習慣病の予防と早期発見・早期治療のため、市民に広く健康づくりを意識し、生活習慣改善に取り組めるよう、啓発活動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり事業（ポピュレーションアプローチ）</li> </ul>
<p>◆健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者 健診で異常値があったにもかかわらず医療機関を受診していない異常値放置者（636人）や、生活習慣病の治療を中断している患者（86人）が多く存在する。放置者や中断者に医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ、生活習慣病の重症化を予防する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病予防対策事業</li> </ul>
<p>◆糖尿病性腎症重症化予防 人工透析に至ってしまった患者の半数以上がⅡ型糖尿病が起因である（平成28年度 50人中29人）。また中分類疾病の分析では3年連続で医療費の高い疾病の3位に糖尿病が上がっている。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。腎症以外の合併症も併発し、医療費が高額となると同時に患者のQOLの低下が問題となる。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができる考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病性腎症重症化予防事業</li> </ul>
<p>◆重複・頻回受診者、重複服薬者 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在している（平成28年度 重複受診者136人、頻回受診者274人、重複服薬者381人）。それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診行動適正化指導</li> </ul>
<p>◆ジェネリック医薬品の普及率 直近の普及率（数量ベース）は、70.13%で、国が定める目標（80%以上）と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェネリック医薬品差額通知</li> </ul>
<p>◆薬剤併用禁忌 多数の薬剤併用禁忌対象者が存在する（平成28年度 591人）。薬剤師会や医療機関等と連携しながらお薬手帳の啓発活動や、講演会を開催し、健康被害の減少を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤併用禁忌防止</li> </ul>
<p>◆COPDの状況 COPDの潜在患者が多く存在する（平成28年度 推定4,480人）。COPDは重症化とともに併存する生活習慣病が重症化し、医療費が高額化する傾向にある。COPDの認知度を向上させるための啓発活動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・COPD啓発事業</li> </ul>
<p>◆ロコモティブシンドロームの現状 ロコモティブシンドロームの原因疾患となる疾病を持つ人が多く存在している（平成28年度 2,966人）。要介護状態の人を増やさないために、健康教室など、啓発活動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロコモティブシンドローム予防事業</li> </ul>



## 5. 保健事業実施計画

### (1) 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

事業名		事業目的	事業概要
特定健診にかかわる事業	特定健康診査未受診者対策事業	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査を受診していない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。
	医療機関特定健診の充実		集団検診以外での、特定健診を受診する機会の充実にを図る。
	ドック検診		30歳以上のドック検診利用者に対して検診費用の助成を実施し、特定健診の受診機会の充実にを図る。
特定保健指導事業		被保険者の生活習慣病予防	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。
若年者健診事業 (生活習慣病の一次予防に重点を置いた取り組み)		健診受診の意識付け及び生活習慣病予防	30歳代の国民健康被保険者を対象に、特定健康診査に準ずる健康診査を実施する。
健康づくり事業 (ポピュレーションアプローチ)		生活習慣病等の知識普及啓発	生活習慣病予防及び生活習慣改善に取り組める意識・意欲の向上を図るために、健康教室等の開催及び健康情報の提供をする。
生活習慣病予防対策事業		特定健診後の未治療者や治療中断者等への医療機関受診勧奨	特定健診結果で、生活習慣病有所見者の未治療者及び治療中断者への受診勧奨及び指導を実施する。
糖尿病性腎症重症化予防事業		糖尿病性腎症患者の病期進行阻止	特定健康診査の検査値とレセプトの治療状況から対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けられるよう専門職より対象者個人におおよそ6カ月間の面談指導と電話指導等をかかりつけ医と連携しながら行う。
受診行動適正化指導事業 (重複・頻回受診、重複服薬)		重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

実施内容	目標値	
	アウトプット	アウトカム
平成30年度～平成35年度		
対象者を選定し、各階層毎の内容別に応じた受診勧奨を実施する。医療機関と連携をとり、治療中の人への検診受診勧奨を積極的に実施する。	対象者へのあらゆる方法での情報提供を実施することにより、周知徹底を図る。	特定健康診査受診率35%を目指す。35%以降は、順次増加を目指す（最終目標60%）。
関係機関と連携し、個別契約の医療機関数を増やす。	対象者への周知の徹底 医療機関への協力依頼	
30歳以上の被保険者のドック検診利用者に検診費用の助成を実施する。	特定健診受診の機会の拡大	
特定健診の結果から、動機付け支援及び積極的支援に階層化された者に対して、自らが特定健診の結果を理解し、生活習慣改善のための行動目標を設定し、実践できるよう支援する。	対象者へあらゆる方法でアプローチすることにより、指導実績の向上を図る。	特定保健指導率25%を目指す。25%以降は、順次増加を目指す（最終目標60%）。
30歳代の国民健康保険被保険者を対象に、健診受診の意識づけをし、更に保健指導を実施することにより、健康意識の向上及び生活習慣病の予防、疾病の早期発見・早期治療を目的に実施する。	対象者への受診通知率 100%	健診受診の周知により、受診者数を増加させる。
①生活習慣病予防対策として、高血圧や糖尿病等の講演会や健康相談を実施する。 ②高血圧予防対策として、関連各課及び団体と協力し、栄養及び運動教室を数回実施する。 ③①、②の取組みにより地域の現状を周知啓発し、市民自らが生活習慣改善に取り組めるよう支援する。	生活習慣病予防のため、講演会等各種事業を展開し、参加者数を増加させる。	市民自らが健康づくりを意識し、健康増進事業へ参加することを支援する。
左記に同じ	対象者への受診勧奨率 100%	対象者の医療機関受診率を増加させる
指導対象者に対して個人プログラムのもと適切な保健指導を行う。 指導後に健康診査データ、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認する。	個人プログラム達成率 40% 個人プログラム達成者のうち 生活習慣改善率 50%	指導完了者の糖尿病性腎症における病期進行者を増加させない
重複・頻回受診者及び重複服薬者に対する訪問指導を実施し、医療費の適正化を図るとともに、被保険者の心身機能の低下防止及び健康の保持増進を図る。	指導対象者の指導実施率 80%	指導対象者のうち、重複・頻回受診者、重複服薬者 20% 減少

事業名	事業目的	事業概要
ジェネリック 医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率 向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。
薬剤併用禁忌防止事業	薬剤併用禁忌の周知を図る	レセプトデータから、薬剤併用禁忌の発生状況を確認の上、周知方法を検討し、講演会等を開催する。
COPD啓発事業	COPDの認知度の普及	COPDの認知度向上を目指し、健診会場で禁煙指導及びチラシ配付や健康講座を実施する。
ロコモティブシンド ローム予防事業	ロコモティブシンドロームの啓 発と予防	要介護状態の予防を目指し、チラシの配付や健康教室等を通し、ロコモティブシンドロームを広く市民に啓発する。

実施内容	目標値	
	アウトプット	アウトカム
平成30年度～平成35年度		
年2回程度実施。対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果測定の結果確認後、継続を検討する。	対象者への通知率 100%	通知対象者のジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 20%
薬剤師会と連携し、市民を対象にお薬手帳の活用や薬剤併用禁忌について講演会等を開催することで知識を普及する。	薬剤併用禁忌防止のための講演会等を展開し、参加者数を増加させる	市民自らが薬剤併用禁忌について意識できるよう支援する。
健診会場にて禁煙指導とチラシを配付する。健康講座の実施。	COPDを知っている人の割合	特定健診受診者における知っている人の割合を増加させる。
健診会場にてチラシの配付をする。健康教室の実施。	ロコモを知っている人の割合	特定健診受診者における知っている人の割合を増加させる。

## (2) 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

### <特定健診にかかわる事業>

#### ①特定健康診査未受診者対策事業

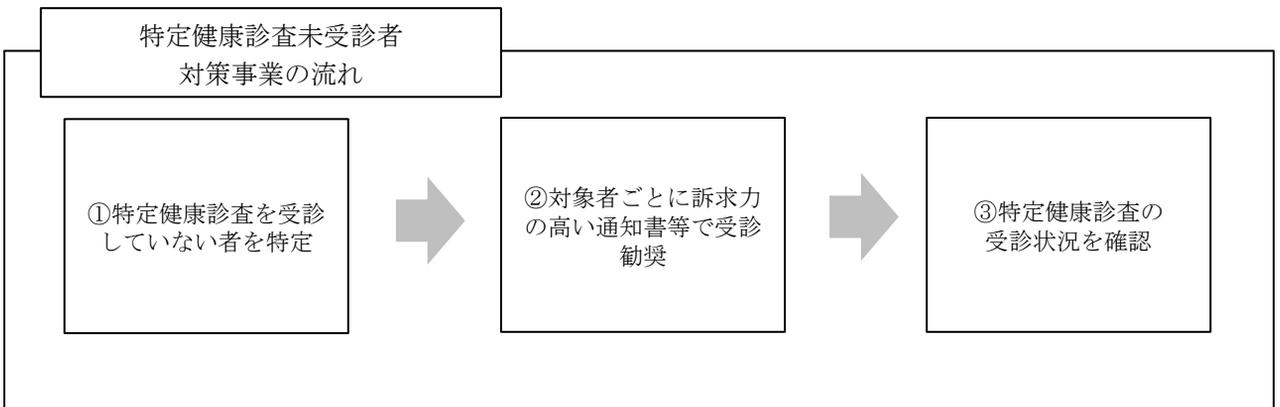
##### 【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

##### 【事業概要】

特定健診を受診していない人に、健康保持・増進のために健診受診の必要があることおよび生活習慣病予防の観点から健診を受診するように個別通知を行う。

##### 【実施内容】



##### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者へのあらゆる方法での情報提供を実施することにより、周知徹底を図る	特定健康診査受診率35% (最終目標60%)	特定健康診査受診率を確認する。

## ②医療機関特定健診の充実

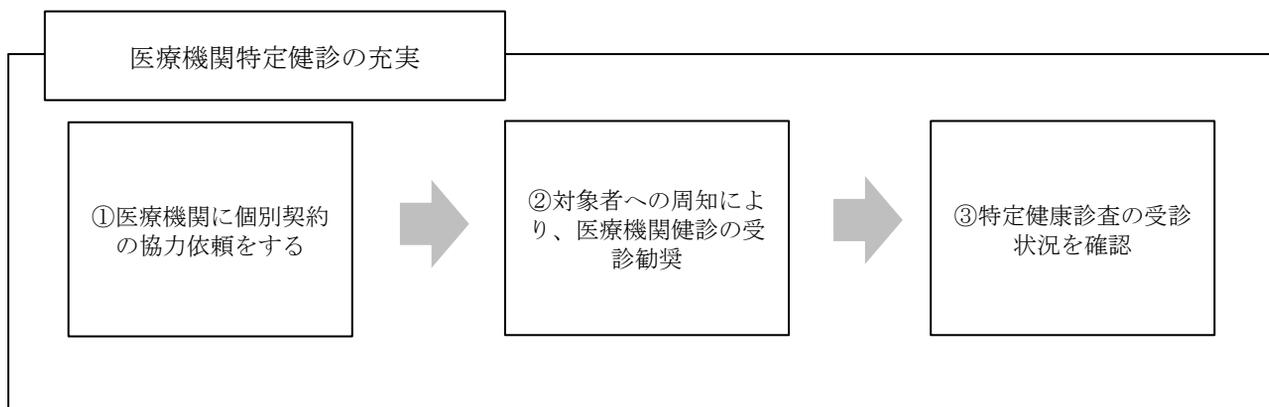
### 【事業目的】

特定健診受診率の向上

### 【実施概要】

集団検診以外での、特定健診を受診する機会の充実を図る。

### 【実施内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への周知徹底 医療機関への協力依頼	特定健康診査受診率 35% (最終目標60%)	特定健康診査受診率を確認する。

### ③ドック検診

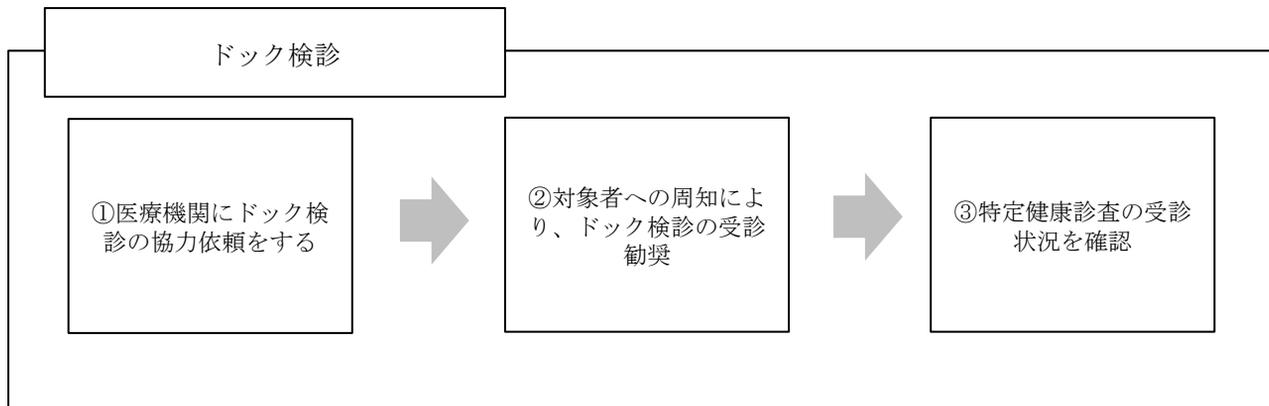
#### 【事業目的】

特定健診受診率の向上

#### 【実施概要】

特定健康診査の受診機会の充実を図るため、30歳以上のドック検診利用の方に、健診費用の助成を実施する。

#### 【実施内容】



#### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への周知徹底 ドック検診機関への協力依頼	特定健康診査受診率 35%	特定健康診査受診率を確認する。

#### ④特定保健指導事業

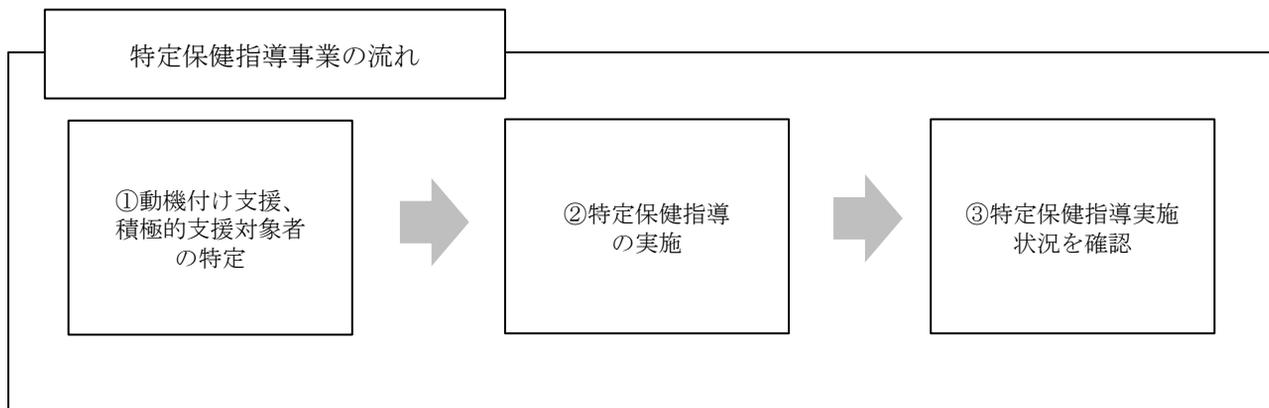
##### 【事業目的】

被保険者の生活習慣病予防

##### 【事業概要】

特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。

##### 【事業内容】



##### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
対象者へのアプローチ	特定保健指導率 25% (最終目標60%)	特定保健指導率を確認する。

## ⑤若年者健診事業（生活習慣病一次予防に重点を置いた取り組み）

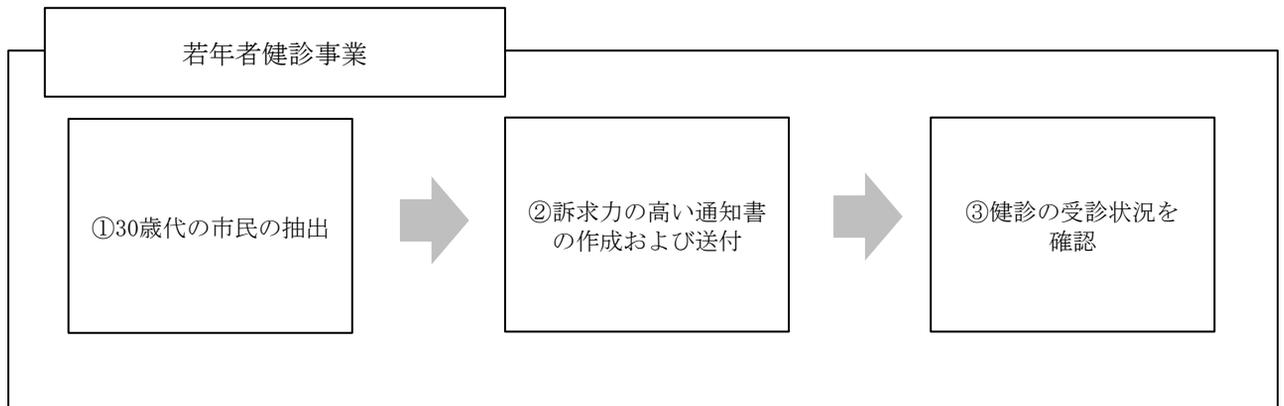
### 【事業目的】

特定健診の対象者となる前から健診受診の意識づけや定着化を図り、生活習慣病予防及び疾病の早期発見・早期治療につなげる。

### 【実施概要】

特定健診前の30歳代の市民を対象に、特定健診に準ずる健康診査を実施する。

### 【実施内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への受診券の通知率 100%	健診受診の周知による受診者数の増加	健診終了後の受診者数の確認

## ⑥健康づくり事業（ポピュレーションアプローチ）

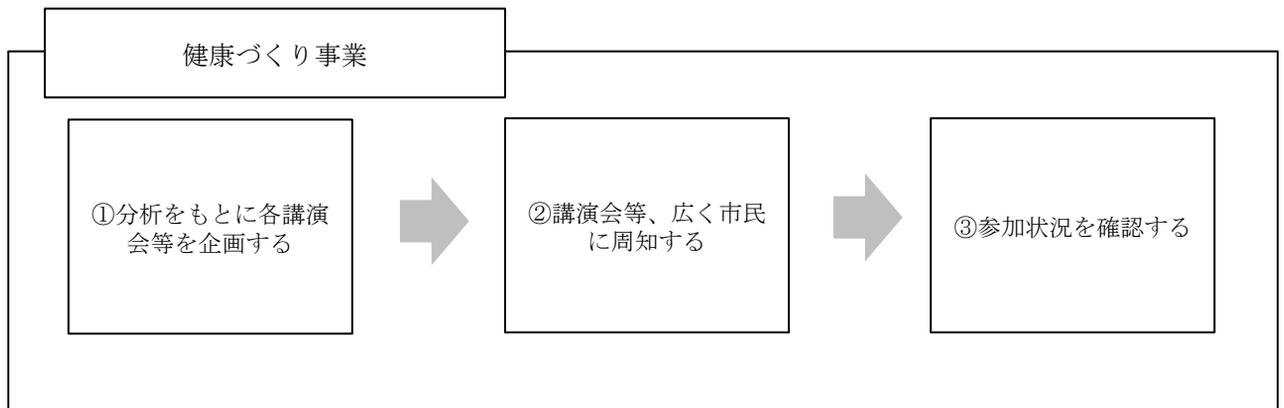
### 【事業目的】

生活習慣病等について正しい知識の普及

### 【実施概要】

生活習慣病予防対策や高血圧予防対策として、講演会や関連各課及び団体と協力し、各種事業への参加を促す。それとともに、地域の現状を広報やチラシ等で周知啓発し、市民自らが生活習慣改善に取り組めるよう支援する。

### 【実施内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
生活習慣病予防のため、教室や講演会等各種事業への参加者を増加させる	健康増進事業へ参加することを支援する	講演会等への参加状況を確認する

## ⑦生活習慣病予防事業

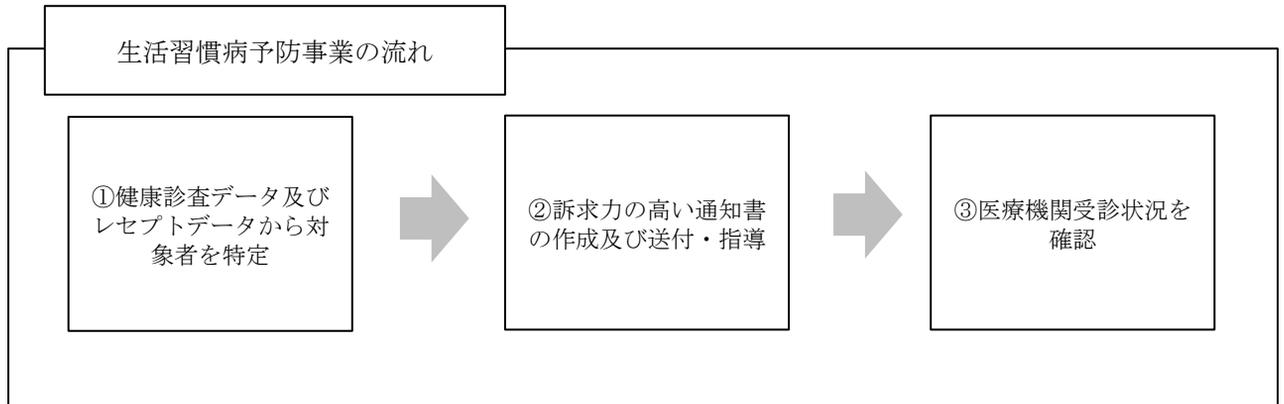
### 【事業目的】

特定健診後の未治療者や治療中断者等への医療機関受診勧奨

### 【実施概要】

特定健診後で生活習慣病有所見者の未治療者及び治療中断者への受診勧奨及び指導を実施する。

### 【実施内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への受診勧奨知率 100%	医療機関への受診率を増加させる	医療機関受診状況を確認する

## ⑧糖尿病性腎症重症化予防事業

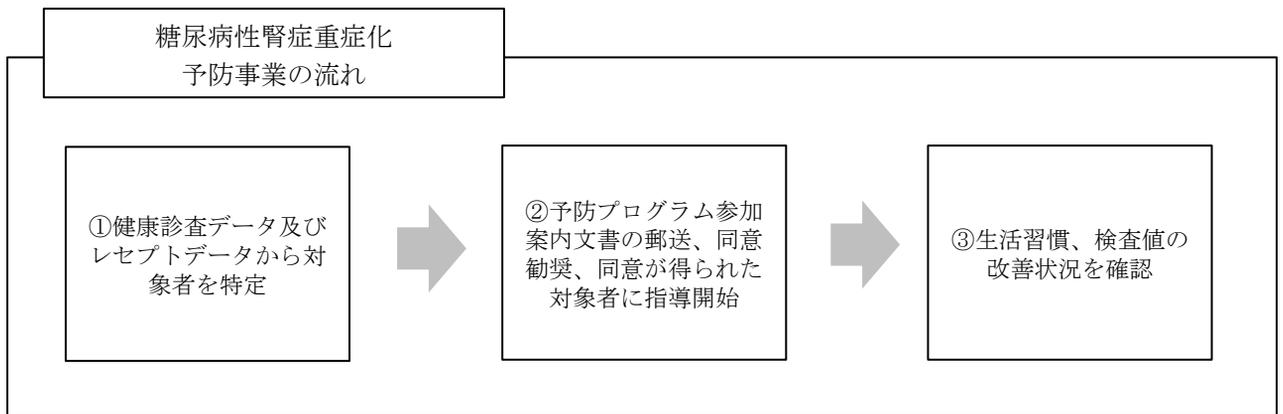
### 【事業目的】

糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

### 【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるよう、かかりつけ医と連携しながら専門職より対象者におおよそ6カ月間の面談指導と電話指導等を行う。また、県の糖尿病対策推進会議等と連携し事業を進める。

### 【実施内容】



### 【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
<ul style="list-style-type: none"><li>個人プログラム達成率 40%</li><li>個人プログラム達成者のうちの生活習慣改善率 50%</li></ul>	指導完了者の糖尿病性腎症における病期進行者を抑制	指導後の結果から生活習慣や検査値の改善状況を確認する

## ⑨受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)

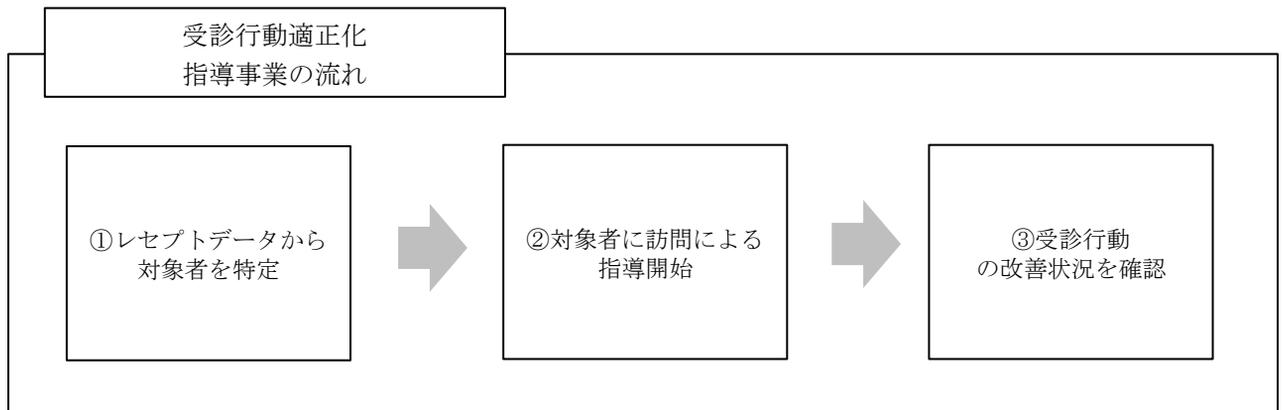
### 【事業目的】

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

### 【実施概要】

レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

### 【実施内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 80% 以上	指導対象者のうち、重複・頻回受診者、重複服薬者 20% 減少	指導後の医療機関受診状況及び服薬状況を確認する

## ⑩ジェネリック医薬品差額通知事業

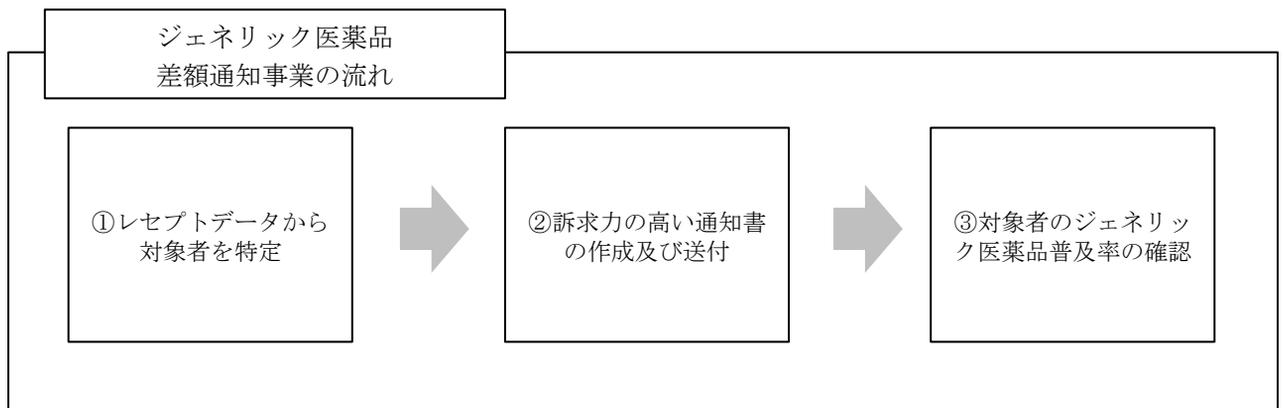
### 【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

### 【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。年2回程度、通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

### 【実施内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	通知対象者のジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 20%	通知前後のジェネリック医薬品普及率(数量ベース)を確認する

## ⑪薬剤併用禁忌防止事業

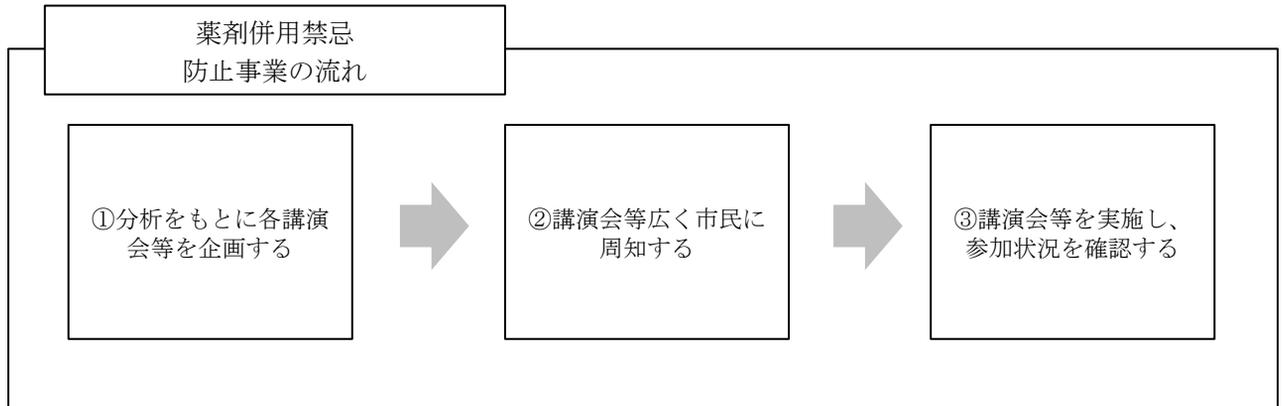
### 【事業目的】

薬剤併用禁忌の周知を図る。

### 【事業概要】

レセプトデータから、薬剤併用禁忌の発生状況を確認の上、周知方法を検討し、講演会等を開催する。

### 【実施内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
薬剤併用禁忌のための講演会等を展開し、参加者数を増加させる	薬剤併用禁忌について意識できるよう支援する	講演会参加状況を確認

## ⑫COPD啓発事業

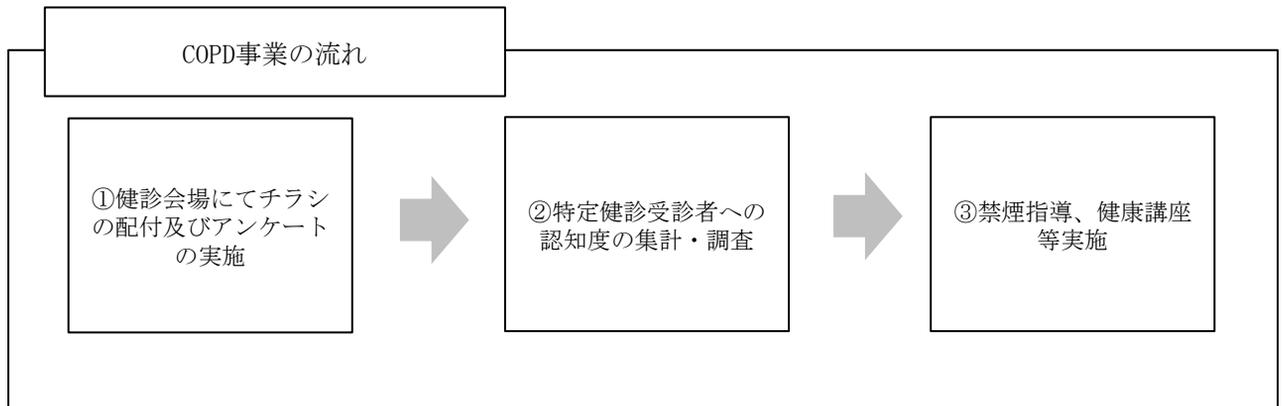
### 【事業目的】

COPDの認知度の普及

### 【事業概要】

COPDの認知度向上をめざし、健診会場で禁煙指導及びチラシ配付や健康講座を実施する。

### 【実施内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
COPDを知っている人の割合	知っている人の割合を増加させる	特定健診受診者の認知度を確認する

### ⑬ ロコモティブシンドローム予防事業

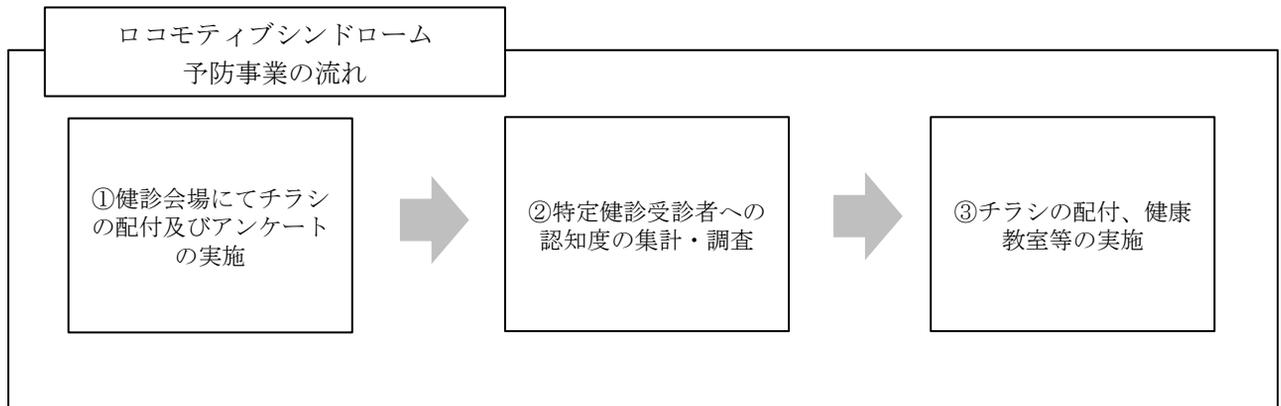
#### 【事業目的】

ロコモティブシンドロームの啓発と予防

#### 【事業概要】

要介護状態の予防を目指し、チラシの配付や健康教室等を通し、ロコモティブシンドロームを広く市民に啓発する。

#### 【実施内容】



#### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

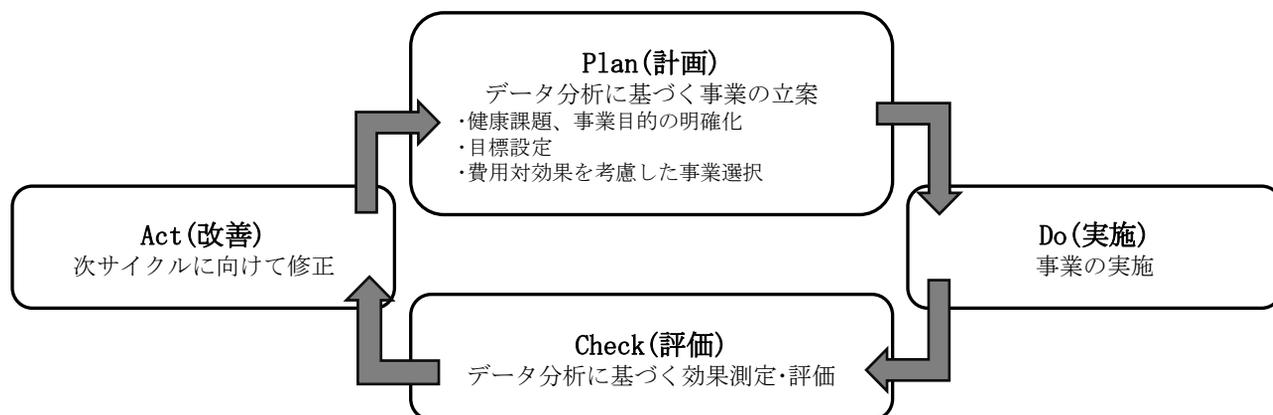
アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
ロコモを知っている人の割合	知っている人の割合を増加させる	特定健診受診者へ認知度を確認する

## 6. その他

### (1) データヘルス計画の見直し

#### ① 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととし、達成状況により必要に応じて次年度の実施計画の見直しを行う。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

#### ② 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

### (2) 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

### (3) 事業運営上の留意事項

保健事業の推進に当たっては、一般衛生部門等との連携が重要になる。地域全体の健康課題を底上げするためのポピュレーションアプローチの実施等は一般衛生部門との連携により事業を実施する。また、生活習慣病の合併症は、要介護状態の原因疾患になることも多いため、65歳以上の前期高齢者に関する事業は、介護部門と連携する。

### (4) 個人情報保護

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

## (5) 地域包括ケアに係る取り組み及びその他留意事項

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、福祉サービス等を総合的、包括的に提供するため地域包括ケアの充実を図り、介護・福祉部門全般と連携する。また、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組む。

## 第3章

### 第3期特定健康診査等実施計画

# 1. 計画策定にあたって

## (1) 計画策定の趣旨

近年、急速な少子高齢化、経済の低成長への移行、国民生活や意識の変化など、大きな環境変化に直面し、医療制度を今後も持続していくための構造改革が急務となっている。

このような状況に対応するため、健康と長寿を確保しつつ、医療費の伸びの抑制にもつながることから、生活習慣病を中心とした疾病予防を重視することとし、高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号。以下「法」という。）に基づき、被保険者に対し生活習慣病に関する健康診査及び保健指導を実施することとした。

また、法第19条において、「保険者は、特定健康診査等基本指針に即して、五年ごとに、五年を一期として、特定健康診査等の実施に関する計画を定めるものとする。」とあり、策定した第2期特定健康診査等実施計画の見直しを行うと共に、第3期特定健康診査等実施計画を策定する。

常総市国民健康保険においては、上記の要件に沿って平成30年度から平成35年度を第3期特定健康診査等実施計画期間とし、特定健康診査・特定保健指導を効率的かつ効果的に実施する。

レセプトを用いた現状分析は、株式会社データホライゾンの医療費分解技術、傷病管理システム、レセプト分析システムおよび分析方法を用いて行うものとする。

※医療費分解技術(特許第4312757号)	レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。
※傷病管理システム(特許第5203481号)	レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。
※レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号)	中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

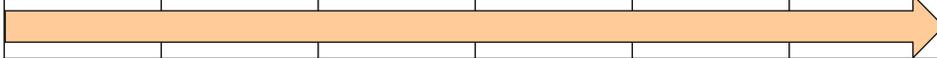
## (2) 特定健康診査等実施計画の位置づけ

法第18条を踏まえるとともに、「都道府県健康増進計画」、「市町村健康増進計画」及び「データヘルス計画」で用いた評価指標を用いるなど、それぞれの計画との整合性を図る必要がある。

### (3) 計画期間

第1期特定健康診査等実施計画及び第2期特定健康診査等実施計画は5年を一期としていたが、医療費適正化計画が6年一期に見直されたことを踏まえ、第3期特定健康診査等実施計画からは6年を一期として策定する(特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)より)。なお、計画期間は平成30年度から平成35年度とする。

#### ■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

#### ■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ  
平成26年度～平成28年度(3年分)
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト  
単年分析  
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)  
年度分析  
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)  
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)  
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
- ・ 健康診査データ  
単年分析  
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)  
年度分析  
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)  
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)  
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)

## 2. 特定健康診査の実施状況

### (1) 特定健康診査の受診率

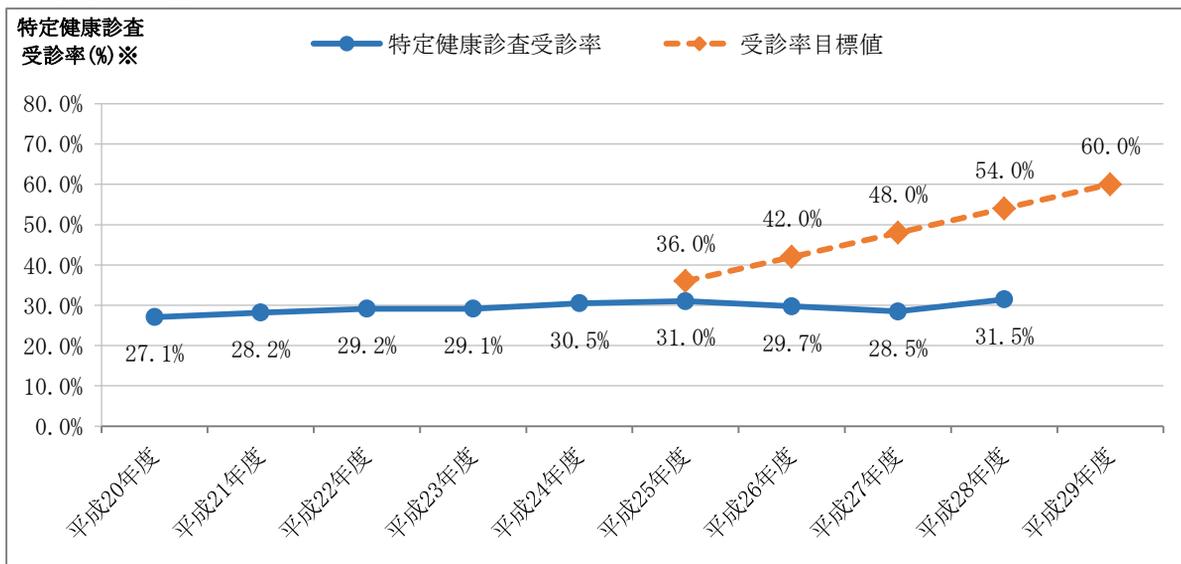
平成20年度から平成28年度における、特定健康診査の受診状況等は以下の通りである。

#### 特定健康診査受診率及び目標値

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
特定健康診査対象者数(人)	13,334	13,628	13,552	13,426	13,459
特定健康診査受診者数(人)	3,608	3,842	3,951	3,911	4,103
特定健康診査受診率(%)※	27.1%	28.2%	29.2%	29.1%	30.5%
受診率目標値(%)	-	-	-	-	-
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
特定健康診査対象者数(人)	13,269	12,956	12,717	12,197	-
特定健康診査受診者数(人)	4,116	3,852	3,619	3,837	-
特定健康診査受診率(%)※	31.0%	29.7%	28.5%	31.5%	-
受診率目標値(%)	36.0%	42.0%	48.0%	54.0%	60.0%

特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値。  
 ※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

#### 特定健康診査受診率及び目標値



特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値。  
 ※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

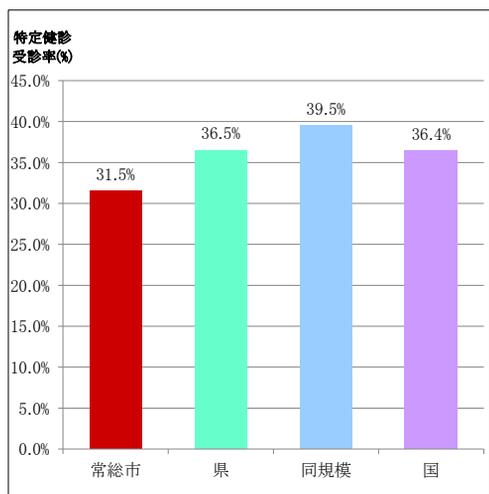
次に、国保データベース(KDB)システムより集計した結果を示す。平成28年度における、特定健康診査の受診率は以下の通りである。受診率は、県・同規模・国より下回っている。

### 特定健康診査受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
常総市	31.5%
県	36.5%
同規模	39.5%
国	36.4%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

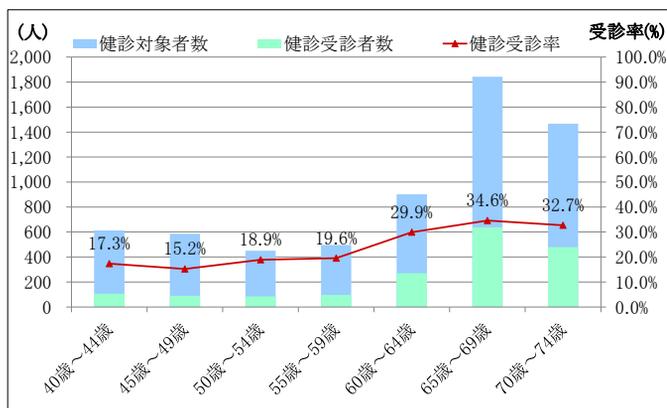
### 特定健康診査受診率(平成28年度)



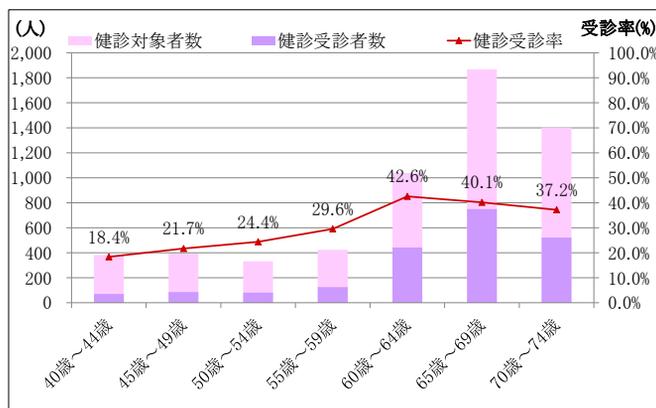
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別・年齢階層別特定健康診査受診率をみると、男女ともに年代が高いほど受診率が高い傾向がある。

### (男性)年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



### (女性)年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

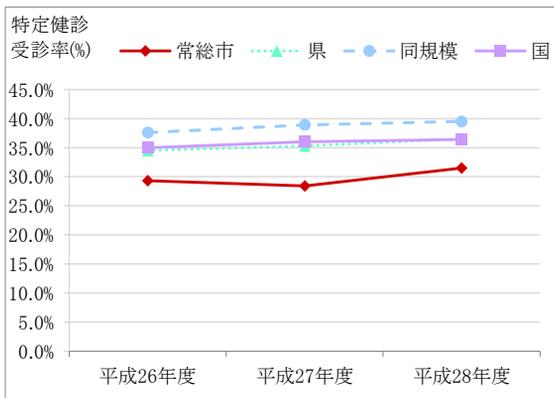
平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成28年度の特定健康診査受診率31.5%は平成26年度29.3%より2.2ポイント上昇している。

### 年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<b>常総市</b>	<b>29.3%</b>	<b>28.4%</b>	<b>31.5%</b>
県	34.5%	35.3%	36.5%
同規模	37.6%	38.9%	39.5%
国	35.0%	36.0%	36.4%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

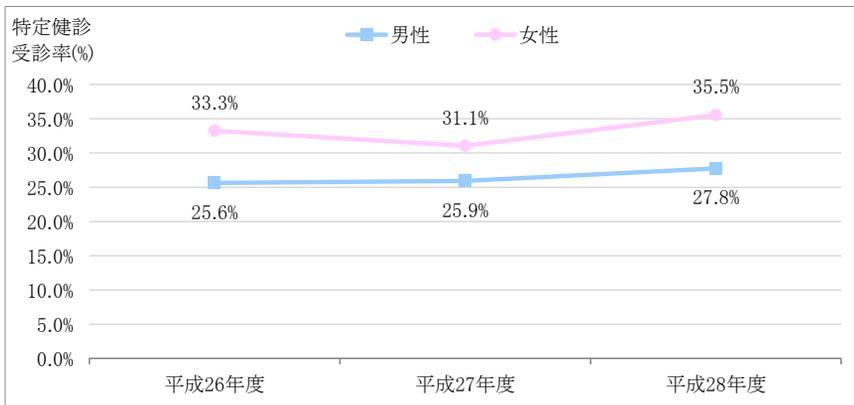
### 年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率27.8%は平成26年度25.6%より2.2ポイント上昇し、女性の平成28年度受診率35.5%も平成26年度33.3%より2.2ポイント上昇している。

### 年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

## (2) 特定健康診査に係る主な取り組み

特定健康診査に係る、これまでの主な取り組みを以下に示す。

実施年度	取り組み	目的	概要	実施状況
平成25年度～平成29年度	特定健康診査未受診者への受診勧奨	特定健康診査の受診率向上	未受診者を対象に、ハガキ・封書にて受診を再勧奨する。	平成25年 当課：アンケート兼ねて封書で受診勧奨。 健診もれ者ハガキ(1回)にて受診勧奨。 平成26年 当課：封書(4回)にて受診勧奨。 平成27年 事業所委託：ハガキ(1回)にて受診勧奨。 事業所委託：封書(1回)にて受診勧奨。 平成28・29年 事業所委託：未受診者ハガキ(2回)＋電話にて受診勧奨。
平成27年度～平成29年度	若年層への健康及び生活習慣病予防の普及啓発	若年層の健康水準の向上	若年層向けに、健診を実施し、結果に応じて電話によるフォローも実施する。	平成27年 39歳国保加入者にプレメタボ健診実施。 平成28・29年 年齢拡大し、37～39歳国保加入者にプレメタボ健診実施。 データの悪い者にフォローの電話かけを実施。
平成25年度～平成29年度	個別健診の実施	特定健康診査の受診率向上	個別健診を実施し、受診機会の拡大に努める。	ドック検診助成(平成29年現在、17医療機関で実施) 平成25年 個別健診開始 集合契約医療機関で実施。 平成26年 集合契約医療機関で実施。(72名受診) 平成27年 集合契約＋個別契約の医療機関で実施。(155名受診) 平成28年 集合契約＋個別契約の医療機関で実施。(315名受診) 平成29年 集合契約＋個別契約の医療機関で実施。

### (3) 特定健康診査結果の分析

#### ① 有所見者割合

平成26年度から平成28年度における、特定健康診査受診者の有所見者割合を、年度別に以下に示します。

#### 年度別 有所見者割合

		男性			女性		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
BMI	対象者数(人) ※	1,868	1,817	1,889	2,204	1,996	2,228
	有所見者数(人) ※	610	568	633	535	495	534
	有所見者割合(%) ※	32.7%	31.3%	33.5%	24.3%	24.8%	24.0%
腹囲	対象者数(人) ※	1,868	1,817	1,889	2,204	1,996	2,228
	有所見者数(人) ※	924	905	987	398	353	392
	有所見者割合(%) ※	49.5%	49.8%	52.2%	18.1%	17.7%	17.6%
収縮期血圧	対象者数(人) ※	1,868	1,817	1,889	2,204	1,996	2,228
	有所見者数(人) ※	933	923	927	893	812	951
	有所見者割合(%) ※	49.9%	50.8%	49.1%	40.5%	40.7%	42.7%
拡張期血圧	対象者数(人) ※	1,868	1,817	1,889	2,204	1,996	2,228
	有所見者数(人) ※	482	456	523	289	273	307
	有所見者割合(%) ※	25.8%	25.1%	27.7%	13.1%	13.7%	13.8%
中性脂肪	対象者数(人) ※	1,868	1,817	1,889	2,204	1,996	2,228
	有所見者数(人) ※	558	546	548	518	435	505
	有所見者割合(%) ※	29.9%	30.0%	29.0%	23.5%	21.8%	22.7%
HDLコレステロール	対象者数(人) ※	1,868	1,817	1,889	2,204	1,996	2,228
	有所見者数(人) ※	158	154	150	54	44	53
	有所見者割合(%) ※	8.5%	8.5%	7.9%	2.5%	2.2%	2.4%
LDLコレステロール	対象者数(人) ※	1,868	1,817	1,889	2,204	1,996	2,228
	有所見者数(人) ※	822	868	848	1,215	1,188	1,228
	有所見者割合(%) ※	44.0%	47.8%	44.9%	55.1%	59.5%	55.1%
空腹時血糖	対象者数(人) ※	1868	1817	1889	2204	1996	2228
	有所見者数(人) ※	274	304	362	143	175	248
	有所見者割合(%) ※	14.7%	16.7%	19.2%	6.5%	8.8%	11.1%
HbA1c	対象者数(人) ※	1,868	1,817	1,889	2,204	1,996	2,228
	有所見者数(人) ※	1,228	1,148	1,175	1,578	1,343	1,466
	有所見者割合(%) ※	65.7%	63.2%	62.2%	71.6%	67.3%	65.8%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

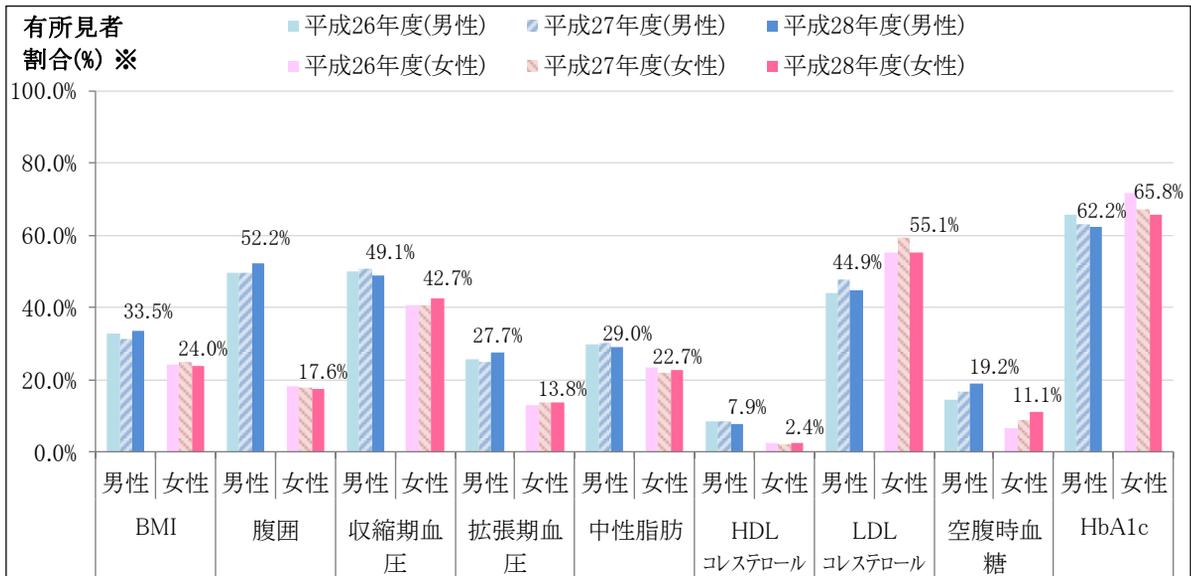
※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、  
 中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、  
 空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

## 年度別 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、  
 中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、  
 空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

## ②質問別回答状況

平成26年度から平成28年度における、特定健康診査受診者の喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する質問別回答状況を年度別に以下に示します。

### 年度別 回答状況

			男性			女性		
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
喫煙習慣	喫煙あり	質問回答者数(人) ※	1,868	1,817	1,889	2,204	1,996	2,228
		選択者数(人) ※	481	489	492	113	109	123
		選択者割合(%) ※	25.7%	26.9%	26.0%	5.1%	5.5%	5.5%
運動習慣	1回30分以上の運動習慣なし	質問回答者数(人) ※	1,868	1,817	1,889	2,204	1,996	2,228
		選択者数(人) ※	309	315	367	305	309	420
		選択者割合(%) ※	16.5%	17.3%	19.4%	13.8%	15.5%	18.9%
	1日1時間以上の身体活動なし	質問回答者数(人) ※	1,868	1,817	1,889	2,204	1,996	2,228
		選択者数(人) ※	307	314	363	320	321	430
		選択者割合(%) ※	16.4%	17.3%	19.2%	14.5%	16.1%	19.3%
食習慣	週3回以上就寝前に夕食	質問回答者数(人) ※	1,868	1,817	1,889	2,204	1,996	2,228
		選択者数(人) ※	92	78	112	39	39	67
		選択者割合(%) ※	4.9%	4.3%	5.9%	1.8%	2.0%	3.0%
	週3回以上夕食後に間食	質問回答者数(人) ※	1,868	1,817	1,889	2,204	1,996	2,228
		選択者数(人) ※	72	65	77	68	69	89
		選択者割合(%) ※	3.9%	3.6%	4.1%	3.1%	3.5%	4.0%
飲酒習慣	毎日飲酒する	質問回答者数(人) ※	1,852	1,748	1,880	2,188	1,927	2,212
		選択者数(人) ※	931	864	891	157	163	177
		選択者割合(%) ※	50.3%	49.4%	47.4%	7.2%	8.5%	8.0%
生活習慣	改善するつもりなし	質問回答者数(人) ※	516	518	611	465	463	620
		選択者数(人) ※	170	155	181	90	87	124
		選択者割合(%) ※	32.9%	29.9%	29.6%	19.4%	18.8%	20.0%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

喫煙あり

…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

1回30分以上の運動習慣なし

…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

1日1時間以上の身体活動なし

…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

週3回以上就寝前に夕食

…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

週3回以上夕食後に間食

…「夕食後に間食(3食以外の夕食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

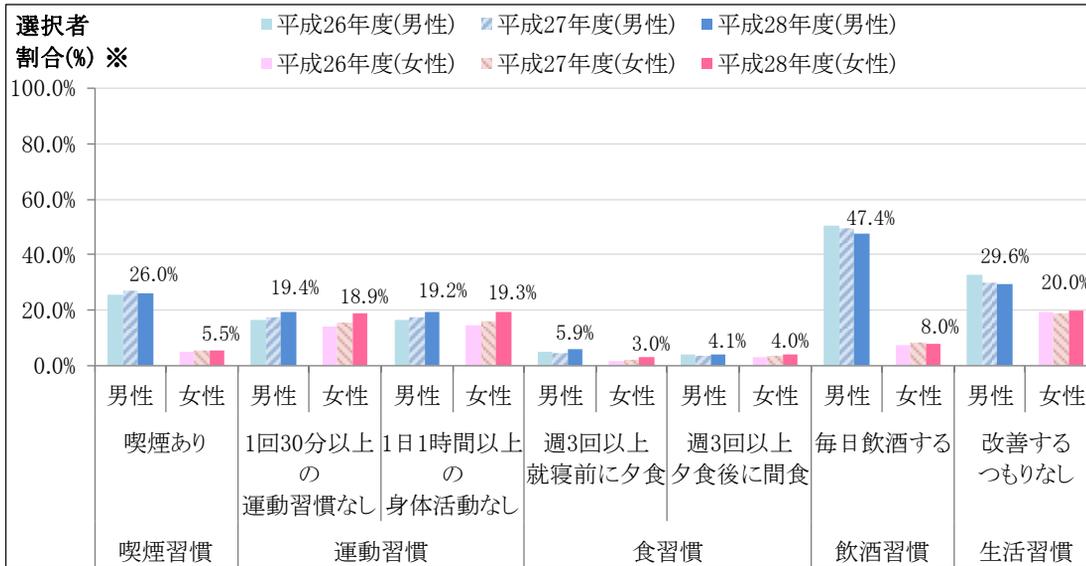
毎日飲酒する

…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。

改善するつもりなし

…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

## 年度・質問別 選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夕食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

### ③特定健康診査の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況

特定健康診査受診状況別に、生活習慣病の医療機関受診状況を分析した結果を以下に示す。特定健康診査受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査受診者全体の57.5%である。特定健康診査未受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査未受診者全体の54.2%である。

#### 特定健康診査受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況

	人数(人)	構成比(%)	生活習慣病医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
健診受診者	3,806	31.0%	2,708,875	174,773,375	177,482,250
健診未受診者	8,477	69.0%	19,889,356	453,303,315	473,192,671
合計	12,283		22,598,231	628,076,690	650,674,921

	生活習慣病患者数 ※						生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
	入院		入院外		合計 ※		入院	入院外	合計
	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)			
健診受診者	80	2.1%	2,181	57.3%	2,190	57.5%	33,861	80,135	81,042
健診未受診者	368	4.3%	4,563	53.8%	4,597	54.2%	54,047	99,343	102,935
合計	448	3.6%	6,744	54.9%	6,787	55.3%	50,442	93,131	95,871

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

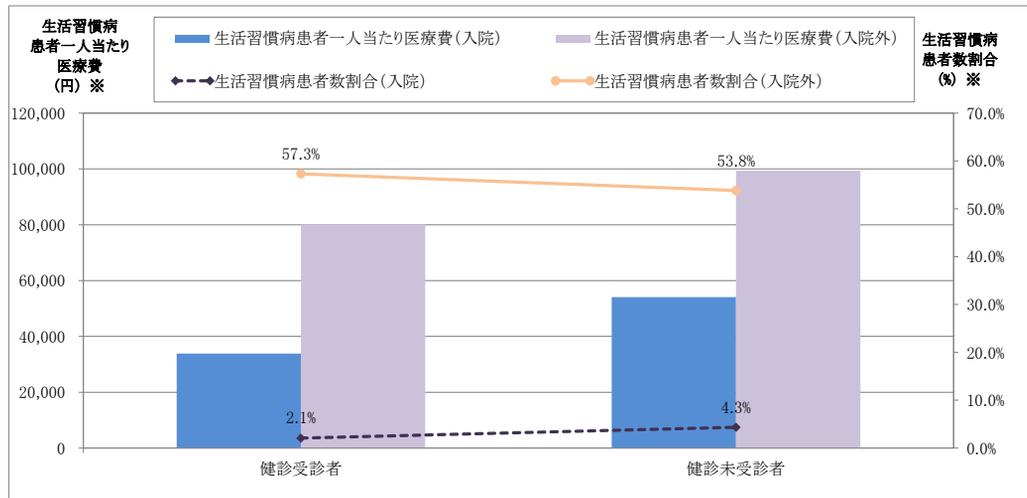
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)全てに資格がある被保険者を対象とする。

※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。

※生活習慣病患者数の合計…入院、入院外の区分けなく集計した実人数。

#### 特定健康診査受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)全てに資格がある被保険者を対象とする。

※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。

## (4) 特定健康診査実施状況に基づく課題と対策

課題と対策は以下の通りである。

### ◆特定健康診査受診率

平成28年度特定健康診査受診率31.5%は、市町村国保の平成29年度到達目標値60%に未到達である。受診率向上を目指し、受診勧奨の取り組みをさらに行う必要がある。

※KDBより算出

### ◆有所見者の状況

HbA1c、LDLコレステロール、収縮期血圧の有所見者割合が高い。特定健康診査の結果を活用することで被保険者に生活習慣を見直すきっかけを提供し、生活習慣病を予防する。

※健康診査データより算出

### ◆質問票の回答状況

喫煙習慣では「喫煙あり」14.9%、飲酒習慣では「毎日飲酒する」25.9%、生活習慣では「改善するつもりなし」7.4%である。ポピュレーションアプローチで生活習慣改善を促す取り組みが必要である。

※健康診査データより算出

### 3. 特定保健指導の実施状況

#### (1) 特定保健指導の実施率

平成20年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況等は以下の通りである。

##### 特定保健指導実施率及び目標値

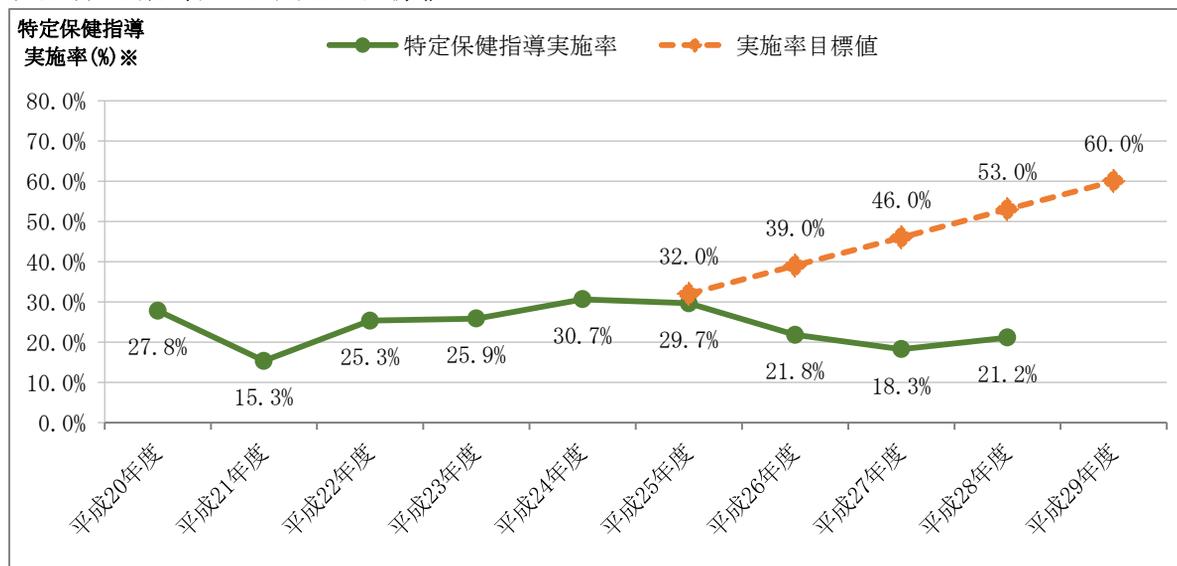
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
特定保健指導対象者数(人)	755	704	659	607	665
特定保健指導利用者数(人)	360	165	211	223	279
特定保健指導実施者数(人)※	210	108	167	157	204
特定保健指導実施率(%)※	27.8%	15.3%	25.3%	25.9%	30.7%
実施率目標値(%)	-	-	-	-	-
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
特定保健指導対象者数(人)	583	586	520	567	-
特定保健指導利用者数(人)	248	170	165	157	-
特定保健指導実施者数(人)※	173	128	95	120	-
特定保健指導実施率(%)※	29.7%	21.8%	18.3%	21.2%	-
実施率目標値(%)	32.0%	39.0%	46.0%	53.0%	60.0%

特定保健指導対象者数、特定保健指導利用者数、特定保健指導実施者数、特定保健指導実施率は法定報告値。

※特定保健指導実施者数…特定保健指導を終了した人数。

※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導実施者の割合。

##### 特定保健指導実施率及び目標値



特定保健指導実施率は法定報告値。

※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導実施者の割合。

支援レベル別の特定保健指導の実施状況等は以下の通りである。

## 積極的支援実施状況

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
積極的支援対象者数(人)	280	272	246	229	231
積極的支援利用者数(人)	164	68	62	72	81
積極的支援実施者数(人)※	50	19	19	10	8
積極的支援実施率(%)※	17.9%	7.0%	7.7%	4.4%	3.5%
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
積極的支援対象者数(人)	209	183	146	151	-
積極的支援利用者数(人)	83	38	42	38	-
積極的支援実施者数(人)※	10	5	5	5	-
積極的支援実施率(%)※	4.8%	2.7%	3.4%	3.3%	-

積極的支援対象者数、積極的支援利用者数、積極的支援実施者数、積極的支援実施率は法定報告値。

※積極的支援実施者数…積極的支援を終了した人数。

※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合。

## 積極的支援実施状況



積極的支援実施率は法定報告値。

※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合。

## 動機付け支援実施状況

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
動機付け支援対象者数(人)	475	432	413	378	434
動機付け支援利用者数(人)	196	37	149	151	198
動機付け支援実施者数(人)※	160	89	148	147	196
動機付け支援実施率(%)※	33.7%	20.6%	35.8%	38.9%	45.2%

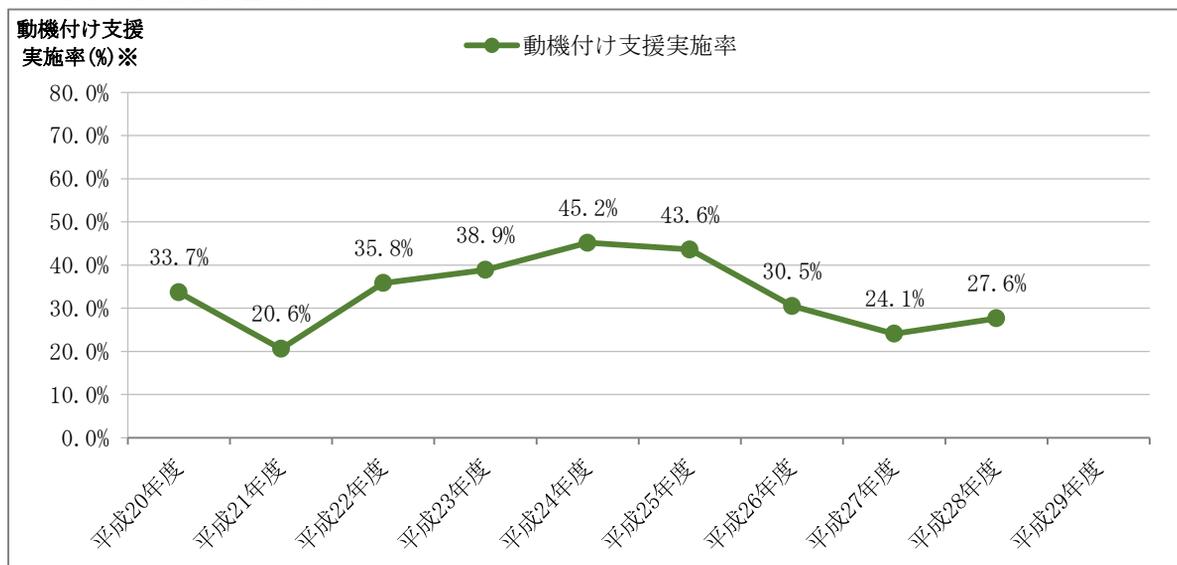
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
動機付け支援対象者数(人)	374	403	374	416	-
動機付け支援利用者数(人)	165	132	123	119	-
動機付け支援実施者数(人)※	163	123	90	115	-
動機付け支援実施率(%)※	43.6%	30.5%	24.1%	27.6%	-

動機付け支援対象者数、動機付け支援利用者数、動機付け支援実施者数、動機付け支援実施率は法定報告値。

※動機付け支援実施者数…動機付け支援を終了した人数。

※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合。

## 動機付け支援実施状況



動機付け支援実施率は法定報告値。

※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合。

次に、国保データベース(KDB)システムより集計した結果を示す。平成28年度における、特定保健指導の実施状況は以下の通りである。支援対象者は県・同規模・国より多く、特定保健指導の実施率は県・同規模より低い状況である。

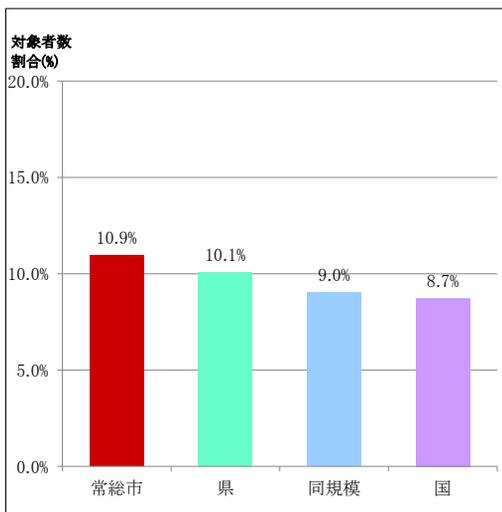
### 特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援対象者数割合	積極的支援対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導実施率
常総市	10.9%	4.0%	14.9%	21.2%
県	10.1%	4.0%	14.0%	28.8%
同規模	9.0%	2.9%	11.9%	30.2%
国	8.7%	3.2%	12.0%	21.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

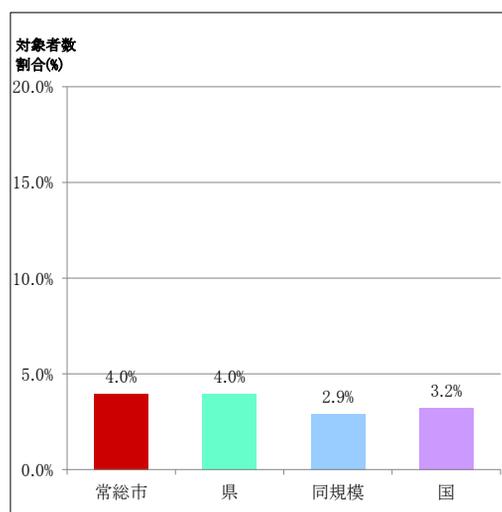
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」※常総市の特定保健指導実施率のみ法定報告値

### 動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



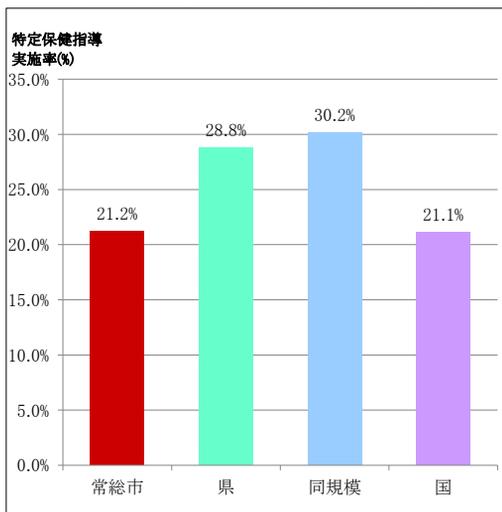
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

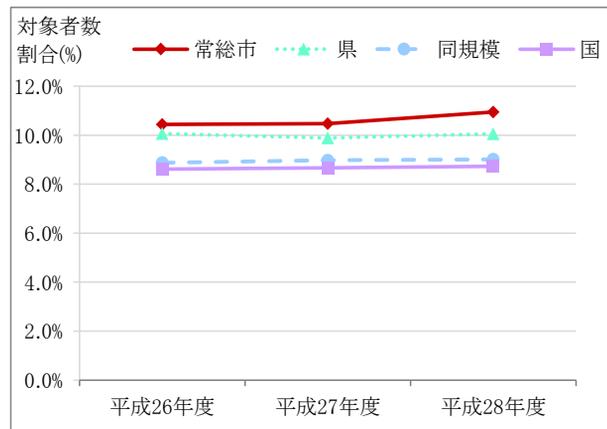
平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。平成28年度の特典保健指導実施率21.2%は平成26年度22.5%より1.3ポイント低下している。

### 年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
常総市	10.4%	10.5%	10.9%	4.7%	4.1%	4.0%	15.2%	14.6%	14.9%	22.5%	23.2%	21.2%
県	10.1%	9.9%	10.1%	4.3%	4.1%	4.0%	14.4%	14.0%	14.0%	26.7%	26.3%	28.8%
同規模	8.9%	9.0%	9.0%	3.2%	3.0%	2.9%	12.1%	12.0%	11.9%	26.7%	28.3%	30.2%
国	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	12.0%	19.9%	20.2%	21.1%

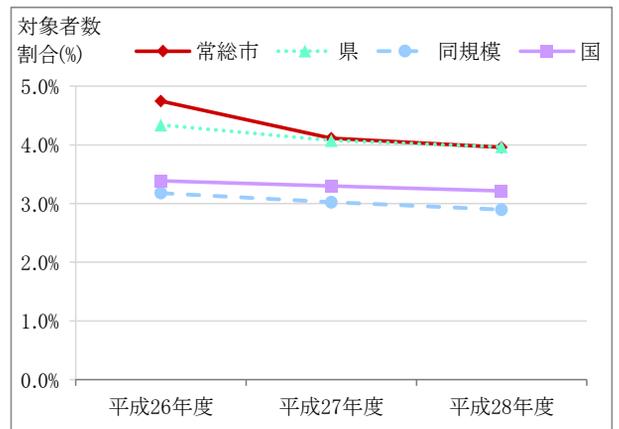
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。  
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」※常総市の平成28年度の特典保健指導実施率のみ法定報告値

### 年度別 動機付け支援対象者数割合



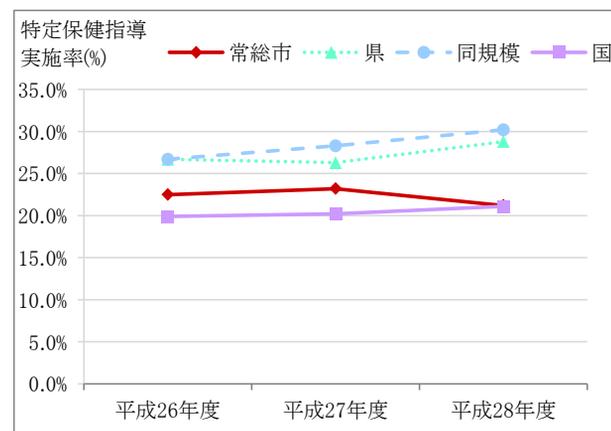
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 積極的支援対象者数割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 特定保健指導実施率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## (2) 特定保健指導に係る主な取り組み

特定保健指導に係る、これまでの主な取り組みを以下に示す。

実施年度	取り組み	目的	概要	実施状況
平成25年度～平成28年度	特定保健指導の休日開催	特定保健指導の実施率向上	休日健診を実施し、受診機会の拡大に努める。	平成28年まで実施するも、効果が上がらなかった為、現在は実施していない。
平成25年度～平成29年度	特定保健指導のPR	特定保健指導の実施率向上	特定保健指導の必要性について広く周知を図る。	広報やホームページにて実施。 チラシやポスター(健診会場)にて実施。

### (3) 特定保健指導の効果分析

特定保健指導の効果について、平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月)における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況より分析する。基準該当793人、予備群該当444人である。

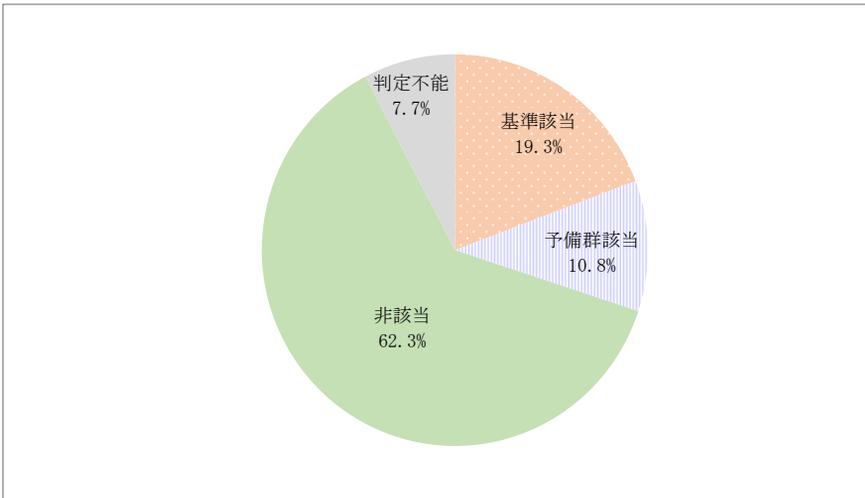
#### メタボリックシンドローム該当状況

	特定健康診査受診者	該当レベル			
		基準該当	予備群該当	非該当	判定不能
該当者数(人)	4,117	793	444	2,564	316
割合※(%)	-	19.3%	10.8%	62.3%	7.7%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

#### メタボリックシンドローム該当割合



データ化範囲(分析対象)…特定健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

#### ※メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク (①血糖 ②脂質 ③血圧)	該当状況
≥85cm (男性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≥90cm (女性)	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下の通りである。

①血糖：空腹時血糖が110mg/dl以上

②脂質：中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧：収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

平成26年度から平成28年度における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を年度別に示す。平成28年度基準該当19.3%は平成26年度19.0%より0.3ポイント上昇しており、平成28年度予備群該当10.8%は平成26年度10.5%より0.3ポイント上昇している。

### 年度別 メタボリックシンドローム該当状況

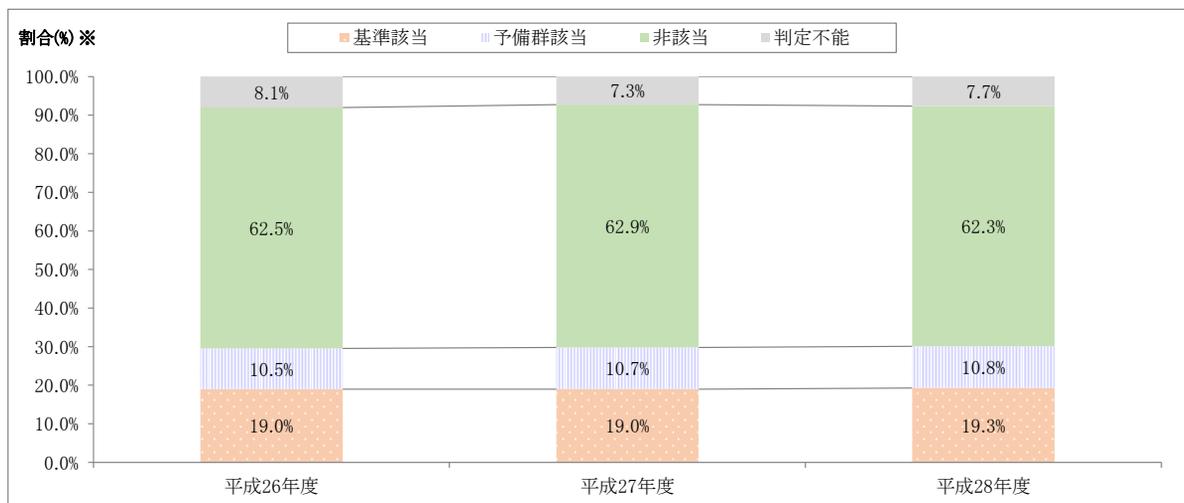
年度	健診受診者数(人)
平成26年度	4,072
平成27年度	3,813
平成28年度	4,117

年度	基準該当		予備群該当		非該当		判定不能	
	人数(人)	割合(%) ※						
平成26年度	772	19.0%	429	10.5%	2,543	62.5%	328	8.1%
平成27年度	726	19.0%	409	10.7%	2,400	62.9%	278	7.3%
平成28年度	793	19.3%	444	10.8%	2,564	62.3%	316	7.7%

データ化範囲(分析対象)…特定健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

### 年度別 メタボリックシンドローム該当割合



データ化範囲(分析対象)…特定健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

#### (4) 特定保健指導対象者の分析

##### ①保健指導レベル該当状況

平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月)における、保健指導レベル該当状況は以下の通りである。積極的支援対象者は171人、動機付け支援対象者は452人である。

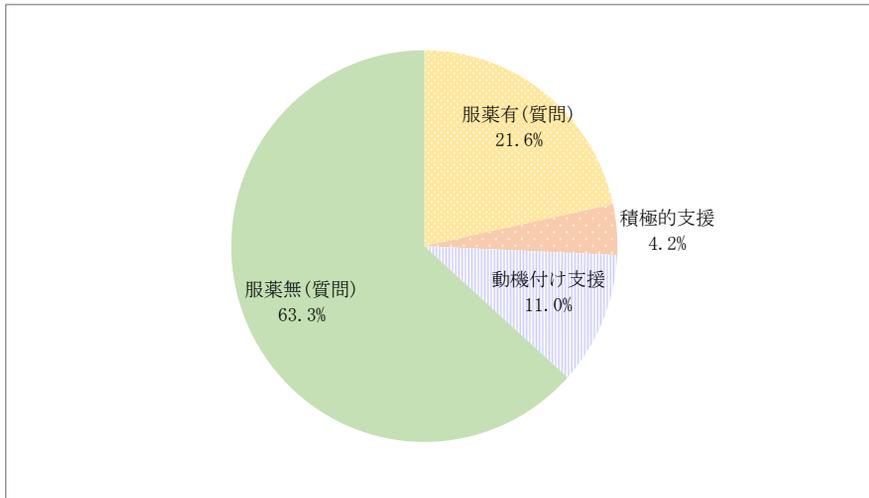
##### 保健指導レベル該当状況

	健診受診者数	該当レベル					判定不能
		特定保健指導対象者			情報提供		
			積極的支援	動機付け支援	服薬有(質問)	服薬無(質問)	
該当者数(人)	4,117	623	171	452	888	2,606	0
割合※(%)	-	15.1%	4.2%	11.0%	21.6%	63.3%	0.0%

データ化範囲(分析対象)…特定健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

##### 保健指導レベル該当割合



データ化範囲(分析対象)…特定健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※服薬有…特定健康診査受診者のうち、高血圧・脂質異常症・糖尿病のいずれかで服薬治療中であると答えた人。

##### ※特定保健指導の対象者(階層化の基準)

腹囲/BMI	追加リスク	喫煙歴(注)	対象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧		40歳-64歳	65歳-74歳
≥85cm(男性) ≥90cm(女性)	2つ以上該当	/	積極的支援	動機付け支援
	1つ該当	あり なし		
上記以外でBMI ≥25	3つ該当	/	積極的支援	動機付け支援
	2つ該当	あり なし		
	1つ該当	/		

(注)喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下の通りである。

①血糖：空腹時血糖が100mg/dl以上、またはHbA1c(NGSP値)5.6%以上(空腹時血糖及びHbA1c(NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)

②脂質：中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧：収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。

※65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみを行っている。

平成26年度から平成28年度における、保健指導レベル該当状況を年度別に示す。平成28年度積極的支援171人は平成26年度185人より14人減少しており、平成28年度動機付け支援452人は平成26年度412人より40人増加している。

### 年度別 保健指導レベルの該当状況

年度	健診受診者数(人)	特定保健指導対象者数(人)				
		積極的支援		動機付け支援		
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	
平成26年度	4,072	597	185	4.5%	412	10.1%
平成27年度	3,813	552	157	4.1%	395	10.4%
平成28年度	4,117	623	171	4.2%	452	11.0%

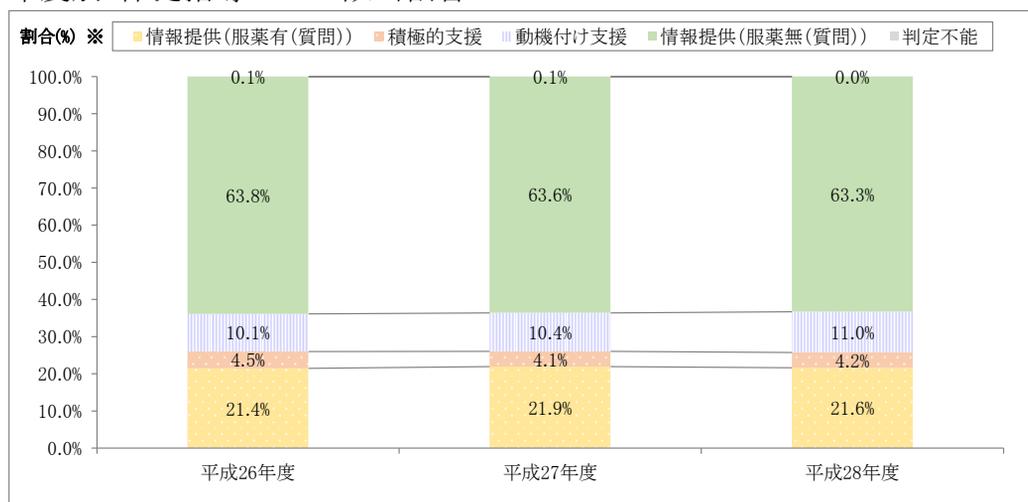
年度	健診受診者数(人)	情報提供				判定不能	
		服薬有(質問)		服薬無(質問)		人数(人)	割合(%) ※
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※		
平成26年度	4,072	873	21.4%	2,597	63.8%	5	0.1%
平成27年度	3,813	835	21.9%	2,424	63.6%	2	0.1%
平成28年度	4,117	888	21.6%	2,606	63.3%	0	0.0%

データ化範囲(分析対象)…特定健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※服薬有…特定健康診査受診者のうち、高血圧・脂質異常症・糖尿病のいずれかで服薬治療中であると答えた人。

### 年度別 保健指導レベル該当割合



データ化範囲(分析対象)…特定健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※服薬有…特定健康診査受診者のうち、高血圧・脂質異常症・糖尿病のいずれかで服薬治療中であると答えた人。

## ②特定保健指導リスク因子別該当状況

平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月)における、特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況を以下に示す。

### 特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙	589人	
積極的支援	●●●●	11人	169人	29%		
	●●●	28人				
	●●●	5人				
	●●●	12人				
	●●●●	16人				
	●●●	24人				
	●●●	18人				
	●●●	14人				
	●●●	10人				
	●●●	14人				
	●●●	13人				
	●●●	2人				
	●●●	1人				
	●●●	0人				
●●●	0人					
動機付け支援	●●●●	16人	420人	71%		
	●●●●	57人				
	●●●●	8人				
	●●●●	4人				
	●●●●	5人				
	●●●●	89人				
	●●●●	21人				
	●●●●	12人				
	●●●●	9人				
	●●●●	9人				
	●●●●	3人				
	●●●●	83人				
	●●●●	75人				
	●●●●	26人				
●●●●	1人					
●●●●	2人					

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

### ③特定保健指導対象者と非対象者の医療費の比較

平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月)積極的支援及び動機付け支援の該当者を「対象者」とし、情報提供の該当者を「非対象者」とする。ただし、情報提供の該当者には質問票で服薬有と回答した者が含まれるため、「非対象者」を「非対象者(服薬有)」と「非対象者(服薬無)」に分ける。これらのグループ別に生活習慣病の患者一人当たり医療費(入院外)を比較すると「非対象者(服薬有)」が最も高く、次に「対象者」が高い。特定保健指導により「対象者」の生活習慣改善を促し、服薬開始を防ぐことが重要である。

#### 特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病医療費

		人数(人)	生活習慣病医療費(円) ※			生活習慣病患者数(人) ※		
			入院	入院外	合計	入院	入院外	合計 ※
対象者	積極的支援、動機付け支援	578	27,213	6,116,778	6,143,991	6	193	195
非対象者	情報提供(服薬無(質問))	1,595	79,424	8,553,092	8,632,516	14	402	409
	情報提供(服薬有(質問))	1,632	2,602,238	159,994,518	162,596,756	60	1,585	1,585

		人数(人)	生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
対象者	積極的支援、動機付け支援	578	4,536	31,693	31,508
非対象者	情報提供(服薬無(質問))	1,595	5,673	21,276	21,106
	情報提供(服薬有(質問))	1,632	43,371	100,943	102,585

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

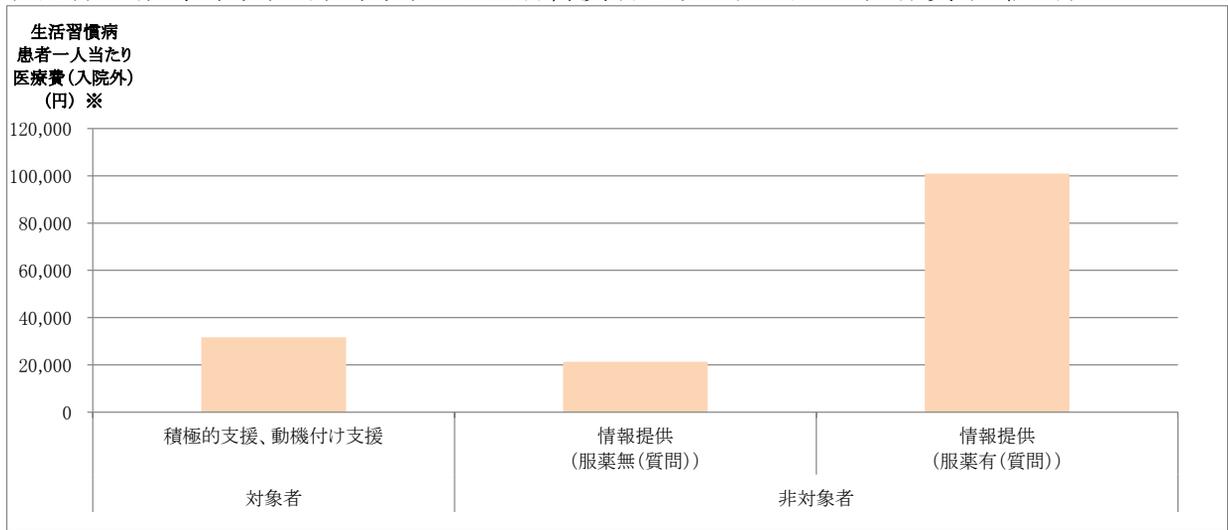
資格確認日…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)全てに資格がある被保険者を対象とする。

※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。

※生活習慣病患者数の合計…入院、入院外の区分けなく集計した実人数。

※服薬有…特定健康診査受診者のうち、高血圧・脂質異常症・糖尿病のいずれかで服薬治療中であると答えた人。

特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)全てに資格がある被保険者を対象とする。

## (5) 特定保健指導実施状況に基づく課題と対策

課題と対策は以下の通りである。

### ◆特定保健指導実施率

平成28年度特定保健指導実施率21.2%は、市町村国保の平成29年度到達目標値60%に未到達である。実施率向上を目指し、利用勧奨の取り組みをさらに行う必要がある。

※法定報告値より算出

### ◆メタボリックシンドローム及び特定保健指導該当状況

メタボリックシンドローム基準該当割合は19.3%、予備群該当割合は10.8%である。また、積極的支援対象者割合は4.2%、動機付け支援対象者割合は11.0%である。メタボリックシンドローム及び特定保健指導該当者数を減少させるため、年齢が比較的若い対象者に対して優先的に指導する等、効果的・効率的な特定保健指導を実施する必要がある。

※健康診査データより算出

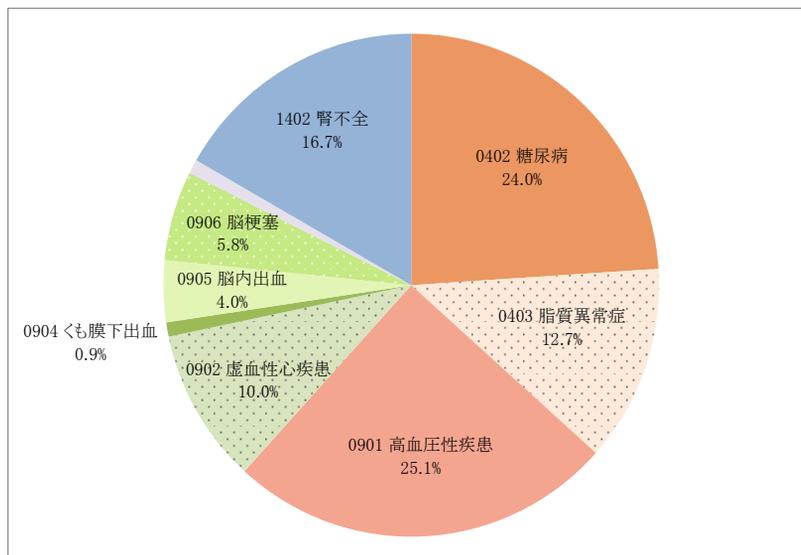
## 4. 生活習慣病に係る医療費

平成28年4月診療分～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、生活習慣病の医療費及び患者数を算出した。糖尿病医療費は2億8,671万円、脂質異常症医療費は1億5,144万円、高血圧性疾患医療費は3億66万円となっている。

### 生活習慣病医療費

疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
0402	糖尿病	286,710,220	5,530	51,846
0403	脂質異常症	151,436,511	4,181	36,220
0901	高血圧性疾患	300,658,895	5,801	51,829
0902	虚血性心疾患	119,265,395	1,601	74,494
0904	くも膜下出血	10,973,534	50	219,471
0905	脳内出血	47,366,684	235	201,560
0906	脳梗塞	68,869,023	999	68,938
0907	脳動脈硬化(症)	109,757	5	21,951
0909	動脈硬化(症)	10,984,298	484	22,695
1402	腎不全	200,074,230	400	500,186

### 生活習慣病医療費構成



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

また、平成26年度から平成28年度における、生活習慣病医療費を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、糖尿病医療費2億8,671万円は、平成26年度2億8,436万円より235万円増加している。また、脂質異常症医療費1億5,144万円は、平成26年度1億6,398万円より1,254万円減少しており、高血圧性疾患医療費3億66万円は、平成26年度3億4,647万円より4,581万円減少している。

### 年度別 生活習慣病医療費

疾病分類(中分類)		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)
0402	糖尿病	284,363,093	21.4%	281,903,290	21.7%	286,710,220	24.0%
0403	脂質異常症	163,984,756	12.3%	160,699,227	12.3%	151,436,511	12.7%
0901	高血圧性疾患	346,467,831	26.1%	330,679,417	25.4%	300,658,895	25.1%
0902	虚血性心疾患	128,323,553	9.7%	134,360,452	10.3%	119,265,395	10.0%
0904	くも膜下出血	34,872,070	2.6%	9,729,090	0.7%	10,973,534	0.9%
0905	脳内出血	35,483,464	2.7%	48,630,488	3.7%	47,366,684	4.0%
0906	脳梗塞	92,093,945	6.9%	103,839,422	8.0%	68,869,023	5.8%
0907	脳動脈硬化(症)	14,392	0.0%	20,630	0.0%	109,757	0.0%
0909	動脈硬化(症)	15,494,278	1.2%	12,785,646	1.0%	10,984,298	0.9%
1402	腎不全	227,945,740	17.2%	218,744,646	16.8%	200,074,230	16.7%
合計		1,329,043,122		1,301,392,308		1,196,448,547	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

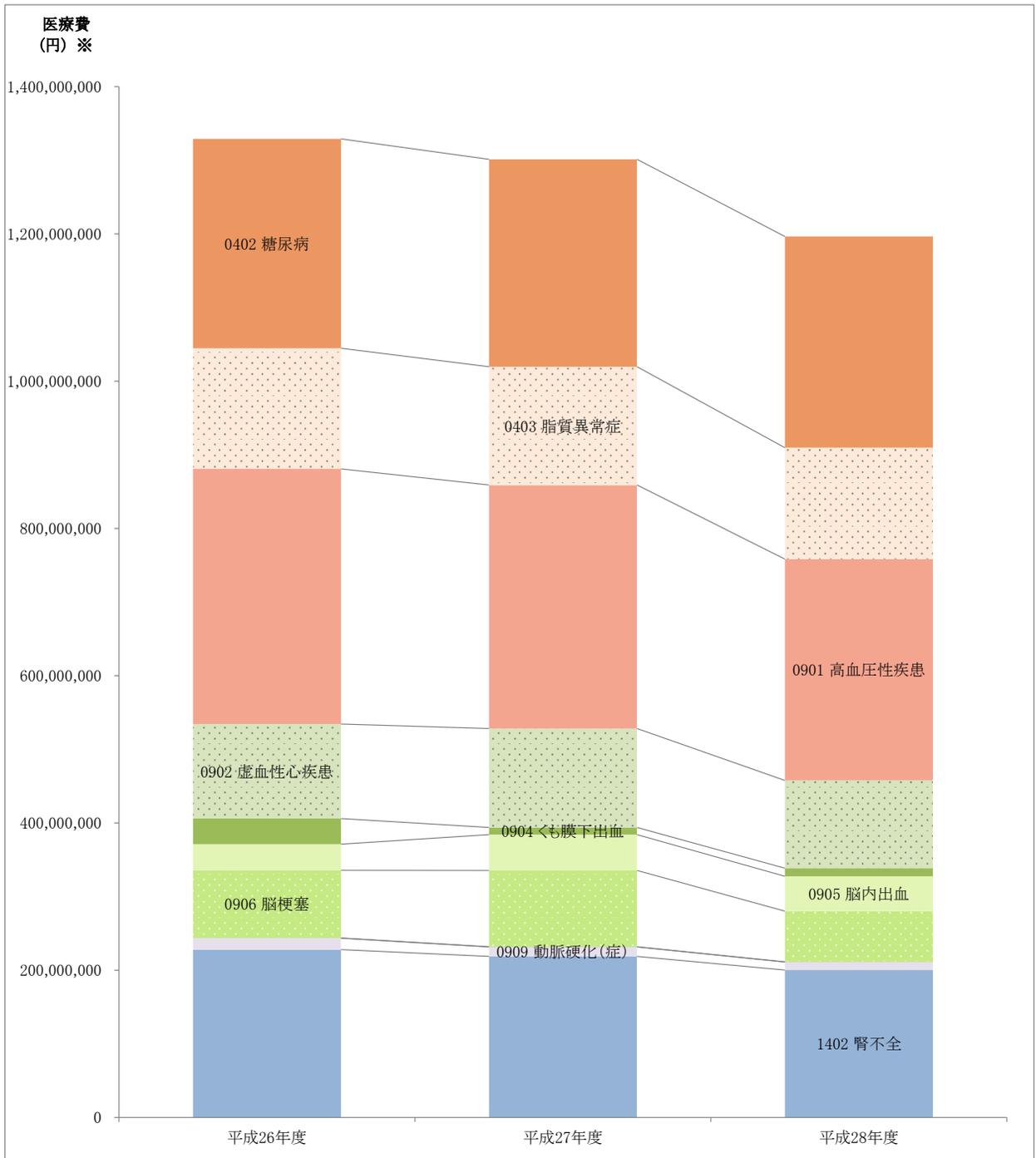
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

# 年度別 生活習慣病医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

## 5. 特定健康診査等実施計画

### (1) 目標

国では、市町村国保において、計画期間の最終年度である平成35年度までに特定健康診査受診率60.0%以上、特定保健指導実施率60.0%以上、特定保健指導対象者の減少率25.0%以上(平成20年度比)を達成することとしている。本市においては各年度の目標値を以下の通り設定する。

#### 目標値

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成35年度 (国基準)
特定健康診査受診率(%)	39.0%	43.0%	47.0%	51.0%	55.0%	60.0%	60.0%以上
特定保健指導実施率(%)	32.0%	37.0%	43.0%	48.0%	54.0%	60.0%	60.0%以上
特定保健指導対象者の 減少率(%)※						25.0%	25.0%以上

※平成20年度比

### (2) 対象者数推計

#### ① 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

平成30年度から平成35年度までの特定健康診査対象者数及び受診者数について、各年度の見込みを示す。

#### 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定健康診査対象者数(人)	11,717	11,141	10,592	10,098	9,501	8,825
特定健康診査受診率(%) (目標値)	39.0%	43.0%	47.0%	51.0%	55.0%	60.0%
特定健康診査受診者数(人)	4,569	4,790	4,978	5,149	5,225	5,295

#### 年齢階層別 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定健康診査 対象者数(人)	40歳～64歳	5,990	5,579	5,146	4,763	4,401	4,114
	65歳～74歳	5,727	5,562	5,446	5,335	5,100	4,711
特定健康診査 受診者数(人)	40歳～64歳	1,617	1,785	1,852	1,905	1,980	2,057
	65歳～74歳	2,952	3,005	3,126	3,244	3,245	3,238

## ②特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

平成30年度から平成35年度までの特定保健指導対象者数及び実施者数について、各年度の見込みを示す。

### 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定保健指導対象者数(人)	678	719	751	780	795	799
特定保健指導実施率(%) (目標値)	32.0%	37.0%	43.0%	48.0%	54.0%	60.0%
特定保健指導実施者数(人)	217	266	323	374	429	479

### 支援レベル別 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

			平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
積極的 支援	対象者数(人)	40歳～64歳	182	196	205	213	219	225
	実施者数(人)	40歳～64歳	35	49	71	87	111	135
動機付け 支援	対象者数(人)	40歳～64歳	181	195	203	211	217	224
		65歳～74歳	315	328	343	356	359	350
	実施者数(人)	40歳～64歳	68	82	95	108	121	135
		65歳～74歳	114	135	157	179	197	209

### (3) 実施方法

#### ① 特定健康診査の実施方法

##### ア. 対象者

実施年度中に40歳～74歳になる被保険者(実施年度中に75歳になる75歳未満の者も含む)。ただし、妊産婦、刑務所入所者、海外在住、長期入院等厚生労働省令で定める除外規定に該当する者は対象者から除くものとする。

##### イ. 実施場所

委託契約を結んだ医療機関等で実施する。

##### ウ. 実施項目

国が定める対象者全員に実施する「基本的な健診項目」と、医師が必要と判断した場合に実施する「詳細な健診項目」に基づき実施する。

##### 健診項目

<b>■ 基本的な健診項目(全員に実施)</b>
○質問票(服薬歴、喫煙歴等) ○身体計測(身長、体重、BMI、腹囲)
○血圧測定 ○理学的検査(身体診察) ○尿検査(尿糖、尿蛋白)
○血液検査
・脂質検査(中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール、またはNon-HDLコレステロール)
・血糖検査(空腹時血糖またはHbA1c)
・肝機能検査(AST(GOT)、ALT(GPT)、 $\gamma$ -GT( $\gamma$ -GTP))
<b>■ 詳細な健診項目(医師が必要と判断した場合に実施)</b>
○心電図 ○眼底検査 ○貧血検査(赤血球、血色素量、ヘマトクリット値)
○血清クレアチニン検査(eGFRによる腎機能の評価を含む)

##### エ. 実施時期

4月から3月に実施する。

##### オ. 案内方法

対象者に、特定健康診査受診券と受診案内を個別に発送する。また、広報やホームページ等で周知を図る。

## ②特定保健指導の実施方法

### ア. 対象者

国が定める「特定保健指導対象者の選定基準」に基づき、特定健康診査の結果を踏まえ、内臓脂肪蓄積の程度とリスク要因数による階層化を行い、対象者を抽出する。

ただし、質問票により服薬中と判断された者は、医療機関における継続的な医学的管理のもとでの指導が適当であるため、対象者から除くこととする。また、65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみ実施する。

### 特定保健指導対象者の選定基準

腹囲/BMI	追加リスク	喫煙歴(注)	対象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧		40歳-64歳	65歳-74歳
≥85cm (男性) ≥90cm (女性)	2つ以上該当	/	積極的 支援	動機付け 支援
	1つ該当	あり なし		
上記以外でBMI ≥25	3つ該当	/	積極的 支援	動機付け 支援
	2つ該当	あり なし		
	1つ該当	/		

(注)喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下の通りである。

- ①血糖：空腹時血糖が100mg/dl以上、またはHbA1c (NGSP値) 5.6%以上(空腹時血糖及びHbA1c (NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)
- ②脂質：中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ③血圧：収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。

※65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみを行っている。

### イ. 実施場所

当課及び委託契約を結んだ医療機関等で実施する。

## ウ. 実施項目

保健指導レベルに応じた内容の保健指導を実施する。

### 保健指導の内容

	支援形態	支援内容
積極的支援	a. 初回面接 一人当たり20分以上の個別支援、 または1グループ当たりおおむね 80分以上のグループ支援。  b. 3カ月以上の継続支援 個別支援、グループ支援の他、電 話、e-mail等の通信手段を組み合 わせて行う。  c. 3カ月経過後の評価 面接または通信手段を利用して行 う。	特定健康診査の結果から、対象者自ら が自分の身体に起こっている変化を理 解し、生活習慣改善の必要性を実感で きるような働きかけを行う。また、具 体的に実践可能な行動目標を対象者が 選択できるように支援する。 支援者は目標達成のために必要な支援 計画を立て、行動が継続できるように 定期的・継続的に介入する。 当市においては、個人面接に加え、栄 養・運動指導も加えた方法で実施する。
動機付け支援	a. 初回面接 一人当たり20分以上の個別支援、 または1グループ当たりおおむね 80分以上のグループ支援。  b. 3カ月経過後の評価 面接または通信手段を利用して行 う。	対象者自らが、自分の生活習慣の改善 すべき点を自覚することで行動目標を 設定し、目標達成に向けた取り組みが 継続できるように動機付け支援を行う。

## エ. 実施時期

4月から3月に実施する。

## オ. 案内方法

対象者に対して、案内通知を発送する。

## 6. その他

---

### (1) 個人情報の保護

#### ① 個人情報保護関係規定の遵守

個人情報の保護に関する法律及び同法に基づくガイドライン等に準じて、厳格な運用管理を行い、役員・職員の義務(データの正確性の確保、漏洩防止措置、従業者の監督、委託先の監督)について周知を図る。

また、外部委託を行う場合は個人情報の厳重な管理や、目的外使用の禁止等を契約書に明示し、委託先の契約遵守状況を管理する。

#### ② データの管理

特定健康診査・特定保健指導結果のデータの保存年限は原則5年とし、保存期間経過後適切に破棄する。また、他の医療保険に異動する等で被保険者でなくなった場合は、異動年度の翌年度末まで保管し、その後適切に破棄する。

### (2) 特定健康診査等実施計画の公表及び周知

法第19条3において、「保険者は、特定健康診査等実施計画を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。」とあるため、広報、ホームページ等で公表し、広く周知を図る。

### (3) 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し

#### ① 評価

特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率等について、客観的に評価を行う。

#### ② 計画の見直し

計画の見直しについては、毎年度目標の達成状況を評価し、必要に応じて見直しを行うものとする。

### (4) 事業運営上の留意事項

#### ① 各種検(健)診等との連携

特定健康診査の実施に当たっては、健康増進法及び介護保険法に基づき実施する検(健)診等についても可能な限り連携して実施するものとする。

#### ② 健康づくり事業との連携

特定健康診査・特定保健指導の対象となる年代だけでなく、生活習慣病予防のためには、40歳より若い世代へ働きかけ、生活習慣病のリスクの周知や日々の生活スタイルを見直していくことが重要になる。そのためには、関係部署が実施する保健事業とも連携しながら、生活習慣病予防を推進していく必要がある。



## 參考資料

# 地区分析

## 1. 大分類による疾病別医療費地区別統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示す。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

### 【水海道】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	27,533,718	3.3%	11	3,686	9	907	7	30,357	13
II. 新生物<腫瘍>	130,000,820	15.8%	1	3,299	11	813	9	159,903	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	54,600,807	6.6%	8	1,270	16	355	15	153,805	2
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	79,826,506	9.7%	3	12,182	2	1,321	3	60,429	8
V. 精神及び行動の障害	67,959,442	8.2%	5	4,867	7	468	14	145,212	3
VI. 神経系の疾患	28,193,264	3.4%	10	6,482	6	603	12	46,755	9
VII. 眼及び付属器の疾患	25,615,387	3.1%	12	3,266	12	908	6	28,211	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	3,381,608	0.4%	16	1,419	15	334	16	10,125	17
IX. 循環器系の疾患	118,242,471	14.3%	2	13,658	1	1,239	4	95,434	4
X. 呼吸器系の疾患	59,646,033	7.2%	7	9,665	4	1,612	1	37,001	11
X I. 消化器系の疾患 ※	64,658,015	7.8%	6	11,267	3	1,397	2	46,283	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	16,201,333	2.0%	14	4,258	8	864	8	18,752	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	76,209,583	9.2%	4	8,767	5	1,145	5	66,559	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	38,974,716	4.7%	9	2,890	13	627	11	62,161	7
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	2,254,705	0.3%	17	56	20	26	20	86,719	5
X VI. 周産期に発生した病態 ※	7,410	0.0%	21	3	21	2	21	3,705	20
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	228,234	0.0%	20	158	18	67	18	3,406	21
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	12,481,692	1.5%	15	3,646	10	805	10	15,505	16
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	17,739,434	2.1%	13	1,607	14	492	13	36,056	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,384,621	0.2%	18	867	17	146	17	9,484	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	238,281	0.0%	19	135	19	39	19	6,110	19
合計	825,378,080			37,623		2,739		301,343	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【豊岡】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病項目(大分類)	A			B			C			A/C		
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位			
I. 感染症及び寄生虫症	18,904,049	3.5%	10	1,922	12	496	6	38,113	14			
II. 新生物<腫瘍>	104,437,120	19.5%	1	1,972	9	478	8	218,488	2			
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	11,801,244	2.2%	13	633	16	184	15	64,137	8			
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	51,069,771	9.5%	3	7,462	2	848	3	60,224	9			
V. 精神及び行動の障害	40,536,064	7.6%	4	2,368	7	235	14	172,494	4			
VI. 神経系の疾患	23,785,664	4.4%	9	3,845	6	367	12	64,811	7			
VII. 眼及び付属器の疾患	15,179,383	2.8%	11	1,691	13	475	9	31,957	16			
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,688,796	0.3%	18	680	15	165	16	10,235	20			
IX. 循環器系の疾患	93,855,330	17.5%	2	7,603	1	716	4	131,083	5			
X. 呼吸器系の疾患	33,321,719	6.2%	7	4,677	5	897	1	37,148	15			
X I. 消化器系の疾患 ※	35,785,130	6.7%	6	6,418	3	873	2	40,991	12			
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	8,054,989	1.5%	15	2,356	8	483	7	16,677	19			
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	38,697,499	7.2%	5	5,262	4	695	5	55,680	11			
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	24,524,427	4.6%	8	1,965	10	425	11	57,705	10			
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	4,428,209	0.8%	16	52	20	17	20	260,483	1			
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,590,355	0.3%	19	13	21	8	21	198,794	3			
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	3,205,151	0.6%	17	154	18	33	18	97,126	6			
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	12,539,360	2.3%	12	1,964	11	455	10	27,559	17			
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	10,855,554	2.0%	14	920	14	283	13	38,359	13			
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,275,817	0.2%	20	424	17	67	17	19,042	18			
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0				
分類外	79,919	0.0%	21	75	19	29	19	2,756	21			
合計	535,615,550			21,005		1,535		348,935				

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【菅原】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	14,352,093	5.1%	9	987	11	262	7	54,779	9
II. 新生物<腫瘍>	37,097,797	13.2%	2	979	12	247	9	150,194	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,214,352	1.5%	15	345	15	93	15	45,316	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	24,559,005	8.8%	4	4,039	2	400	3	61,398	8
V. 精神及び行動の障害	26,711,214	9.5%	3	1,242	8	108	14	247,326	1
VI. 神経系の疾患	11,269,244	4.0%	11	1,816	6	175	12	64,396	7
VII. 眼及び付属器の疾患	9,950,879	3.5%	12	968	13	246	10	40,451	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,239,188	0.4%	17	323	16	74	16	16,746	16
IX. 循環器系の疾患	45,557,787	16.2%	1	4,487	1	382	4	119,261	4
X. 呼吸器系の疾患	21,115,104	7.5%	6	2,583	5	441	1	47,880	12
X I. 消化器系の疾患 ※	21,445,175	7.6%	5	3,675	3	433	2	49,527	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	7,807,761	2.8%	13	1,338	7	260	8	30,030	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	19,404,317	6.9%	7	2,942	4	372	5	52,162	10
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	17,581,634	6.3%	8	1,027	10	240	11	73,257	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,589,993	0.6%	16	26	19	8	19	198,749	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	4,838	0.0%	21	2	21	2	21	2,419	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	192,768	0.1%	18	45	18	13	18	14,828	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,392,853	1.6%	14	1,226	9	268	6	16,391	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	11,840,019	4.2%	10	450	14	143	13	82,797	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	166,874	0.1%	19	212	17	39	17	4,279	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	16,795	0.0%	20	24	20	5	20	3,359	20
合計	280,509,690			11,728		750		374,013	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【大花羽】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,438,921	1.9%	13	613	10	154	7	15,837	15
II. 新生物<腫瘍>	19,483,938	15.0%	2	448	13	137	9	142,219	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	1,660,765	1.3%	15	192	16	47	15	35,335	12
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	12,222,361	9.4%	4	2,097	2	215	3	56,848	6
V. 精神及び行動の障害	15,871,444	12.2%	3	780	7	66	14	240,476	1
VI. 神経系の疾患	3,428,293	2.6%	11	1,024	6	91	12	37,674	10
VII. 眼及び付属器の疾患	4,394,850	3.4%	9	559	11	147	8	29,897	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	515,990	0.4%	16	194	15	47	15	10,979	17
IX. 循環器系の疾患	20,911,613	16.1%	1	2,326	1	205	4	102,008	4
X. 呼吸器系の疾患	8,478,767	6.5%	8	1,427	4	238	1	35,625	11
X I. 消化器系の疾患 ※	11,426,082	8.8%	6	1,545	3	218	2	52,413	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,040,860	1.6%	14	638	9	136	10	15,006	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	8,682,525	6.7%	7	1,401	5	168	5	51,682	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	11,883,116	9.1%	5	501	12	103	11	115,370	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	298,274	0.2%	17	6	20	3	20	99,425	5
X VI. 周産期に発生した病態 ※	9,879	0.0%	21	3	21	1	21	9,879	18
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	35,107	0.0%	19	15	19	5	19	7,021	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,433,474	2.6%	10	712	8	166	6	20,684	14
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2,913,592	2.2%	12	195	14	76	13	38,337	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	28,742	0.0%	20	78	17	13	17	2,211	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	59,087	0.0%	18	29	18	8	18	7,386	19
合計	130,217,680			5,898		412		316,062	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【三妻】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,603,679	1.6%	13	1,589	12	418	8	15,798	16
II. 新生物<腫瘍>	61,451,299	15.0%	2	1,701	10	380	10	161,714	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,632,898	0.4%	17	527	16	141	15	11,581	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	41,872,760	10.2%	3	7,183	2	674	2	62,126	10
V. 精神及び行動の障害	32,580,396	8.0%	5	1,678	11	186	14	175,163	1
VI. 神経系の疾患	21,195,152	5.2%	9	3,069	6	281	12	75,428	6
VII. 眼及び付属器の疾患	17,514,565	4.3%	11	1,796	9	431	7	40,637	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,062,939	0.5%	15	528	15	138	16	14,949	17
IX. 循環器系の疾患	65,600,468	16.0%	1	8,123	1	622	4	105,467	4
X. 呼吸器系の疾患	22,844,070	5.6%	8	4,494	5	746	1	30,622	14
X I. 消化器系の疾患 ※	30,441,219	7.4%	6	5,337	3	641	3	47,490	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	8,181,950	2.0%	12	2,017	7	395	9	20,714	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	41,051,868	10.0%	4	5,010	4	551	5	74,504	7
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	28,521,691	7.0%	7	1,417	13	300	11	95,072	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,810,007	0.4%	16	54	18	16	19	113,125	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	461,189	0.1%	19	13	21	7	21	65,884	9
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	865,084	0.2%	18	53	19	17	18	50,887	11
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,047,738	1.2%	14	1,895	8	447	6	11,292	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	19,123,290	4.7%	10	977	14	267	13	71,623	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	422,134	0.1%	20	480	17	77	17	5,482	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	60,274	0.0%	21	46	20	9	20	6,697	20
合計	409,344,670			19,793		1,226		333,886	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【五箇】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,854,213	2.0%	12	673	10	164	8	17,404	15
II. 新生物<腫瘍>	20,682,065	14.4%	2	620	12	145	10	142,635	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,111,194	0.8%	15	226	15	47	15	23,642	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	13,657,635	9.5%	4	2,409	2	238	4	57,385	6
V. 精神及び行動の障害	2,385,924	1.7%	14	543	13	62	14	38,483	8
VI. 神経系の疾患	3,366,284	2.3%	11	780	7	105	12	32,060	10
VII. 眼及び付属器の疾患	4,961,536	3.4%	8	698	9	175	6	28,352	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	621,697	0.4%	16	180	16	45	16	13,815	17
IX. 循環器系の疾患	40,274,535	28.0%	1	3,009	1	241	3	167,114	2
X. 呼吸器系の疾患	9,776,088	6.8%	6	1,493	5	261	1	37,456	9
X I. 消化器系の疾患 ※	11,117,435	7.7%	5	1,974	3	253	2	43,942	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	4,765,529	3.3%	9	809	6	149	9	31,983	11
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	16,275,764	11.3%	3	1,803	4	214	5	76,055	4
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	3,882,485	2.7%	10	637	11	125	11	31,060	12
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	45,719	0.0%	20	8	19	4	19	11,430	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※	170,510	0.1%	17	2	21	1	21	170,510	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	10,779	0.0%	21	8	19	4	19	2,695	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,716,574	1.9%	13	726	8	169	7	16,074	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5,110,742	3.6%	7	304	14	82	13	62,326	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	62,285	0.0%	18	163	17	33	17	1,887	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	52,037	0.0%	19	27	18	10	18	5,204	19
合計	143,901,030			7,074		447		321,926	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【大生】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	20,642,013	6.7%	6	1,344	7	332	6	62,175	7
II. 新生物<腫瘍>	48,232,400	15.7%	2	1,224	8	297	8	162,399	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	438,631	0.1%	17	306	16	101	15	4,343	21
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	33,895,076	11.0%	3	4,590	2	444	3	76,340	6
V. 精神及び行動の障害	18,223,536	5.9%	9	1,095	12	131	14	139,111	2
VI. 神経系の疾患	12,738,557	4.1%	10	2,002	6	210	11	60,660	9
VII. 眼及び付属器の疾患	9,809,212	3.2%	11	1,065	13	305	7	32,161	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,112,776	0.4%	15	382	15	94	16	11,838	17
IX. 循環器系の疾患	59,667,534	19.4%	1	5,459	1	443	4	134,690	3
X. 呼吸器系の疾患	19,207,216	6.2%	8	2,820	5	522	1	36,795	12
X I. 消化器系の疾患 ※	20,821,269	6.8%	5	3,553	3	475	2	43,834	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	6,381,043	2.1%	13	1,183	9	271	10	23,546	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	24,145,249	7.8%	4	3,193	4	392	5	61,595	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	19,471,592	6.3%	7	1,116	11	203	12	95,919	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	184,943	0.1%	20	28	19	11	19	16,813	16
X VI. 周産期に発生した病態 ※	479,555	0.2%	16	11	21	6	21	79,926	5
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	220,735	0.1%	19	84	18	20	18	11,037	18
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,020,954	1.6%	14	1,124	10	282	9	17,805	15
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	6,987,266	2.3%	12	531	14	169	13	41,345	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	393,844	0.1%	18	246	17	46	17	8,562	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	35,169	0.0%	21	14	20	7	20	5,024	20
合計	308,108,570			12,931		892		345,413	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【坂手】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	3,308,994	2.0%	13	536	13	143	11	23,140	18
II. 新生物<腫瘍>	17,505,276	10.7%	3	584	12	159	7	110,096	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,488,208	1.5%	15	280	15	56	15	44,432	11
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	13,768,754	8.4%	5	2,268	2	253	4	54,422	10
V. 精神及び行動の障害	17,960,743	10.9%	2	910	7	65	14	276,319	1
VI. 神経系の疾患	8,702,134	5.3%	9	1,354	6	126	12	69,065	6
VII. 眼及び付属器の疾患	5,737,756	3.5%	10	676	9	178	6	32,235	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	447,855	0.3%	17	181	16	49	16	9,140	20
IX. 循環器系の疾患	32,935,837	20.0%	1	3,039	1	269	3	122,438	2
X. 呼吸器系の疾患	11,261,406	6.9%	7	1,515	5	279	2	40,363	13
X I. 消化器系の疾患 ※	12,513,385	7.6%	6	2,103	3	301	1	41,573	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,891,419	2.4%	12	684	8	149	9	26,117	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	15,133,888	9.2%	4	1,746	4	245	5	61,771	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	10,081,668	6.1%	8	672	10	150	8	67,211	7
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	342,805	0.2%	18	10	20	3	20	114,268	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	83,680	0.1%	20	1	21	1	21	83,680	5
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	187,426	0.1%	19	18	18	5	18	37,485	14
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,702,728	1.6%	14	618	11	149	9	18,139	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3,929,324	2.4%	11	344	14	114	13	34,468	15
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,278,820	0.8%	16	124	17	23	17	55,601	9
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	28,964	0.0%	21	16	19	4	19	7,241	21
合計	164,291,070			7,422		532		308,818	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【内守谷】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B			C			A/C		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位			
I. 感染症及び寄生虫症	7,051,098	5.0%	8	481	11	133	7	53,016	7			
II. 新生物<腫瘍>	3,161,249	2.2%	11	371	13	116	9	27,252	13			
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	319,245	0.2%	16	134	16	41	16	7,786	19			
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	12,523,112	8.8%	4	1,867	2	200	3	62,616	5			
V. 精神及び行動の障害	35,695,838	25.1%	1	657	8	65	14	549,167	1			
VI. 神経系の疾患	5,555,720	3.9%	10	1,213	6	111	11	50,052	8			
VII. 眼及び付属器の疾患	5,670,913	4.0%	9	545	10	127	8	44,653	9			
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	593,727	0.4%	15	170	15	43	15	13,808	16			
IX. 循環器系の疾患	17,324,939	12.2%	2	2,122	1	190	5	91,184	3			
X. 呼吸器系の疾患	10,025,795	7.1%	6	1,260	5	245	1	40,922	11			
X I. 消化器系の疾患 ※	9,720,595	6.8%	7	1,799	4	224	2	43,396	10			
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,473,474	1.7%	12	733	7	139	6	17,795	15			
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	15,821,357	11.1%	3	1,815	3	199	4	79,504	4			
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	12,238,149	8.6%	5	566	9	90	12	135,979	2			
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	9,700	0.0%	21	2	20	1	20	9,700	18			
X VI. 周産期に発生した病態 ※	54,510	0.0%	18	1	21	1	20	54,510	6			
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	19,180	0.0%	20	16	19	6	19	3,197	20			
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,378,161	1.0%	14	436	12	115	10	11,984	17			
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2,190,975	1.5%	13	290	14	86	13	25,476	14			
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	33,294	0.0%	19	125	17	19	17	1,752	21			
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0				
分類外	292,899	0.2%	17	20	18	9	18	32,544	12			
合計	142,153,930			6,086		406		350,133				

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【きぬの里】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,207,084	1.6%	13	435	9	133	6	9,076	18
II. 新生物<腫瘍>	8,620,552	11.7%	3	231	13	81	11	106,427	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	209,079	0.3%	17	68	17	30	16	6,969	19
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	6,690,536	9.0%	4	1,239	2	147	3	45,514	7
V. 精神及び行動の障害	16,191,024	21.9%	1	604	8	57	14	284,053	1
VI. 神経系の疾患	3,231,923	4.4%	8	759	6	85	10	38,023	9
VII. 眼及び付属器の疾患	2,833,196	3.8%	10	431	10	137	5	20,680	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	816,598	1.1%	15	226	14	50	15	16,332	15
IX. 循環器系の疾患	6,427,127	8.7%	5	1,200	3	122	7	52,681	5
X. 呼吸器系の疾患	8,661,289	11.7%	2	1,439	1	249	1	34,784	10
X I. 消化器系の疾患 ※	4,827,682	6.5%	7	889	4	146	4	33,066	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,487,625	3.4%	11	666	7	150	2	16,584	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	5,755,240	7.8%	6	824	5	118	8	48,773	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	1,288,371	1.7%	12	289	12	69	13	18,672	13
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	416,232	0.6%	16	13	20	4	20	104,058	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	83,680	0.1%	19	1	21	1	21	83,680	4
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	24,722	0.0%	21	14	19	5	19	4,944	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,106,295	1.5%	14	359	11	111	9	9,967	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2,931,682	4.0%	9	217	15	70	12	41,881	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	40,888	0.1%	20	75	16	12	17	3,407	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	101,785	0.1%	18	50	18	8	18	12,723	16
合計	73,952,610			4,944		421		175,659	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【菅生】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,630,069	2.3%	13	922	13	238	10	27,857	15
II. 新生物<腫瘍>	39,079,228	13.5%	1	1,039	11	275	7	142,106	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,459,965	0.5%	15	407	15	84	15	17,381	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	36,832,161	12.7%	2	4,601	2	466	2	79,039	7
V. 精神及び行動の障害	26,620,230	9.2%	5	1,166	8	97	14	274,435	1
VI. 神経系の疾患	11,247,622	3.9%	11	1,985	6	218	11	51,595	10
VII. 眼及び付属器の疾患	11,530,686	4.0%	10	1,021	12	261	8	44,179	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,110,851	0.4%	16	339	16	80	16	13,886	18
IX. 循環器系の疾患	30,562,619	10.6%	4	5,118	1	436	4	70,098	8
X. 呼吸器系の疾患	20,425,960	7.1%	7	2,887	5	532	1	38,395	12
X I. 消化器系の疾患 ※	16,961,621	5.9%	8	3,758	3	455	3	37,278	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	10,093,539	3.5%	12	1,429	7	300	6	33,645	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	34,800,207	12.0%	3	3,310	4	401	5	86,784	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	21,119,517	7.3%	6	1,110	10	217	12	97,325	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	559,765	0.2%	17	16	20	7	20	79,966	6
X VI. 周産期に発生した病態 ※	165,293	0.1%	19	7	21	3	21	55,098	9
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	136,955	0.0%	20	38	19	9	19	15,217	17
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,325,296	1.1%	14	1,132	9	248	9	13,408	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	16,486,267	5.7%	9	627	14	199	13	82,846	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	185,648	0.1%	18	284	17	51	17	3,640	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	51,661	0.0%	21	39	18	11	18	4,696	20
合計	289,385,160			13,239		917		315,578	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【石下】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目(大分類)	A			B			C			A/C		
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位			
I. 感染症及び寄生虫症	25,147,265	4.0%	10	2,726	10	669	8	37,589	13			
II. 新生物<腫瘍>	70,436,123	11.3%	2	2,151	13	529	10	133,150	3			
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	3,113,087	0.5%	17	956	15	227	15	13,714	19			
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	58,367,793	9.4%	3	9,393	2	880	3	66,327	8			
V. 精神及び行動の障害	51,053,774	8.2%	6	2,468	12	244	14	209,237	2			
VI. 神経系の疾患	21,194,502	3.4%	12	4,982	6	480	12	44,155	11			
VII. 眼及び付属器の疾患	24,168,509	3.9%	11	2,804	9	722	6	33,474	14			
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	4,255,495	0.7%	15	922	16	221	16	19,256	16			
IX. 循環器系の疾患	91,839,832	14.7%	1	10,642	1	859	4	106,915	4			
X. 呼吸器系の疾患	47,411,261	7.6%	8	7,256	4	1,250	1	37,929	12			
X I. 消化器系の疾患 ※	58,314,352	9.4%	4	8,676	3	1,037	2	56,234	9			
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	15,542,166	2.5%	13	3,534	7	705	7	22,046	15			
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	57,972,664	9.3%	5	7,112	5	794	5	73,013	7			
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	47,864,540	7.7%	7	2,828	8	527	11	90,825	5			
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	1,158,801	0.2%	19	56	20	22	20	52,673	10			
X VI. 周産期に発生した病態 ※	3,210,841	0.5%	16	20	21	10	21	321,084	1			
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	745,096	0.1%	20	126	18	42	18	17,740	17			
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,632,409	1.2%	14	2,672	11	633	9	12,058	20			
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	31,752,601	5.1%	9	1,340	14	383	13	82,905	6			
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,742,653	0.3%	18	605	17	103	17	16,919	18			
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0				
分類外	199,536	0.0%	21	81	19	24	19	8,314	21			
合計	623,123,300			29,450		2,122		293,649				

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【豊田】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	8,334,564	3.8%	10	669	12	188	9	44,333	11
II. 新生物<腫瘍>	17,336,938	7.8%	5	656	13	146	11	118,746	3
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	2,670,171	1.2%	15	290	16	73	16	36,578	13
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	26,435,900	11.9%	3	3,027	2	305	4	86,675	5
V. 精神及び行動の障害	29,506,982	13.3%	2	819	9	84	14	351,274	1
VI. 神経系の疾患	8,446,825	3.8%	9	1,432	6	140	12	60,334	8
VII. 眼及び付属器の疾患	6,487,176	2.9%	11	748	11	210	8	30,891	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,756,053	0.8%	16	308	15	74	15	23,730	16
IX. 循環器系の疾患	46,743,207	21.1%	1	3,655	1	316	3	147,922	2
X. 呼吸器系の疾患	11,361,739	5.1%	8	2,225	4	385	1	29,511	15
X I. 消化器系の疾患 ※	15,486,008	7.0%	6	2,802	3	334	2	46,365	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,230,255	1.5%	14	1,026	7	225	7	14,357	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	19,787,415	8.9%	4	2,151	5	262	5	75,524	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	13,710,613	6.2%	7	816	10	153	10	89,612	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	62,606	0.0%	19	11	20	1	20	62,606	7
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	478,490	0.2%	17	43	18	13	18	36,807	12
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,493,913	1.6%	13	1,004	8	231	6	15,125	17
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	6,464,149	2.9%	12	393	14	129	13	50,110	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	67,004	0.0%	18	196	17	27	17	2,482	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	59,082	0.0%	20	26	19	6	19	9,847	19
合計	221,919,090			9,317		672		330,237	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【玉】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	3,448,855	2.3%	12	682	10	175	8	19,708	16
II. 新生物<腫瘍>	14,871,693	9.7%	3	655	11	158	9	94,125	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,134,898	1.4%	13	316	14	68	14	31,396	10
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	13,371,864	8.7%	6	2,433	3	235	4	56,902	8
V. 精神及び行動の障害	15,504,554	10.1%	2	765	8	67	15	231,411	1
VI. 神経系の疾患	10,952,517	7.1%	7	1,295	6	122	12	89,775	5
VII. 眼及び付属器の疾患	4,038,116	2.6%	11	627	12	182	6	22,187	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	291,454	0.2%	17	112	17	40	16	7,286	19
IX. 循環器系の疾患	31,723,433	20.7%	1	3,249	1	244	3	130,014	2
X. 呼吸器系の疾患	8,031,972	5.2%	9	1,768	5	324	1	24,790	13
X I. 消化器系の疾患 ※	10,459,352	6.8%	8	2,440	2	280	2	37,355	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	4,889,504	3.2%	10	941	7	179	7	27,316	11
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	14,747,371	9.6%	4	1,783	4	210	5	70,226	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	14,541,259	9.5%	5	712	9	128	11	113,604	3
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	103,451	0.1%	18	5	20	4	19	25,863	12
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,240	0.0%	21	1	21	1	21	1,240	21
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	688,291	0.4%	16	19	18	9	18	76,477	6
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,360,969	0.9%	15	593	13	157	10	8,669	17
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,921,595	1.3%	14	268	15	95	13	20,227	15
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	101,109	0.1%	19	194	16	30	17	3,370	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	30,343	0.0%	20	19	18	4	19	7,586	18
合計	153,213,840			8,067		537		285,314	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【岡田】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病項目(大分類)	A			B			C			A/C		
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位			
I. 感染症及び寄生虫症	28,635,517	6.6%	8	1,772	12	495	8	57,850	9			
II. 新生物<腫瘍>	62,453,232	14.5%	2	1,563	13	418	11	149,410	2			
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	4,353,610	1.0%	15	659	15	186	14	23,407	15			
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	43,959,956	10.2%	3	7,150	2	695	3	63,252	7			
V. 精神及び行動の障害	32,301,597	7.5%	6	1,791	11	160	16	201,885	1			
VI. 神経系の疾患	15,608,338	3.6%	10	3,103	6	323	12	48,323	10			
VII. 眼及び付属器の疾患	14,325,015	3.3%	11	1,858	10	515	7	27,816	14			
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,497,687	0.6%	17	648	16	176	15	14,191	19			
IX. 循環器系の疾患	73,980,945	17.2%	1	7,678	1	664	4	111,417	4			
X. 呼吸器系の疾患	31,268,351	7.3%	7	5,264	4	972	1	32,169	13			
X I. 消化器系の疾患 ※	35,075,857	8.1%	5	5,915	3	781	2	44,911	11			
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	8,879,767	2.1%	12	2,377	7	557	6	15,942	17			
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	36,729,613	8.5%	4	4,656	5	596	5	61,627	8			
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	19,445,917	4.5%	9	1,936	8	434	10	44,806	12			
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	3,839,146	0.9%	16	73	18	27	18	142,191	3			
X VI. 周産期に発生した病態 ※	896,364	0.2%	20	20	21	13	20	68,951	6			
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,512,196	0.4%	18	62	20	21	19	72,009	5			
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,761,583	1.6%	14	1,920	9	495	8	13,660	20			
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	7,054,756	1.6%	13	951	14	314	13	22,467	16			
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,006,865	0.2%	19	533	17	81	17	12,430	21			
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0				
分類外	184,658	0.0%	21	67	19	13	20	14,204	18			
合計	430,770,970			22,090		1,684		255,802				

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【飯沼】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病項目(大分類)	A			B			C			A/C		
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位			
I. 感染症及び寄生虫症	22,121,702	4.5%	8	1,843	10	505	7	43,805	14			
II. 新生物<腫瘍>	59,624,597	12.2%	2	1,567	13	400	10	149,061	4			
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	17,290,166	3.6%	12	754	16	188	14	91,969	7			
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	47,601,558	9.8%	4	7,483	2	711	3	66,950	9			
V. 精神及び行動の障害	47,656,960	9.8%	3	1,979	9	173	16	275,474	1			
VI. 神経系の疾患	21,990,227	4.5%	9	3,035	6	285	13	77,159	8			
VII. 眼及び付属器の疾患	11,418,013	2.3%	14	1,620	12	436	9	26,188	18			
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,626,155	0.5%	19	840	15	184	15	14,273	20			
IX. 循環器系の疾患	73,572,343	15.1%	1	8,363	1	674	4	109,158	6			
X. 呼吸器系の疾患	34,228,432	7.0%	7	5,267	4	934	1	36,647	16			
X I. 消化器系の疾患 ※	39,566,319	8.1%	5	6,684	3	802	2	49,335	12			
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	13,162,404	2.7%	13	2,117	8	490	8	26,862	17			
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	38,335,365	7.9%	6	4,716	5	595	5	64,429	10			
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	17,930,789	3.7%	11	1,714	11	397	11	45,166	13			
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,789,176	0.6%	18	57	20	21	19	132,818	5			
X VI. 周産期に発生した病態 ※	3,052,134	0.6%	17	33	21	12	21	254,345	2			
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	4,850,478	1.0%	16	93	18	25	18	194,019	3			
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	9,179,769	1.9%	15	2,373	7	561	6	16,363	19			
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	18,613,457	3.8%	10	971	14	300	12	62,045	11			
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	569,646	0.1%	21	470	17	64	17	8,901	21			
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0				
分類外	792,940	0.2%	20	77	19	19	20	41,734	15			
合計	486,972,630			22,105		1,604		303,599				

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	878,475	1.9%	13	280	8	74	4	11,871	16
II. 新生物<腫瘍>	10,511,095	22.5%	1	154	12	40	11	262,777	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	296,157	0.6%	16	64	16	24	15	12,340	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	5,774,792	12.4%	3	449	3	102	3	56,616	5
V. 精神及び行動の障害	3,235,645	6.9%	5	281	7	27	14	119,839	3
VI. 神経系の疾患	1,925,876	4.1%	9	394	4	39	12	49,381	7
VII. 眼及び付属器の疾患	1,164,139	2.5%	11	133	13	45	10	25,870	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	136,678	0.3%	17	80	14	22	16	6,213	19
IX. 循環器系の疾患	2,955,877	6.3%	6	351	5	57	6	51,857	6
X. 呼吸器系の疾患	8,444,417	18.1%	2	594	1	113	1	74,729	4
X I. 消化器系の疾患 ※	3,362,605	7.2%	4	579	2	111	2	30,294	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	632,314	1.4%	14	206	9	56	7	11,291	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	2,532,918	5.4%	7	303	6	61	5	41,523	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	1,940,473	4.2%	8	170	11	50	8	38,809	9
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	1,360,059	2.9%	10	21	17	7	17	194,294	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	24,934	0.1%	19	5	19	2	19	12,467	14
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	5,636	0.0%	20	2	20	2	19	2,818	20
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,119,197	2.4%	12	192	10	49	9	22,841	12
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	418,721	0.9%	15	73	15	30	13	13,957	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,570	0.0%	21	2	20	1	21	2,570	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	31,512	0.1%	18	18	18	3	18	10,504	18
合計	46,754,090			1,843		257		181,923	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

## 2. 中分類による疾病別医療費地区別統計

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

### 【水海道】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	58,859,519	7.1%	292
2	0301	貧血	47,114,861	5.7%	189
3	0402	糖尿病	47,002,143	5.7%	1,028
4	0901	高血圧性疾患	45,266,696	5.5%	904
5	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	41,249,351	5.0%	100
6	1113	その他の消化器系の疾患	32,455,537	3.9%	902
7	1402	腎不全	23,993,435	2.9%	51
8	0403	脂質異常症	22,318,863	2.7%	671
9	0903	その他の心疾患	22,235,035	2.7%	516
10	0902	虚血性心疾患	19,276,159	2.3%	247

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【豊岡】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0903	その他の心疾患	32,783,122	6.1%	294
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	30,670,357	5.7%	203
3	0402	糖尿病	26,461,693	4.9%	587
4	0901	高血圧性疾患	25,564,786	4.8%	548
5	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	23,985,845	4.5%	38
6	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	21,992,456	4.1%	75
7	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	16,954,668	3.2%	125
8	1113	その他の消化器系の疾患	16,363,223	3.1%	542
9	0403	脂質異常症	16,321,863	3.0%	469
10	1402	腎不全	16,268,553	3.0%	29

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

### 【菅原】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0903	その他の心疾患	17,662,881	6.3%	150
2	0901	高血圧性疾患	16,275,537	5.8%	290
3	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	13,980,250	5.0%	40
4	0402	糖尿病	12,940,137	4.6%	284
5	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	12,012,579	4.3%	25
6	1113	その他の消化器系の疾患	11,235,169	4.0%	259
7	1402	腎不全	9,677,372	3.4%	18
8	0403	脂質異常症	7,833,198	2.8%	217
9	1901	骨折	7,514,728	2.7%	38
10	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	6,820,597	2.4%	107

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【大花羽】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	13,035,360	10.0%	21
2	0901	高血圧性疾患	8,499,445	6.5%	155
3	1402	腎不全	8,494,748	6.5%	12
4	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	8,267,538	6.3%	48
5	0402	糖尿病	7,223,269	5.5%	150
6	0912	その他の循環器系の疾患	6,933,796	5.3%	23
7	1113	その他の消化器系の疾患	5,159,652	4.0%	134
8	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	4,940,365	3.8%	36
9	0403	脂質異常症	3,904,127	3.0%	112
10	1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	3,566,315	2.7%	3

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

### 【三妻】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0901	高血圧性疾患	26,875,401	6.6%	491
2	0402	糖尿病	24,026,451	5.9%	514
3	1402	腎不全	22,271,736	5.4%	25
4	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	22,055,724	5.4%	147
5	0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	19,944,532	4.9%	42
6	1113	その他の消化器系の疾患	18,459,675	4.5%	397
7	0903	その他の心疾患	15,738,975	3.8%	245
8	0606	その他の神経系の疾患	15,449,497	3.8%	259
9	0403	脂質異常症	13,185,023	3.2%	344
10	0902	虚血性心疾患	11,461,582	2.8%	107

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【五箇】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0902	虚血性心疾患	13,989,648	9.7%	57
2	0903	その他の心疾患	12,474,167	8.7%	89
3	0901	高血圧性疾患	11,467,083	8.0%	199
4	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	8,977,860	6.2%	51
5	1113	その他の消化器系の疾患	7,087,200	4.9%	166
6	0402	糖尿病	6,974,294	4.8%	159
7	0403	脂質異常症	4,862,505	3.4%	138
8	1901	骨折	4,124,718	2.9%	28
9	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	3,936,214	2.7%	24
10	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	3,312,491	2.3%	80

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

### 【大生】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0402	糖尿病	18,359,931	6.0%	341
2	0901	高血圧性疾患	17,662,142	5.7%	340
3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	16,401,230	5.3%	119
4	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	16,295,163	5.3%	50
5	0105	ウイルス性肝炎	14,941,918	4.8%	32
6	1402	腎不全	13,300,030	4.3%	14
7	0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	12,118,115	3.9%	27
8	0905	脳内出血	10,811,804	3.5%	18
9	0906	脳梗塞	10,276,388	3.3%	64
10	1113	その他の消化器系の疾患	9,205,751	3.0%	292

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【坂手】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	14,085,146	8.6%	24
2	0901	高血圧性疾患	11,052,046	6.7%	209
3	0402	糖尿病	8,260,553	5.0%	162
4	1113	その他の消化器系の疾患	6,961,449	4.2%	172
5	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	6,231,517	3.8%	31
6	0903	その他の心疾患	6,164,789	3.8%	90
7	1402	腎不全	5,560,891	3.4%	11
8	0906	脳梗塞	4,951,951	3.0%	39
9	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	4,874,062	3.0%	23
10	0403	脂質異常症	4,198,319	2.6%	130

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

### 【内守谷】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目	医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	30,255,522	21.3%	18
2	1402 腎不全	9,478,093	6.7%	13
3	0901 高血圧性疾患	7,248,619	5.1%	142
4	0402 糖尿病	6,127,405	4.3%	130
5	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	5,811,447	4.1%	92
6	0105 ウイルス性肝炎	3,969,227	2.8%	20
7	0902 虚血性心疾患	3,796,201	2.7%	34
8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	3,700,189	2.6%	86
9	0403 脂質異常症	3,522,823	2.5%	102
10	0504 気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	3,414,596	2.4%	23

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【きぬの里】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目	医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	12,245,506	16.6%	18
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	4,951,421	6.7%	28
3	0901 高血圧性疾患	4,274,198	5.8%	86
4	0504 気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	3,375,451	4.6%	20
5	0402 糖尿病	3,173,137	4.3%	94
6	1113 その他の消化器系の疾患	2,999,264	4.1%	85
7	1010 喘息	2,393,709	3.2%	79
8	0403 脂質異常症	2,282,355	3.1%	63
9	1901 骨折	2,262,926	3.1%	18
10	0606 その他の神経系の疾患	2,243,573	3.0%	75

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

### 【菅生】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0402	糖尿病	22,919,202	7.9%	309
2	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	22,079,185	7.6%	23
3	0901	高血圧性疾患	17,193,807	5.9%	362
4	1402	腎不全	15,270,462	5.3%	21
5	1901	骨折	14,243,014	4.9%	62
6	1301	炎症性多発性関節障害	12,166,104	4.2%	73
7	0403	脂質異常症	9,550,823	3.3%	264
8	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	9,258,097	3.2%	8
9	1113	その他の消化器系の疾患	9,174,550	3.2%	270
10	1309	骨の密度及び構造の障害	7,578,152	2.6%	88

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【石下】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	1402	腎不全	34,760,610	5.6%	51
2	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	34,046,172	5.5%	72
3	0901	高血圧性疾患	33,684,787	5.4%	638
4	1113	その他の消化器系の疾患	29,692,613	4.8%	563
5	0402	糖尿病	28,900,763	4.6%	518
6	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	24,942,044	4.0%	179
7	1301	炎症性多発性関節障害	21,889,478	3.5%	164
8	0903	その他の心疾患	21,577,728	3.5%	282
9	1901	骨折	17,594,962	2.8%	113
10	0403	脂質異常症	16,881,961	2.7%	458

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

### 【豊田】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	17,836,201	8.0%	27
2	0901	高血圧性疾患	13,878,240	6.3%	251
3	0402	糖尿病	11,245,285	5.1%	186
4	0903	その他の心疾患	10,347,783	4.7%	114
5	1402	腎不全	8,694,528	3.9%	21
6	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	7,946,211	3.6%	95
7	1113	その他の消化器系の疾患	7,919,494	3.6%	203
8	0904	くも膜下出血	7,893,550	3.6%	4
9	0105	ウイルス性肝炎	6,598,277	3.0%	13
10	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	6,423,885	2.9%	52

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【玉】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	10,717,288	7.0%	18
2	1402	腎不全	10,561,353	6.9%	14
3	0901	高血圧性疾患	9,978,336	6.5%	188
4	0606	その他の神経系の疾患	8,031,177	5.2%	109
5	0402	糖尿病	7,480,270	4.9%	134
6	0903	その他の心疾患	5,985,316	3.9%	96
7	0912	その他の循環器系の疾患	5,703,327	3.7%	31
8	0906	脳梗塞	5,595,891	3.7%	34
9	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	5,085,612	3.3%	63
10	1113	その他の消化器系の疾患	5,042,229	3.3%	152

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

### 【岡田】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0402	糖尿病	26,219,865	6.1%	444
2	0901	高血圧性疾患	23,959,435	5.6%	465
3	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	20,919,446	4.9%	44
4	0105	ウイルス性肝炎	17,979,424	4.2%	59
5	0903	その他の心疾患	17,850,088	4.1%	273
6	1113	その他の消化器系の疾患	14,927,464	3.5%	402
7	0403	脂質異常症	14,172,987	3.3%	345
8	1402	腎不全	12,151,508	2.8%	55
9	0902	虚血性心疾患	11,275,373	2.6%	154
10	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	10,283,145	2.4%	83

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【飯沼】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0903	その他の心疾患	27,619,884	5.7%	244
2	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	27,231,102	5.6%	55
3	0901	高血圧性疾患	27,025,366	5.5%	494
4	0402	糖尿病	26,329,644	5.4%	441
5	1113	その他の消化器系の疾患	21,136,384	4.3%	453
6	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	19,422,588	4.0%	143
7	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	16,122,751	3.3%	97
8	0403	脂質異常症	13,980,452	2.9%	355
9	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	13,497,822	2.8%	57
10	0105	ウイルス性肝炎	12,029,255	2.5%	57

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	1011	その他の呼吸器系の疾患	4,760,450	10.2%	29
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	4,705,539	10.1%	9
3	0402	糖尿病	3,066,178	6.6%	49
4	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	2,415,544	5.2%	4
5	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	2,077,632	4.4%	37
6	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	2,047,854	4.4%	8
7	1113	その他の消化器系の疾患	1,804,169	3.9%	60
8	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	1,680,778	3.6%	8
9	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	1,533,419	3.3%	12
10	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	1,321,743	2.8%	25

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

### 【水海道】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	47,002,143	1,028	37.5%
2	1006	アレルギー性鼻炎	10,821,001	933	34.1%
3	0901	高血圧性疾患	45,266,696	904	33.0%
4	1113	その他の消化器系の疾患	32,455,537	902	32.9%
5	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	5,909,222	809	29.5%
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	12,481,692	805	29.4%
7	1003	その他の急性上気道感染症	5,237,692	701	25.6%
8	0703	屈折及び調節の障害	2,466,885	701	25.6%
9	1105	胃炎及び十二指腸炎	7,634,221	699	25.5%
10	0403	脂質異常症	22,318,863	671	24.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【豊岡】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	26,461,693	587	38.2%
2	0901	高血圧性疾患	25,564,786	548	35.7%
3	1113	その他の消化器系の疾患	16,363,223	542	35.3%
4	0403	脂質異常症	16,321,863	469	30.6%
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	12,539,360	455	29.6%
6	1006	アレルギー性鼻炎	5,099,693	447	29.1%
7	1105	胃炎及び十二指腸炎	4,668,367	438	28.5%
8	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,886,874	402	26.2%
9	0703	屈折及び調節の障害	1,418,355	399	26.0%
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	8,854,774	352	22.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

### 【菅原】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	16,275,537	290	38.7%
2	0402	糖尿病	12,940,137	284	37.9%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,392,853	268	35.7%
4	1113	その他の消化器系の疾患	11,235,169	259	34.5%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	3,117,863	242	32.3%
6	0403	脂質異常症	7,833,198	217	28.9%
7	1006	アレルギー性鼻炎	2,726,336	190	25.3%
8	0703	屈折及び調節の障害	714,463	188	25.1%
9	1003	その他の急性上気道感染症	1,457,975	183	24.4%
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	6,666,681	182	24.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【大花羽】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,433,474	166	40.3%
2	0901	高血圧性疾患	8,499,445	155	37.6%
3	0402	糖尿病	7,223,269	150	36.4%
4	1113	その他の消化器系の疾患	5,159,652	134	32.5%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,313,478	121	29.4%
6	0703	屈折及び調節の障害	375,803	114	27.7%
7	0403	脂質異常症	3,904,127	112	27.2%
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	3,394,719	108	26.2%
9	1006	アレルギー性鼻炎	1,231,913	107	26.0%
10	1011	その他の呼吸器系の疾患	1,415,694	106	25.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

### 【三妻】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	24,026,451	514	41.9%
2	0901	高血圧性疾患	26,875,401	491	40.0%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,047,738	447	36.5%
4	1113	その他の消化器系の疾患	18,459,675	397	32.4%
5	1006	アレルギー性鼻炎	4,615,534	351	28.6%
6	0703	屈折及び調節の障害	1,385,291	349	28.5%
7	0403	脂質異常症	13,185,023	344	28.1%
8	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,400,231	339	27.7%
9	1105	胃炎及び十二指腸炎	4,063,475	328	26.8%
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	8,795,931	307	25.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【五箇】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	11,467,083	199	44.5%
2	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,716,574	169	37.8%
3	1113	その他の消化器系の疾患	7,087,200	166	37.1%
4	0402	糖尿病	6,974,294	159	35.6%
5	0703	屈折及び調節の障害	507,392	148	33.1%
6	0403	脂質異常症	4,862,505	138	30.9%
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	2,821,954	135	30.2%
8	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,320,001	128	28.6%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	1,313,764	118	26.4%
10	1003	その他の急性上気道感染症	741,551	110	24.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

### 【大生】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	18,359,931	341	38.2%
2	0901	高血圧性疾患	17,662,142	340	38.1%
3	1113	その他の消化器系の疾患	9,205,751	292	32.7%
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,020,954	282	31.6%
5	1006	アレルギー性鼻炎	2,945,878	282	31.6%
6	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	1,720,403	260	29.1%
7	0703	屈折及び調節の障害	821,943	230	25.8%
8	1105	胃炎及び十二指腸炎	2,318,406	226	25.3%
9	0403	脂質異常症	7,795,610	209	23.4%
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	5,607,320	202	22.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【坂手】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	11,052,046	209	39.3%
2	1113	その他の消化器系の疾患	6,961,449	172	32.3%
3	0402	糖尿病	8,260,553	162	30.5%
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,702,728	149	28.0%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,741,680	144	27.1%
6	0703	屈折及び調節の障害	487,850	135	25.4%
7	0403	脂質異常症	4,198,319	130	24.4%
7	1006	アレルギー性鼻炎	1,625,837	130	24.4%
9	1003	その他の急性上気道感染症	950,568	129	24.2%
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	3,297,420	126	23.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

### 【内守谷】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目	医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	7,248,619	142	35.0%
2	0402 糖尿病	6,127,405	130	32.0%
3	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,300,305	127	31.3%
4	1113 その他の消化器系の疾患	3,399,218	126	31.0%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,378,161	115	28.3%
6	1003 その他の急性上気道感染症	796,436	114	28.1%
7	0403 脂質異常症	3,522,823	102	25.1%
7	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	802,102	102	25.1%
9	0606 その他の神経系の疾患	2,868,258	101	24.9%
10	0703 屈折及び調節の障害	339,326	97	23.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【きぬの里】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目	医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1003 その他の急性上気道感染症	1,032,211	133	31.6%
2	1006 アレルギー性鼻炎	2,047,411	118	28.0%
3	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	837,370	118	28.0%
4	1202 皮膚炎及び湿疹	1,504,936	115	27.3%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,106,295	111	26.4%
6	1011 その他の呼吸器系の疾患	902,517	105	24.9%
7	0402 糖尿病	3,173,137	94	22.3%
8	0901 高血圧性疾患	4,274,198	86	20.4%
9	1113 その他の消化器系の疾患	2,999,264	85	20.2%
10	0703 屈折及び調節の障害	291,085	84	20.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

### 【菅生】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	17,193,807	362	39.5%
2	0402	糖尿病	22,919,202	309	33.7%
3	1113	その他の消化器系の疾患	9,174,550	270	29.4%
4	1003	その他の急性上気道感染症	1,794,756	265	28.9%
5	0403	脂質異常症	9,550,823	264	28.8%
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,325,296	248	27.0%
7	1105	胃炎及び十二指腸炎	2,381,171	228	24.9%
8	1006	アレルギー性鼻炎	3,113,062	221	24.1%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	2,393,447	212	23.1%
10	0703	屈折及び調節の障害	847,032	207	22.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【石下】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1003	その他の急性上気道感染症	6,112,108	798	37.6%
2	0901	高血圧性疾患	33,684,787	638	30.1%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,632,409	633	29.8%
4	1006	アレルギー性鼻炎	7,747,961	593	27.9%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	7,415,791	588	27.7%
6	1113	その他の消化器系の疾患	29,692,613	563	26.5%
7	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	4,556,448	555	26.2%
8	0703	屈折及び調節の障害	1,992,045	545	25.7%
9	0402	糖尿病	28,900,763	518	24.4%
10	1202	皮膚炎及び湿疹	6,903,898	498	23.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

### 【豊田】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	13,878,240	251	37.4%
2	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,493,913	231	34.4%
3	1003	その他の急性上気道感染症	1,704,667	216	32.1%
4	1113	その他の消化器系の疾患	7,919,494	203	30.2%
5	0402	糖尿病	11,245,285	186	27.7%
6	1006	アレルギー性鼻炎	2,401,481	175	26.0%
7	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,826,640	172	25.6%
8	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	925,563	168	25.0%
9	0403	脂質異常症	6,074,333	158	23.5%
10	1202	皮膚炎及び湿疹	1,731,367	155	23.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【玉】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1003	その他の急性上気道感染症	1,454,116	212	39.5%
2	0901	高血圧性疾患	9,978,336	188	35.0%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,360,969	157	29.2%
4	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,968,661	155	28.9%
5	1113	その他の消化器系の疾患	5,042,229	152	28.3%
6	1006	アレルギー性鼻炎	1,727,452	149	27.7%
7	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	673,298	138	25.7%
8	0703	屈折及び調節の障害	469,758	137	25.5%
9	0402	糖尿病	7,480,270	134	25.0%
10	1202	皮膚炎及び湿疹	1,635,423	124	23.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

### 【岡田】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1003	その他の急性上気道感染症	4,015,773	528	31.4%
2	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,761,583	495	29.4%
3	1006	アレルギー性鼻炎	5,938,395	480	28.5%
4	0901	高血圧性疾患	23,959,435	465	27.6%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	5,256,815	447	26.5%
6	0402	糖尿病	26,219,865	444	26.4%
7	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,761,804	417	24.8%
8	1113	その他の消化器系の疾患	14,927,464	402	23.9%
9	0703	屈折及び調節の障害	1,406,882	393	23.3%
10	1202	皮膚炎及び湿疹	4,008,774	384	22.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【飯沼】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	9,179,769	561	35.0%
2	1003	その他の急性上気道感染症	4,612,483	536	33.4%
3	0901	高血圧性疾患	27,025,366	494	30.8%
4	1113	その他の消化器系の疾患	21,136,384	453	28.2%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	5,267,212	444	27.7%
6	0402	糖尿病	26,329,644	441	27.5%
7	1006	アレルギー性鼻炎	4,928,223	390	24.3%
8	0403	脂質異常症	13,980,452	355	22.1%
9	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,976,404	344	21.4%
10	0703	屈折及び調節の障害	1,268,808	334	20.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1113	その他の消化器系の疾患	1,804,169	60	23.3%
2	1003	その他の急性上気道感染症	444,852	60	23.3%
3	1006	アレルギー性鼻炎	574,907	56	21.8%
4	1105	胃炎及び十二指腸炎	503,210	51	19.8%
5	0402	糖尿病	3,066,178	49	19.1%
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,119,197	49	19.1%
7	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	323,259	48	18.7%
8	0403	脂質異常症	422,215	41	16.0%
9	0901	高血圧性疾患	752,971	39	15.2%
10	0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	2,077,632	37	14.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

# 年度別 特定健康診査結果分析

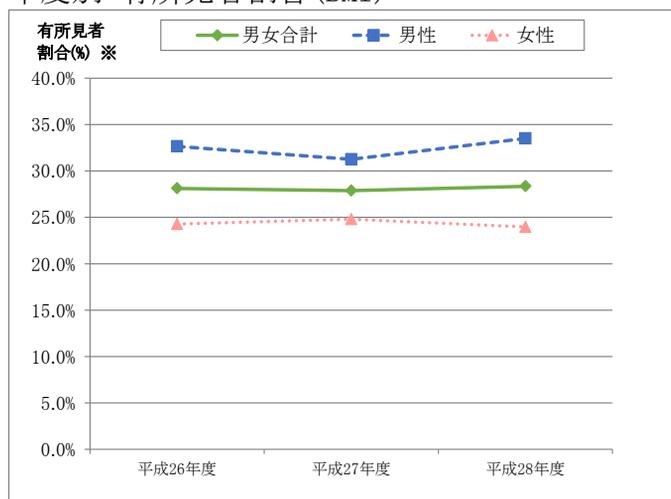
## 1. 有所見者割合

平成26年度から平成28年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合 (BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,072	3,813	4,117
	有所見者数(人) ※	1,145	1,063	1,167
	有所見者割合(%) ※	28.1%	27.9%	28.3%
男性	対象者数(人) ※	1,868	1,817	1,889
	有所見者数(人) ※	610	568	633
	有所見者割合(%) ※	32.7%	31.3%	33.5%
女性	対象者数(人) ※	2,204	1,996	2,228
	有所見者数(人) ※	535	495	534
	有所見者割合(%) ※	24.3%	24.8%	24.0%

年度別 有所見者割合 (BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※対象者数…特定健康診査を受診した人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

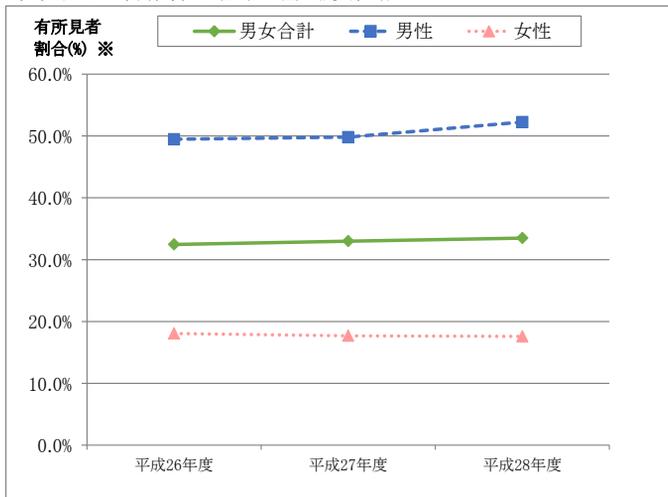
※有所見者割合…特定健康診査を受診した人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

### 年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,072	3,813	4,117
	有所見者数(人) ※	1,322	1,258	1,379
	有所見者割合(%) ※	32.5%	33.0%	33.5%
男性	対象者数(人) ※	1,868	1,817	1,889
	有所見者数(人) ※	924	905	987
	有所見者割合(%) ※	49.5%	49.8%	52.2%
女性	対象者数(人) ※	2,204	1,996	2,228
	有所見者数(人) ※	398	353	392
	有所見者割合(%) ※	18.1%	17.7%	17.6%

### 年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※対象者数…特定健康診査を受診した人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…特定健康診査を受診した人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

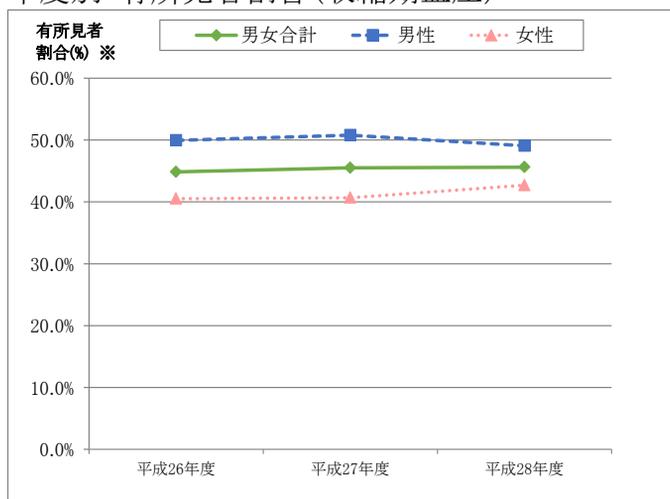
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲: 男性85cm以上、女性90cm以上

### 年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,072	3,813	4,117
	有所見者数(人) ※	1,826	1,735	1,878
	有所見者割合(%) ※	44.8%	45.5%	45.6%
男性	対象者数(人) ※	1,868	1,817	1,889
	有所見者数(人) ※	933	923	927
	有所見者割合(%) ※	49.9%	50.8%	49.1%
女性	対象者数(人) ※	2,204	1,996	2,228
	有所見者数(人) ※	893	812	951
	有所見者割合(%) ※	40.5%	40.7%	42.7%

### 年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※対象者数…特定健康診査を受診した人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

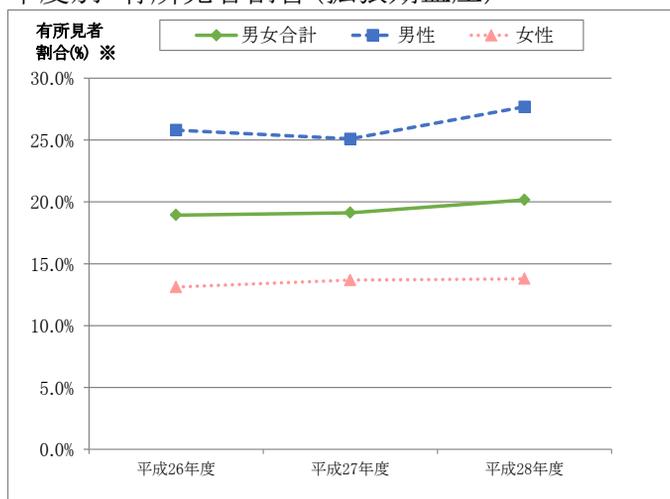
※有所見者割合…特定健康診査を受診した人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

### 年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,072	3,813	4,117
	有所見者数(人) ※	771	729	830
	有所見者割合(%) ※	18.9%	19.1%	20.2%
男性	対象者数(人) ※	1,868	1,817	1,889
	有所見者数(人) ※	482	456	523
	有所見者割合(%) ※	25.8%	25.1%	27.7%
女性	対象者数(人) ※	2,204	1,996	2,228
	有所見者数(人) ※	289	273	307
	有所見者割合(%) ※	13.1%	13.7%	13.8%

### 年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※対象者数…特定健康診査を受診した人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

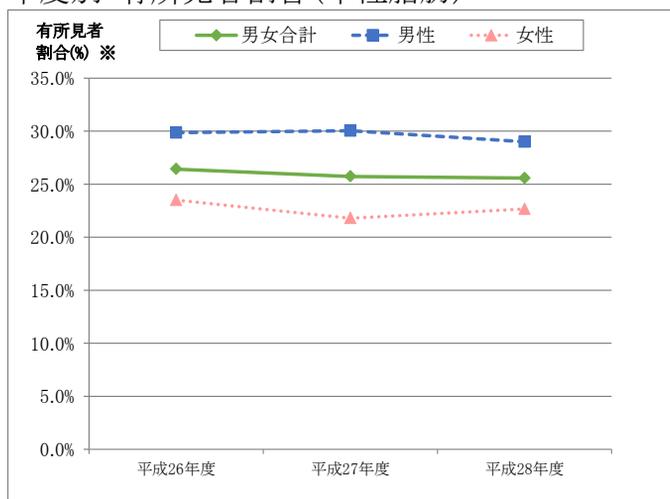
※有所見者割合…特定健康診査を受診した人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

### 年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,072	3,813	4,117
	有所見者数(人) ※	1,076	981	1,053
	有所見者割合(%) ※	26.4%	25.7%	25.6%
男性	対象者数(人) ※	1,868	1,817	1,889
	有所見者数(人) ※	558	546	548
	有所見者割合(%) ※	29.9%	30.0%	29.0%
女性	対象者数(人) ※	2,204	1,996	2,228
	有所見者数(人) ※	518	435	505
	有所見者割合(%) ※	23.5%	21.8%	22.7%

### 年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※対象者数…特定健康診査を受診した人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

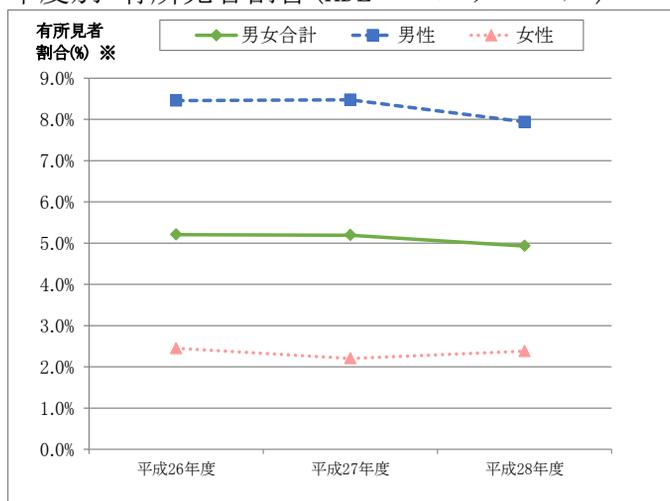
※有所見者割合…特定健康診査を受診した人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

## 年度別 有所見者割合 (HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,072	3,813	4,117
	有所見者数(人) ※	212	198	203
	有所見者割合(%) ※	5.2%	5.2%	4.9%
男性	対象者数(人) ※	1,868	1,817	1,889
	有所見者数(人) ※	158	154	150
	有所見者割合(%) ※	8.5%	8.5%	7.9%
女性	対象者数(人) ※	2,204	1,996	2,228
	有所見者数(人) ※	54	44	53
	有所見者割合(%) ※	2.5%	2.2%	2.4%

## 年度別 有所見者割合 (HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※対象者数…特定健康診査を受診した人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…特定健康診査を受診した人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

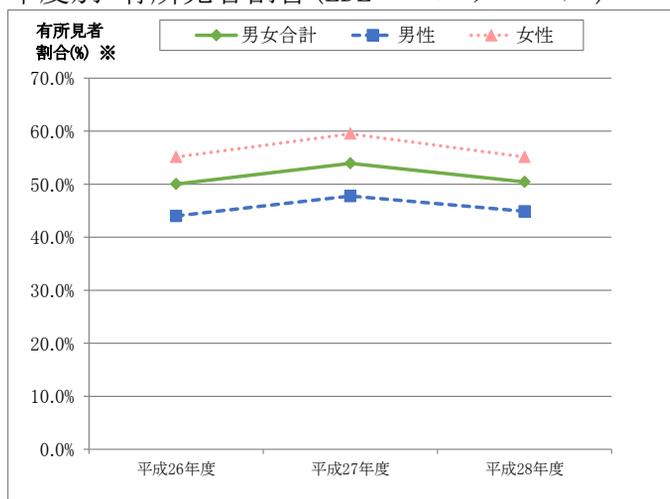
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール：39mg/dl以下

## 年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,072	3,813	4,117
	有所見者数(人) ※	2,037	2,056	2,076
	有所見者割合(%) ※	50.0%	53.9%	50.4%
男性	対象者数(人) ※	1,868	1,817	1,889
	有所見者数(人) ※	822	868	848
	有所見者割合(%) ※	44.0%	47.8%	44.9%
女性	対象者数(人) ※	2,204	1,996	2,228
	有所見者数(人) ※	1,215	1,188	1,228
	有所見者割合(%) ※	55.1%	59.5%	55.1%

## 年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※対象者数…特定健康診査を受診した人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

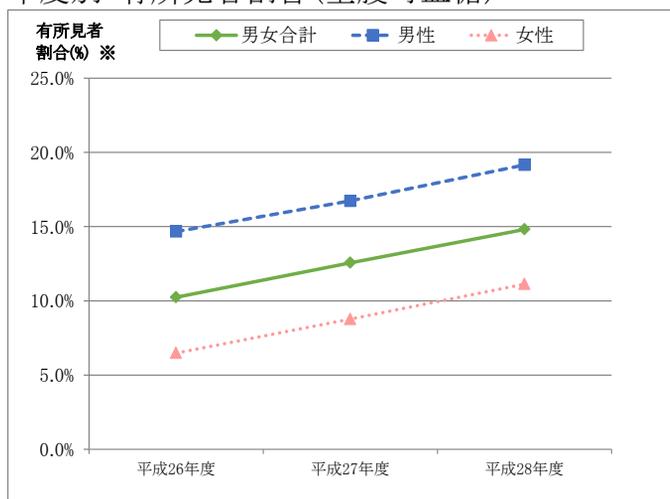
※有所見者割合…特定健康診査を受診した人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

### 年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,072	3,813	4,117
	有所見者数(人) ※	417	479	610
	有所見者割合(%) ※	10.2%	12.6%	14.8%
男性	対象者数(人) ※	1,868	1,817	1,889
	有所見者数(人) ※	274	304	362
	有所見者割合(%) ※	14.7%	16.7%	19.2%
女性	対象者数(人) ※	2,204	1,996	2,228
	有所見者数(人) ※	143	175	248
	有所見者割合(%) ※	6.5%	8.8%	11.1%

### 年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※対象者数…特定健康診査を受診した人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

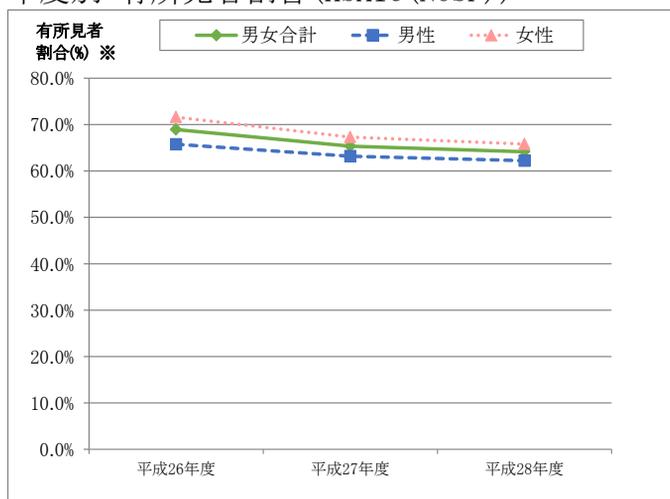
※有所見者割合…特定健康診査を受診した人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

## 年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,072	3,813	4,117
	有所見者数(人) ※	2,806	2,491	2,641
	有所見者割合(%) ※	68.9%	65.3%	64.1%
男性	対象者数(人) ※	1,868	1,817	1,889
	有所見者数(人) ※	1,228	1,148	1,175
	有所見者割合(%) ※	65.7%	63.2%	62.2%
女性	対象者数(人) ※	2,204	1,996	2,228
	有所見者数(人) ※	1,578	1,343	1,466
	有所見者割合(%) ※	71.6%	67.3%	65.8%

## 年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※対象者数…特定健康診査を受診した人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…特定健康診査を受診した人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c:5.6%以上

## 2. 質問別回答状況

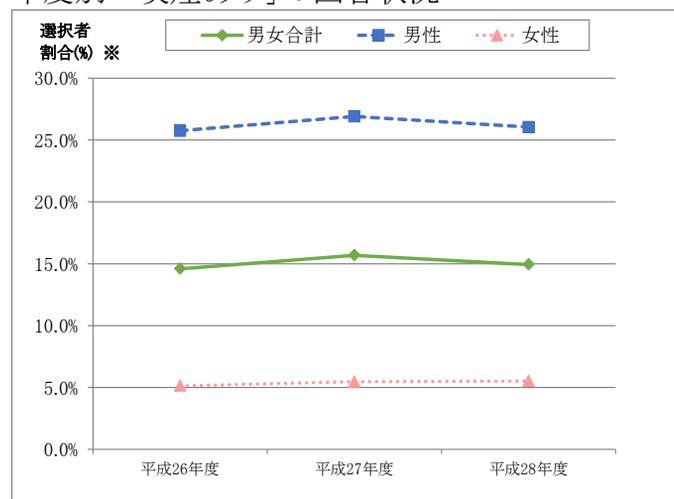
平成26年度から平成28年度特定健康診査の質問票における喫煙・運動習慣・食習慣・飲酒習慣に関する集計結果を年度別に示す。

### ①喫煙習慣

#### 年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	4,072	3,813	4,117
	選択者数(人) ※	594	598	615
	選択者割合(%) ※	14.6%	15.7%	14.9%
男性	質問回答者数(人) ※	1,868	1,817	1,889
	選択者数(人) ※	481	489	492
	選択者割合(%) ※	25.7%	26.9%	26.0%
女性	質問回答者数(人) ※	2,204	1,996	2,228
	選択者数(人) ※	113	109	123
	選択者割合(%) ※	5.1%	5.5%	5.5%

#### 年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※質問回答者数…特定健康診査を受診した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…特定健康診査を受診した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

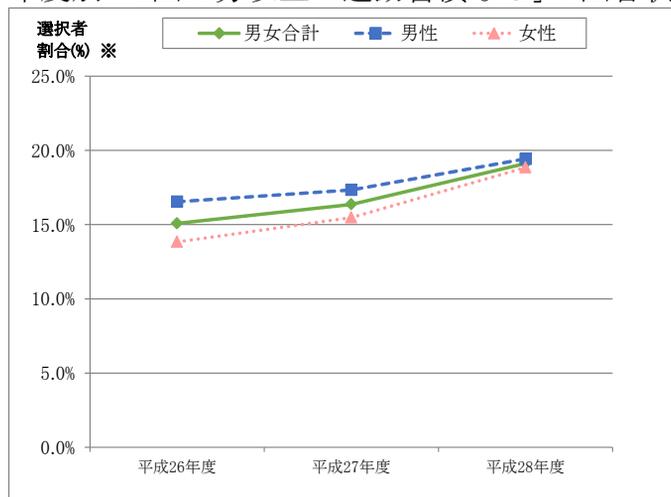
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

## ②運動習慣

### 年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	4,072	3,813	4,117
	選択者数(人) ※	614	624	787
	選択者割合(%) ※	15.1%	16.4%	19.1%
男性	質問回答者数(人) ※	1,868	1,817	1,889
	選択者数(人) ※	309	315	367
	選択者割合(%) ※	16.5%	17.3%	19.4%
女性	質問回答者数(人) ※	2,204	1,996	2,228
	選択者数(人) ※	305	309	420
	選択者割合(%) ※	13.8%	15.5%	18.9%

### 年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※質問回答者数…特定健康診査を受診した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

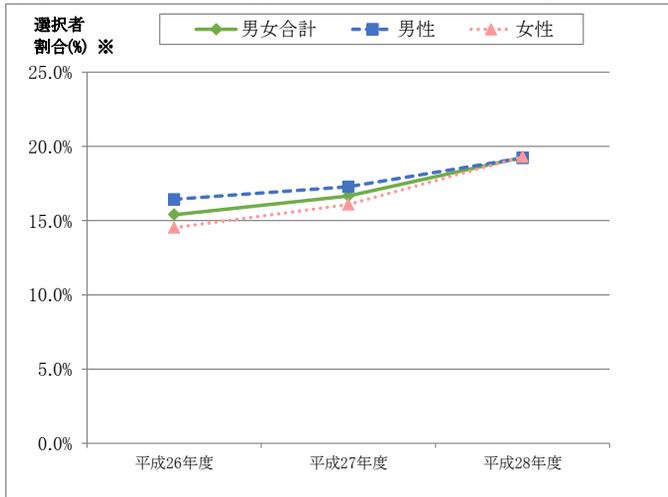
※選択者割合…特定健康診査を受診した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

### 年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	4,072	3,813	4,117
	選択者数(人) ※	627	635	793
	選択者割合(%) ※	15.4%	16.7%	19.3%
男性	質問回答者数(人) ※	1,868	1,817	1,889
	選択者数(人) ※	307	314	363
	選択者割合(%) ※	16.4%	17.3%	19.2%
女性	質問回答者数(人) ※	2,204	1,996	2,228
	選択者数(人) ※	320	321	430
	選択者割合(%) ※	14.5%	16.1%	19.3%

### 年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※質問回答者数…特定健康診査を受診した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…特定健康診査を受診した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

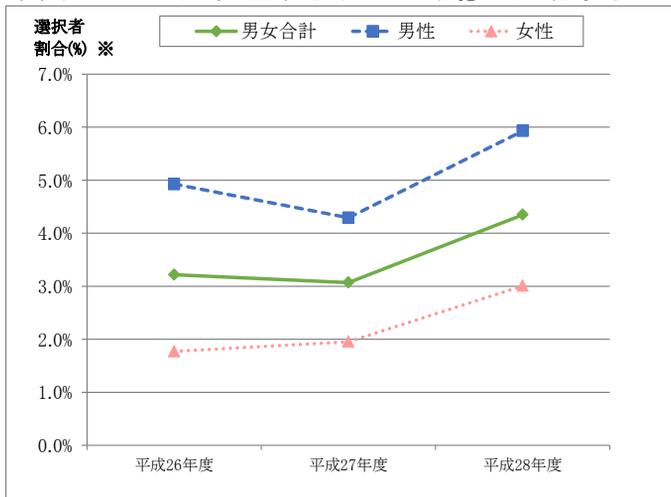
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

### ③食習慣

#### 年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	4,072	3,813	4,117
	選択者数(人) ※	131	117	179
	選択者割合(%) ※	3.2%	3.1%	4.3%
男性	質問回答者数(人) ※	1,868	1,817	1,889
	選択者数(人) ※	92	78	112
	選択者割合(%) ※	4.9%	4.3%	5.9%
女性	質問回答者数(人) ※	2,204	1,996	2,228
	選択者数(人) ※	39	39	67
	選択者割合(%) ※	1.8%	2.0%	3.0%

#### 年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※質問回答者数…特定健康診査を受診した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

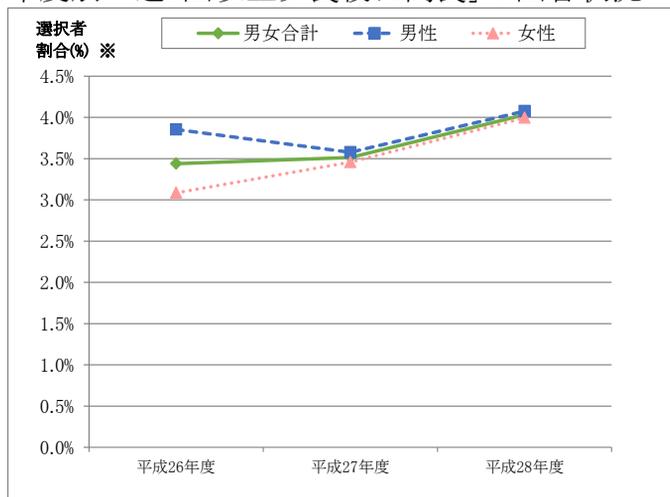
※選択者割合…特定健康診査を受診した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

## 年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	4,072	3,813	4,117
	選択者数(人) ※	140	134	166
	選択者割合(%) ※	3.4%	3.5%	4.0%
男性	質問回答者数(人) ※	1,868	1,817	1,889
	選択者数(人) ※	72	65	77
	選択者割合(%) ※	3.9%	3.6%	4.1%
女性	質問回答者数(人) ※	2,204	1,996	2,228
	選択者数(人) ※	68	69	89
	選択者割合(%) ※	3.1%	3.5%	4.0%

## 年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※質問回答者数…特定健康診査を受診した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…特定健康診査を受診した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

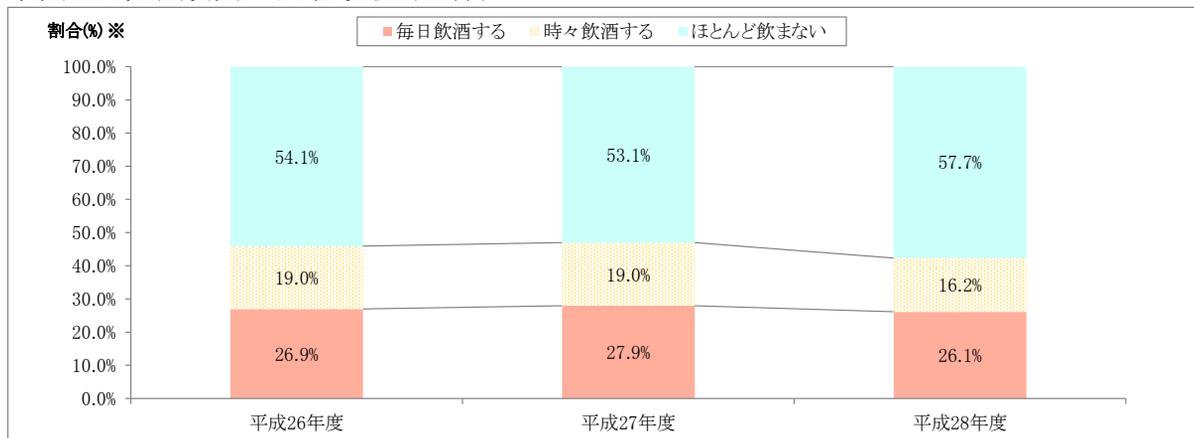
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

#### ④飲酒習慣

##### 年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	4,040	1,088	26.9%	766	19.0%	2,186	54.1%
平成27年度	3,675	1,027	27.9%	698	19.0%	1,950	53.1%
平成28年度	4,092	1,068	26.1%	663	16.2%	2,361	57.7%

##### 年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

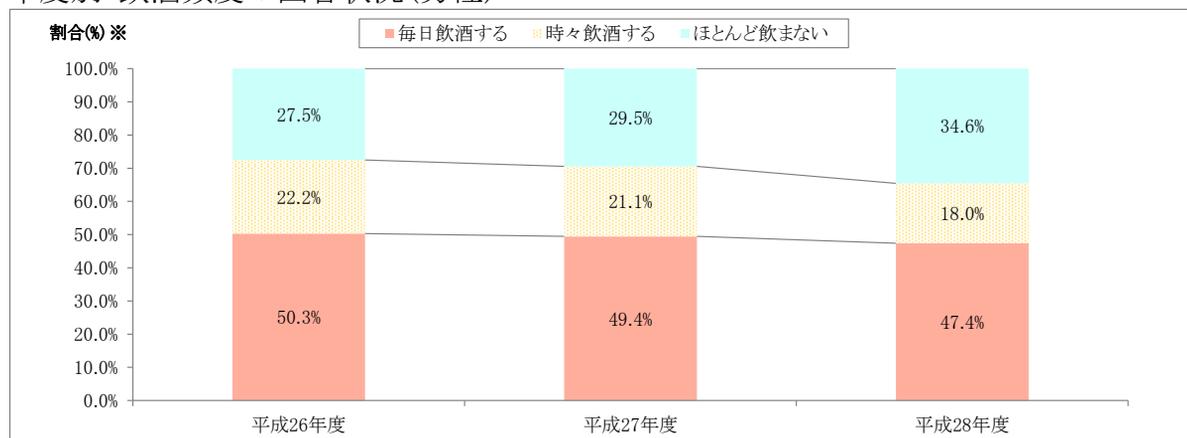
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,852	931	50.3%	411	22.2%	510	27.5%
平成27年度	1,748	864	49.4%	369	21.1%	515	29.5%
平成28年度	1,880	891	47.4%	339	18.0%	650	34.6%

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

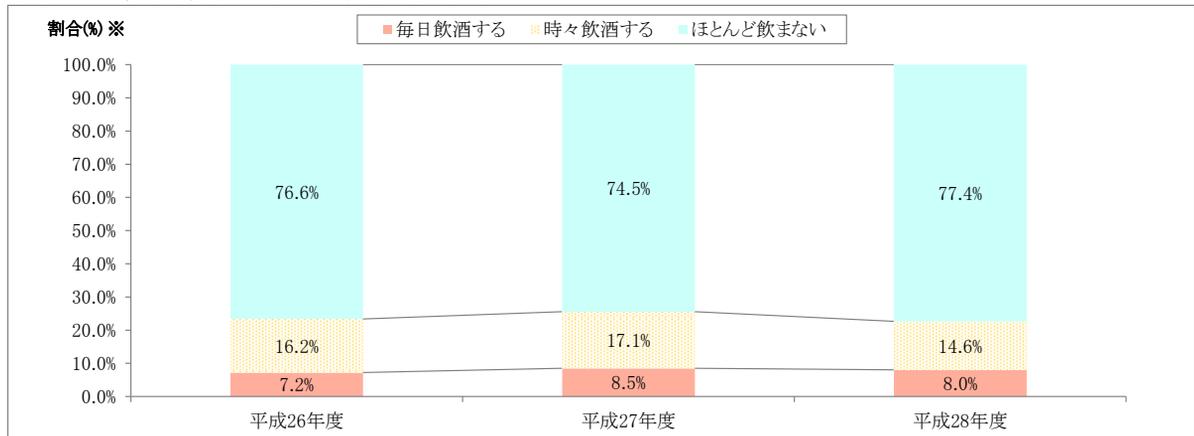
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	2,188	157	7.2%	355	16.2%	1,676	76.6%
平成27年度	1,927	163	8.5%	329	17.1%	1,435	74.5%
平成28年度	2,212	177	8.0%	324	14.6%	1,711	77.4%

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

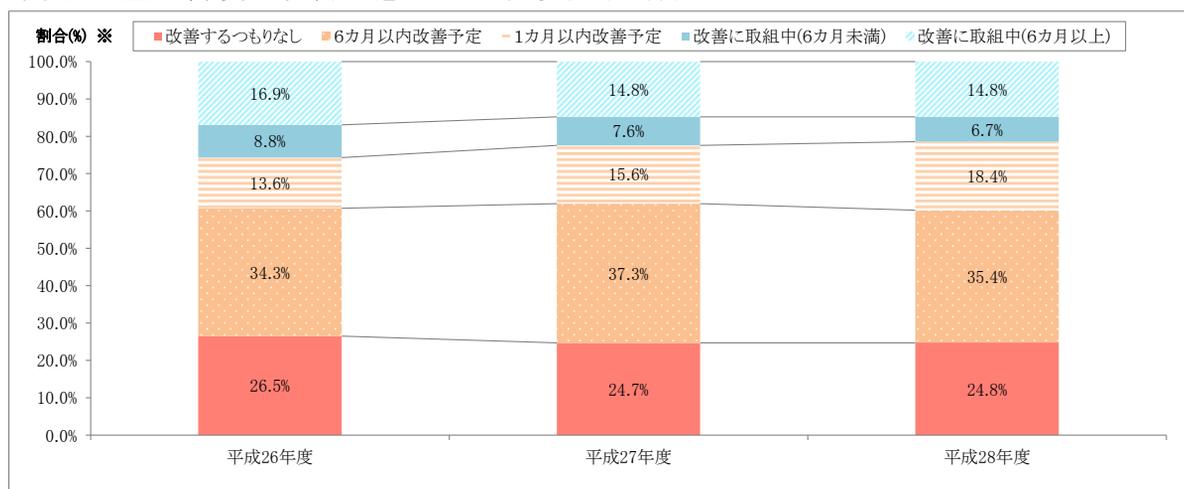
## ⑤生活習慣

### 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	981	260	26.5%	336	34.3%	133	13.6%
平成27年度	981	242	24.7%	366	37.3%	153	15.6%
平成28年度	1,231	305	24.8%	436	35.4%	226	18.4%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取組中(6カ月未満)		改善に取組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	981	86	8.8%	166	16.9%
平成27年度	981	75	7.6%	145	14.8%
平成28年度	1,231	82	6.7%	182	14.8%

### 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

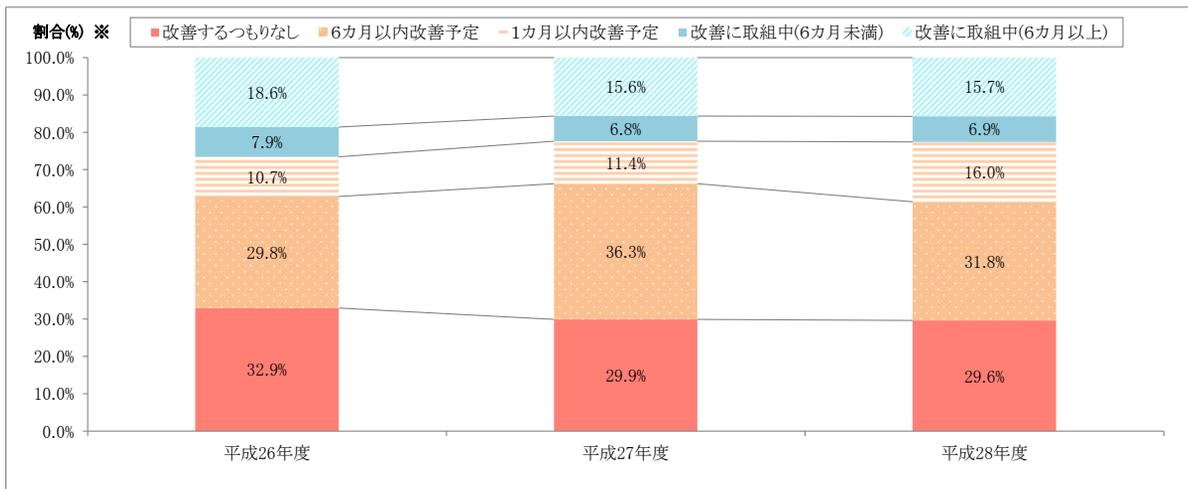
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	516	170	32.9%	154	29.8%	55	10.7%
平成27年度	518	155	29.9%	188	36.3%	59	11.4%
平成28年度	611	181	29.6%	194	31.8%	98	16.0%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取組中(6カ月未満)		改善に取組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	516	41	7.9%	96	18.6%
平成27年度	518	35	6.8%	81	15.6%
平成28年度	611	42	6.9%	96	15.7%

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

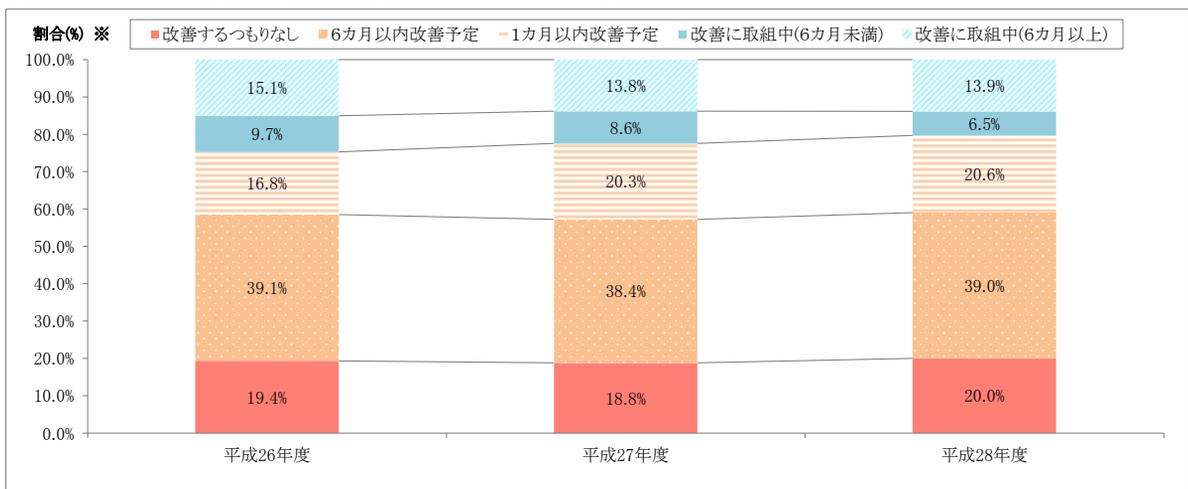
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

### 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	465	90	19.4%	182	39.1%	78	16.8%
平成27年度	463	87	18.8%	178	38.4%	94	20.3%
平成28年度	620	124	20.0%	242	39.0%	128	20.6%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取組中(6カ月未満)		改善に取組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	465	45	9.7%	70	15.1%
平成27年度	463	40	8.6%	64	13.8%
平成28年度	620	40	6.5%	86	13.9%

### 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

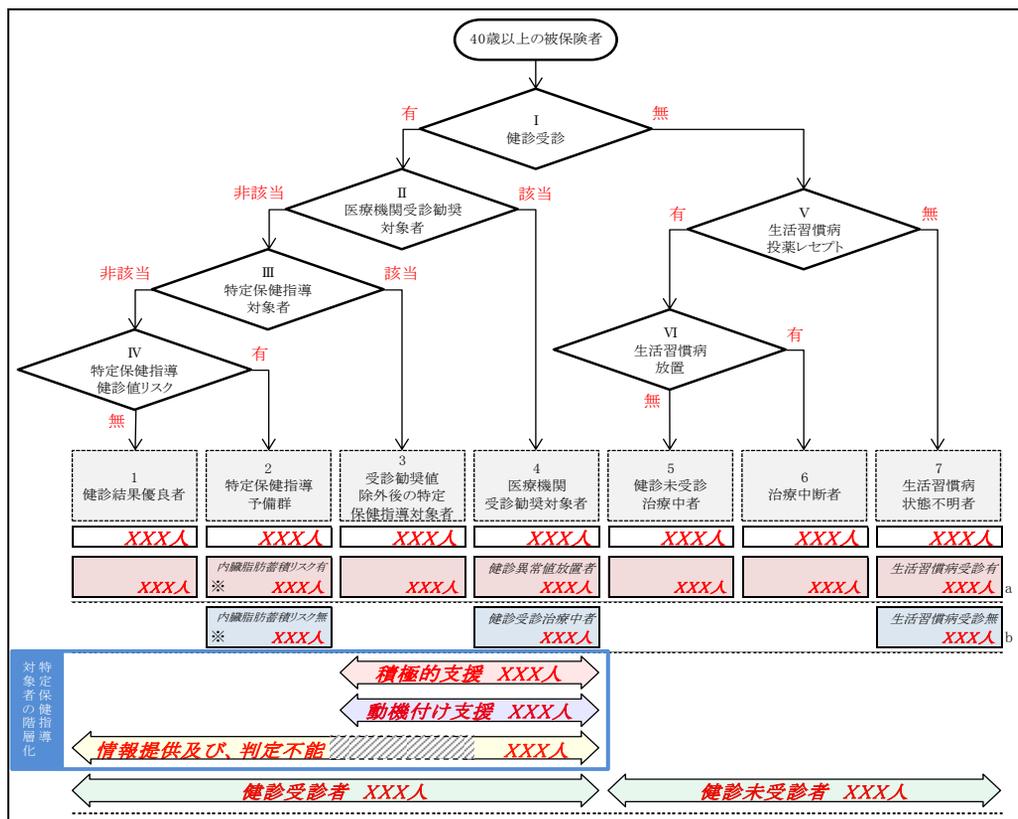
※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

## 1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

### 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



#### 【フロー説明】

- I 健診受診** …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者** …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者** …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク** …厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト** …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置** …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

#### 【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
  - 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
    - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
    - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
  - 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
  - 医療機関受診勧奨対象者 健診異常値放置者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
    - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
    - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
  - 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
  - 生活習慣病状態不明者 …生活習慣病の投薬治療をしていない者。
    - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
    - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

## 2. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版) 準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3ヶ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健診の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導修了後、対象者は行動計画を実践し、3か月後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健診の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	安倍内閣が掲げる成長戦略。日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2か月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

### 3. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の續発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻疹後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他 <sup>の</sup> 新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の痙攣性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳癭孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び靭様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎〔アルコール性のものを除く〕	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変〔アルコール性のものを除く〕	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		